

KDDI ファイルストレージ

管理者ガイド

第2.8版

KDDI株式会社

2016年12月

Microsoft、Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

iPad、iPhoneは、米国およびほかの国々で登録されたApple Inc.の商標です。

iPhone 商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。

Android、Google playは、Google Inc.の商標または登録商標です。

JavaおよびすべてのJava関連の商標は、Oracle Corporationやその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

その他、本書に掲載されている会社名、製品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

本文中に『™』、『®』、『©』は明記していません。

Copyright © 2012-2016 KDDI CORPORATION All Rights Reserved.

目 次

目 次	3
はじめに	- 6 -
本書の表記規則	- 7 -
本書で使用される用語	- 8 -
1 管理者の操作について	- 9 -
1.1 「KDDI ファイルストレージ」にログインする	- 9 -
1.2 管理画面にアクセスする	- 10 -
1.3 管理画面の構成	- 11 -
2 ユーザーを管理する	- 12 -
2.1 ユーザーを登録する	- 13 -
2.2 ユーザーを検索する	- 23 -
2.3 ユーザーの設定内容を変更する	- 25 -
2.4 ユーザーを停止する	- 27 -
2.5 ユーザーを再開する	- 28 -
2.6 ユーザーを削除する	- 29 -
2.7 ユーザー作成時の初期値を設定する	- 31 -
2.8 ユーザーを一括登録する	- 32 -
2.9 ユーザーを一括出力する	- 38 -
3 グループを管理する	- 42 -
3.1 グループを作成する	- 43 -
3.2 グループを検索する	- 48 -
3.3 グループの設定内容を変更する	- 49 -
3.4 グループを削除する	- 50 -
3.5 グループの管理者を委譲する	- 51 -
3.6 グループ作成時の初期値を設定する	- 53 -
3.7 グループを一括登録する	- 54 -
3.8 グループを一括出力する	- 57 -
4 端末を管理する	- 60 -
4.1 アクティベーション状況を確認する	- 61 -
4.2 アクティベーションを停止・再開・削除する。	- 63 -
4.3 リモート消去を実行する	- 64 -
4.4 端末情報を一括出力する	- 67 -
4.5 その他補足について	- 68 -
4.5.1 端末認証に対応しているアプリケーションについて	- 68 -
4.5.2 アプリケーションの端末 ID の確認方法について	- 68 -
4.5.3 アクティベーション情報の自動削除について	- 69 -
5 お知らせを管理する	- 70 -

5.1	お知らせを作成する.....	- 71 -
5.2	お知らせの設定内容を変更する.....	- 74 -
5.3	お知らせを削除する.....	- 75 -
6	ログ情報を管理する.....	- 76 -
6.1	ログイン状況.....	- 76 -
6.2	ユーザー統計.....	- 77 -
6.2.1	月別集計.....	- 77 -
6.2.2	ログインランキング.....	- 78 -
6.2.3	年別集計.....	- 78 -
6.3	アクセス統計.....	- 79 -
6.3.1	月別集計.....	- 79 -
6.3.2	アクセスランキング.....	- 80 -
6.3.3	年別集計.....	- 80 -
6.4	Web 公開統計.....	- 81 -
6.4.1	月別集計.....	- 81 -
6.4.2	Web 公開/受取フォルダランキング.....	- 82 -
6.4.3	年別集計.....	- 83 -
6.5	ログダウンロード.....	- 84 -
6.5.1	ログインログ.....	- 85 -
6.5.2	管理ログ.....	- 87 -
6.5.3	ダウンロードログ.....	- 98 -
6.5.4	アップロードログ.....	- 99 -
6.5.5	ファイル操作ログ.....	- 100 -
6.5.6	Web 公開操作ログ.....	- 102 -
6.5.7	Web 公開ログインログ.....	- 105 -
6.5.8	Web 公開ダウンロードログ.....	- 107 -
6.5.9	Web 公開アップロードログ.....	- 108 -
6.5.10	アクティベーションログ.....	- 109 -
7	システム設定をする.....	- 111 -
7.1	アプリ制限設定を設定する.....	- 112 -
7.2	パスワードポリシーを設定する.....	- 115 -
7.3	Web 公開/受取フォルダ設定をする.....	- 120 -
7.3.1	Web 公開設定について.....	- 121 -
7.3.2	Web 公開のデフォルト設定について.....	- 127 -
7.3.3	受取フォルダ設定について.....	- 130 -
7.3.4	受取フォルダのデフォルト設定について.....	- 133 -
7.4	容量アラートを設定する.....	- 136 -
7.5	契約容量制限を設定する.....	- 138 -
7.6	契約プランを確認、変更する.....	- 139 -
8	デザイン設定をする.....	- 141 -
8.1	画像を変更する.....	- 141 -
8.1.1	グループフォルダを作成する.....	- 141 -
8.1.2	既存画像をグループフォルダにコピーする.....	- 142 -
8.1.3	画像を差し替える.....	- 144 -
8.2	画面の背景色を変更する.....	- 150 -
8.2.1	ログイン画面の背景色.....	- 151 -

8.2.2 ユーザー画面の背景色	- 152 -
8.2.3 管理画面の背景色	- 154 -

はじめに

このたびは、KDDI株式会社の「KDDI ファイルストレージ」をご利用いただき、誠にありがとうございます。

「KDDI ファイルストレージ」は、ユーザーがブラウザやメール、WebDAV接続、スマートフォン(Android・iPhone・iPad)などを使用して 安全にファイルを送信・受信したり、共有ができるサービスです。

本書は、ブラウザを利用して管理者が行う操作について、記載しています。

本書の表記規則

本書は、次に示す一定の表記規則にしたがって書かれています。

一般の表記

表記例	意味
メニューの[ファイル(F)]-[開く(O)]	メニューのコマンドの選択経路をあらわします。 この例では、[ファイル(F)]メニューに含まれている[開く(O)]コマンドをあらわしています。
<OK>ボタン、<次へ(N)>ボタン <OK>または<適用>ボタン	コマンドボタン名は、山カッコ(<>)で囲んであらわします。
『ファイル名』、『入力値』 『画面名』、『ダイアログ名』 『参照場所』	構文中の鍵カッコ(『』)で囲んである部分は、ファイル名や入力値などをあらわします。また、画面名やダイアログ名、参照する場所などを示す場合も鍵カッコ(『』)で囲んであらわします。
チェックを入れる、チェックを入れない	メニューのコマンドやダイアログのチェックボックスなどをON(またはOFF)することをあらわします。

マウス操作の表記

表記例	意味
クリック	マウスの左ボタンを押して、すぐ離すことです。
右クリック	マウスの右ボタンを押して、すぐ離すことです。
ダブルクリック	マウスの左ボタンを素早く2回クリックすることです。
ドラッグ&ドロップ	マウスの左ボタンを押したままマウスを移動し、任意の位置でボタンを離すことです。

キー操作の表記

表記例	意味
[SHIFT]キー	キーは、大カッコ()で囲んであらわします。
[F]→[O]キー	キーが右矢印(→)で区切られている場合は、それぞれのキーを順に押すことをあらわします。 この例では、[F]キー、[O]キーを順に押すことをあらわしています。
[Ctrl]+[A]キー	2つのキーの間にあるプラス記号(+)は、最初のキーを押しながら2番目のキーを押すことをあらわします。 この例では、[Ctrl]キーを押しながら、[A]キーを押すことをあらわしています。
矢印キー	[→]キー、[←]キー、[↑]キー、[↓]キーの総称です。

記号の表記

記号	意味
	『注意事項』を意味します。 取り扱い、使用方法などに関する注意事項や、設定を行う際の注意事項を説明しています。
	『関連』を意味します。 設定を行う際の関連箇所を説明しています。
※	『注釈』を意味します。 簡単な補足説明などのコメントを記述しています。

本書で使用される用語

「KDDI ファイルストレージ」

KDDI株式会社が提供するインターネット経由でご利用いただくサービスです。ユーザーはブラウザやメール、WebDAV接続、スマートフォン(Android・iPhone・iPad)などを使用して安全にファイルを送信、受信、共有することができます。

管理者

ユーザーの作成など、「KDDI ファイルストレージ」内でユーザー環境の設定や管理を行う管理者のことです。ご契約時にこの権限のユーザーが1つ発行されます。

ユーザー

「KDDI ファイルストレージ」を利用することができるユーザーのことです。管理者にて作成することができます。

ドメイン

「KDDI ファイルストレージ」の契約単位のグループのことです。基本的にはご契約いただいた企業のメールアドレスの『@』の後ろのドメイン名と一致します。

例)

メールアドレスが『user01@example.co.jp』の場合、ドメイン名は『example.co.jp』

ユーザーフォルダ

ユーザーフォルダはユーザーごとに作成することができるフォルダです。ほかのユーザーからは参照することができません。

グループフォルダ

グループフォルダはグループごとに作成することができるフォルダです。グループに所属するユーザーが参照することができます。

Web公開フォルダ/ファイル

「KDDI ファイルストレージ」にアカウントが存在しないユーザーにファイルを配信することができる機能です。ファイルダウンロード用の URL を生成し、その URL を相手に通知することでファイルの配信が可能になります。別途ダウンロード回数や公開期間を設定することもできます。

受取フォルダ

「KDDI ファイルストレージ」システムにアカウントが存在しないユーザーからファイルを受け取ることができる機能です。ファイルアップロード用の URL を生成し、その URL を相手に通知することでファイルの受け取りが可能になります。別途アップロード回数や公開期間などを設定することもできます。

1 管理者の操作について

1.1 「KDDI ファイルストレージ」にログインする

「KDDI ファイルストレージ」の ウェブサイトにログインします。

1. 「KDDI ファイルストレージ」の ウェブサイトにログインするため、下記 URL をブラウザに入力します。

https://kfs.kddi.ne.jp/

※URLの末尾に『ドメイン』名を追加することにより、ユーザーIDの『@』以下の入力を省略できる専用のログイン画面を開くこともできます。

例) https://kfs.kddi.ne.jp/example.co.jp

2. 「KDDI ファイルストレージ」の ウェブサイトにアクセスすると、下図 が表示されます。

3. 事前に通知されている管理者アカウントを入力し、[ログイン]ボタンをクリックし、ログインします。

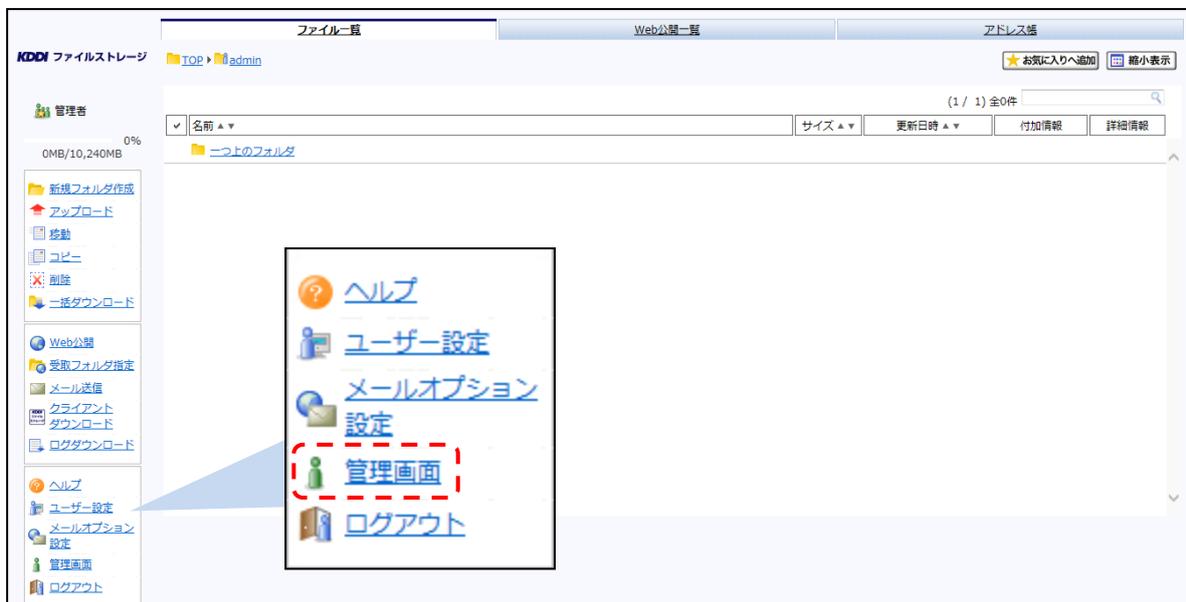
注意

『ユーザーID』はメールアドレス形式です。

例) test01@example.co.jp

1.2 管理画面にアクセスする

管理者権限のユーザーIDでログインすると、下図のように画面内左のメニューに『管理画面』のリンクが表示されます。



表示されたメニューの『管理画面』をクリックすると、下図のように管理者専用の画面が表示されます。



本書では、上記の『管理画面』での操作方法などについて、記述をしています。

※管理者権限のユーザーも一般ユーザーと同じく、ファイルのアップロードやダウンロード、Web公開の利用が可能です。その場合はメニューの『ユーザー画面』をクリックして、元の画面に戻って操作をします。

1.3 管理画面の構成

「KDDI ファイルストレージ」の管理画面は、下図のように上部のヘッダ、左部のメニュー、および中央のメインから構成されています。ヘッダで種類を選んだ後に、メニューで操作を選ぶ形になります。

メニュー **ヘッダ**

ユーザー管理 **グループ管理** **端末管理** **お知らせ管理** **ログ情報**

ユーザー ID 状態 **全て** 検索 表示件数 **10** 入力後すぐに検索

名前 メールアドレス アイコンの凡例

種類 **全て** (1 / 1) 全5件

<input checked="" type="checkbox"/>	ID ▲▼ 注釈	名前 ▲▼ メールアドレス ▲▼	ドメイン ▲▼	登録日	期間	許可	容量制限 使用量	状態
<input type="checkbox"/>	admin	admin@example.co.jp	example.co.jp	2015/11/24 21:03:30	---/--/--		無制限	
<input type="checkbox"/>	user01	山田 太郎	example.co.jp	2015/11/24 21:08:22	---/--/--		100MB 0MB	
<input type="checkbox"/>	user02	John Smith	example.co.jp	2015/11/24 21:08:26	---/--/--		100MB 0MB	
<input type="checkbox"/>	user03		example.co.jp	2015/11/24 21:08:30	---/--/--		100MB 0MB	
<input type="checkbox"/>	user04		example.co.jp	2015/11/24 21:08:34	---/--/--		100MB 0MB	

2 ユーザーを管理する

ユーザーの作成・設定変更・停止・再開・削除・作成時のデフォルト値の設定など、「KDDI ファイルストレージ」システムで使用するユーザーに関する設定を行います。

画面上のヘッダ部で[ユーザー管理]をクリックします。

The screenshot shows the 'ユーザー管理' (User Management) section of the KDDI File Storage management interface. The 'ユーザー管理' tab is highlighted with a red dashed box. The interface includes search filters for 'ユーザー ID', '名前' (Name), 'メールアドレス' (Email Address), and '種類' (Type). There are also search buttons and a '表示件数' (Number of items to display) dropdown set to 10. A table of users is displayed below the filters, with columns for 'ID', '名前', 'ドメイン', '登録日', '期間', '許可', '容量制限', and '状態'. The first row shows a user with ID '注釈' and name 'メールアドレス'.

注意

「KDDI Business ID」連携ユーザーの場合は、ユーザーの登録・種類の変更・削除などの操作はKDDI ビジネスオンラインサポートから行うことができます。「KDDI ファイルストレージ」の管理画面から操作した場合には、KDDI ビジネスオンラインサポート上とユーザーの情報が不一致となります。

2.1 ユーザーを登録する

「KDDI ファイルストレージ」システムにユーザーのアカウントを作成します。ヘッダ部で『ユーザー管理』が選択されている状態でメニューの『新規』をクリックすると、下図が表示されます。

The screenshot shows the '新規ユーザー登録' (New User Registration) page. The main form includes the following fields and options:

- ID:** Text input field (required).
- PASSWORD:** Text input field (required).
- ユーザーフォルダ:** Checkboxes for '作成する' (Create), '容量制限' (Capacity Limit), and 'MB'.
- フォルダオプション:** A modal window with settings for:
 - バージョン管理 (Version Management): パージョン管理する
 - アップロードされたらメールで通知 (Notify by email when uploaded):
 - ダウンロードされたらメールで通知 (Notify by email when downloaded):
 - 時限ファイル期限の強制 (Enforce time-limited file expiration): System settings priority, 日間, フォルダにも適用
 - Web公開期限の強制 (Enforce Web public expiration): System settings priority, 日間
 - 受取フォルダ期限の強制 (Enforce receiving folder expiration): System settings priority, 日間
 - アプリ制限設定 (App restriction settings):
 - iOSアプリのローカル保存 (iOS app local storage): System settings priority
 - iOSアプリのローカルファイルの制限解除 (Remove iOS app local file restrictions): System settings priority
 - メール文書設定 (Email document settings):
 - アップロード通知メール (Upload notification email):
 - 送信先 (Recipient): このユーザーに送信 (Send to this user)
 - FROM (From): システム設定を優先 (Priority system settings)
 - 文書設定 (Document settings): システム設定を優先 (Priority system settings)
 - ダウンロード通知メール (Download notification email):
 - 送信先 (Recipient): このユーザーに送信 (Send to this user)
 - FROM (From): システム設定を優先 (Priority system settings)
 - 文書設定 (Document settings): システム設定を優先 (Priority system settings)
- ドメイン:** example.co.jp
- 名前:** Text input field
- 種類:** 一般ユーザー (General user)
- グループ:** List of groups with '参加 >>' (Join) and '<< 外す' (Remove) buttons.
- メールアドレス:** Text input field with '複数指定' (Specify multiple) button.
- 注釈:** Text input field
- 許可:** Web公開, メール送信, 読取専用
- アクセス制限:** アクセス制限設定 (Access restriction settings) with '設定' (Settings) button.
- ログインフォルダ:** Text input field with a hint: 'ログイン時の初期位置を変更します。以下の置換文字列を含めることができます。 \${user} /ユーザーフォルダ/'
- 期限:** ユーザー期限 (User expiration) with a calendar icon.
- メールオプション設定:** ユーザー登録メールを送る (Send user registration email) with '設定' (Settings) button.

Buttons at the bottom: 作成 (Create), 一覧に戻る (Return to list).

必要な項目を入力して、最下部の<作成> ボタンをクリックし、ユーザーのアカウントを作成します。

各項目の解説です。

項目	解説
ID	<p>ログイン時の『ユーザーID』はメールアドレス形式(XXX@ドメイン名)ですが、その『@』前の値を設定します。</p> <p>※ドメイン名が『example.co.jp』でIDを『test01』とすると、ユーザーIDは『test01@example.co.jp』となります。</p> <p>※一度、設定をすると、後から変更はできません。</p> <p>■IDに使用できる文字と制限について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以下の文字列が使用可能です。 <ul style="list-style-type: none"> 半角英数字、半角記号『-』(ハイフン)、『_』(アンダーバー)、『.』(ドット)、『]』(スペース) ※IDの先頭と末尾に(ドット)と(スペース)は使用できません。 ・最大文字数は、50文字です。 ・"root"という文字列では登録できません。 ・既存のユーザーID、グループ名と同じ文字列は使用できません。
PASSWORD	<p>パスワードを設定します。</p> <p>※デフォルトのPASSWORDポリシーでは、8文字以上の入力を必須としています。</p> <p>※最大文字数は、50文字です。</p> <p>※以下の文字列が使用可能です</p> <ul style="list-style-type: none"> ・半角英数字 ・<(不等号)、>(不等号)、'(シングルクォーテーション)、"(ダブルクォーテーション)、&(アンド)を除いた半角記号
ユーザーフォルダ	<p>[作成する]チェック 該当のユーザーのみが閲覧・操作可能な『ユーザーフォルダ』を作る場合はチェックを入れます。</p> <p>[容量制限] MB 作成したユーザーフォルダの容量を制限したい場合は値を入れます。</p> <p>※ユーザーごとに設定した[容量制限]の値の合計が、契約上の全体の容量を超えても設定は可能です。各フォルダにアップロードされたファイル容量が契約上の容量を超えた場合は、アップロードができなくなります。</p>

項目	解説
フォルダオプション	<p>上記で作成したユーザーフォルダに対するファイルのアップロードやダウンロードに関する通知メールや、アップロードされたファイル/フォルダに対する強制的な制限を設定することができます。</p> <p>[バージョン管理する]チェック ユーザーフォルダ直下にバックアップフォルダが作成されます。(ただし何もアップロードしてない状況では作成されません。) アップロードされたファイルはフォルダも含めバックアップフォルダにコピーされます。ファイルを上書きアップロードすると、最新版のほかに3世代分自動保管されます。 ファイルを削除した場合、10日後にバックアップフォルダのファイルも削除されます。 なお本機能を利用するとファイルアップロードの容量はファイル容量の2倍加算されます。また上書きアップロードの場合、2世代目、3世代目のファイル容量も加算されます。</p> <p>※本機能のユーザー側の操作イメージやその他注意点などについては『ユーザーズガイド(パソコン編)』をご参照ください。</p> <p>[アップロード/ダウンロードされたら、メールで通知]チェック 作成した『ユーザーフォルダ』にファイルがアップロード/ダウンロードされた場合に、通知メールを出すことができます。</p> <p>[時限ファイル期限の強制] ユーザーフォルダにアップロードされたファイルを、設定した期間経過後、自動で削除させることが可能です。 [フォルダにも適用]にチェックを入れると、フォルダも自動削除の対象となります。 ※サービスご利用開始時にKDDIより払い出した管理者IDで該当のユーザーフォルダにファイルをアップロードしたり、フォルダを作成したりした場合は時限の強制はされません。</p> <p>例)『設定』を選択し、『5日間』と設定した場合 2012/4/1にユーザーが自身のユーザーフォルダに『test.pdf』をアップロードすると、そのファイルは日付が『2012/4/6』に変わるタイミングで削除されます。 ※『5日間』と設定した後、『10日間』と変更した場合、設定変更前にアップロードされたファイルは5日後に削除されますのでご注意ください。 設定をファイルに適用する場合は、同じファイルを再度アップロードしていただくか、新規にアップロードしていただくことで期限が『10日間』に更新されます。</p> <p>[Web公開期限の強制] ユーザーフォルダ上のファイル/フォルダをWeb公開する際に設定可能な最大の公開日数を設定します。</p> <p>例)『設定』を選択し、『5日間』と設定した場合 2012/4/1にユーザーが自分のユーザーフォルダ上の『test.pdf』をWeb公開する場合、『公開期限』は最長で、5日後の『2012/4/6』までしか設定ができなくなります。</p> <p>[受取フォルダ公開期限の強制] ユーザーフォルダ上のフォルダを『受取フォルダ』として公開する際に、設定可能な最大の公開日数を設定します。</p> <p>※各項目で、『システム設定を優先』、『無期限』を選択した場合は、上記のような強制的な設定は反映されません。</p>

項目	解説														
	<p>[アプリ制限設定]</p> <p>・iOSアプリのローカル保存 iPhone/iPadアプリからアクセスした場合に、端末へのファイルの保存を禁止にすることができます。</p> <table border="1" data-bbox="491 389 1353 748"> <thead> <tr> <th data-bbox="491 389 740 423">選択肢</th> <th data-bbox="740 389 1353 423">解説</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="491 423 740 555">システム設定を優先</td> <td data-bbox="740 423 1353 555">『管理画面』>『システム設定』>『アプリ制限設定』でドメイン全体の設定を行っている場合は、ドメイン全体の設定にしたがいます。ドメイン全体の設定を行っていない場合は、『許可』と同様になります。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="491 555 740 680">禁止</td> <td data-bbox="740 555 1353 680">該当ユーザーフォルダ配下のファイルについて、iOSアプリで、端末のローカルフォルダへの保存を禁止にします。また、ほかのアプリケーションへファイルを渡すこともできなくなります。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="491 680 740 748">許可</td> <td data-bbox="740 680 1353 748">該当ユーザーフォルダ配下のファイルについて、iOSアプリで、端末のローカルフォルダへの保存を許可にします。</td> </tr> </tbody> </table> <p>・iOSアプリのローカルファイルの時限削除 iPhone/iPadアプリで端末へファイル/フォルダを保存した場合に、指定した日数を過ぎると、自動で端末から削除することができます。</p> <table border="1" data-bbox="491 878 1353 1984"> <thead> <tr> <th data-bbox="491 878 740 911">選択肢</th> <th data-bbox="740 878 1353 911">解説</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="491 911 740 1167">システム設定を優先</td> <td data-bbox="740 911 1353 1167"> 『管理画面』>『システム設定』>『アプリ制限設定』でドメイン全体の設定を行っている場合は、ドメイン全体の設定にしたがいます。ドメイン全体の設定を行っていない場合は、『無期限』と同様になります。 ※ドメイン全体の設定で、『設定』が選択され、日数が設定されている場合は、その日数が初期表示として、表示されます。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="491 1167 740 1984">設定</td> <td data-bbox="740 1167 1353 1984"> 該当ユーザーフォルダ配下のファイル/フォルダについて、iOSアプリのローカルフォルダへの保存した場合に、ここで指定した日数を経過後にアプリケーションを起動すると、自動で該当のファイル/フォルダを削除することができます。 ※フォルダは、該当フォルダが空になった場合に、削除されます。 ※1日間=24時間で計算されます。 例) 設定、3日間と設定した場合 2015/12/10 14:30に該当ユーザーフォルダ配下のファイルをダウンロードすると、2015/12/13 14:30以降にアプリケーションを起動すると該当のファイル/フォルダが自動で削除されます。 ※アプリケーションのローカルフォルダにダウンロードした後に、本設定をしても、アプリケーション側には反映されません。本設定後に、ダウンロードしたファイル/フォルダが対象となります。 ※時限が設定されたローカルフォルダ内のファイル/フォルダにはアイコンに時計マークが付与されます。 </td> </tr> </tbody> </table>	選択肢	解説	システム設定を優先	『管理画面』>『システム設定』>『アプリ制限設定』でドメイン全体の設定を行っている場合は、ドメイン全体の設定にしたがいます。ドメイン全体の設定を行っていない場合は、『許可』と同様になります。	禁止	該当ユーザーフォルダ配下のファイルについて、iOSアプリで、端末のローカルフォルダへの保存を禁止にします。また、ほかのアプリケーションへファイルを渡すこともできなくなります。	許可	該当ユーザーフォルダ配下のファイルについて、iOSアプリで、端末のローカルフォルダへの保存を許可にします。	選択肢	解説	システム設定を優先	『管理画面』>『システム設定』>『アプリ制限設定』でドメイン全体の設定を行っている場合は、ドメイン全体の設定にしたがいます。ドメイン全体の設定を行っていない場合は、『無期限』と同様になります。 ※ドメイン全体の設定で、『設定』が選択され、日数が設定されている場合は、その日数が初期表示として、表示されます。	設定	該当ユーザーフォルダ配下のファイル/フォルダについて、iOSアプリのローカルフォルダへの保存した場合に、ここで指定した日数を経過後にアプリケーションを起動すると、自動で該当のファイル/フォルダを削除することができます。 ※フォルダは、該当フォルダが空になった場合に、削除されます。 ※1日間=24時間で計算されます。 例) 設定、3日間と設定した場合 2015/12/10 14:30に該当ユーザーフォルダ配下のファイルをダウンロードすると、2015/12/13 14:30以降にアプリケーションを起動すると該当のファイル/フォルダが自動で削除されます。 ※アプリケーションのローカルフォルダにダウンロードした後に、本設定をしても、アプリケーション側には反映されません。本設定後に、ダウンロードしたファイル/フォルダが対象となります。 ※時限が設定されたローカルフォルダ内のファイル/フォルダにはアイコンに時計マークが付与されます。
選択肢	解説														
システム設定を優先	『管理画面』>『システム設定』>『アプリ制限設定』でドメイン全体の設定を行っている場合は、ドメイン全体の設定にしたがいます。ドメイン全体の設定を行っていない場合は、『許可』と同様になります。														
禁止	該当ユーザーフォルダ配下のファイルについて、iOSアプリで、端末のローカルフォルダへの保存を禁止にします。また、ほかのアプリケーションへファイルを渡すこともできなくなります。														
許可	該当ユーザーフォルダ配下のファイルについて、iOSアプリで、端末のローカルフォルダへの保存を許可にします。														
選択肢	解説														
システム設定を優先	『管理画面』>『システム設定』>『アプリ制限設定』でドメイン全体の設定を行っている場合は、ドメイン全体の設定にしたがいます。ドメイン全体の設定を行っていない場合は、『無期限』と同様になります。 ※ドメイン全体の設定で、『設定』が選択され、日数が設定されている場合は、その日数が初期表示として、表示されます。														
設定	該当ユーザーフォルダ配下のファイル/フォルダについて、iOSアプリのローカルフォルダへの保存した場合に、ここで指定した日数を経過後にアプリケーションを起動すると、自動で該当のファイル/フォルダを削除することができます。 ※フォルダは、該当フォルダが空になった場合に、削除されます。 ※1日間=24時間で計算されます。 例) 設定、3日間と設定した場合 2015/12/10 14:30に該当ユーザーフォルダ配下のファイルをダウンロードすると、2015/12/13 14:30以降にアプリケーションを起動すると該当のファイル/フォルダが自動で削除されます。 ※アプリケーションのローカルフォルダにダウンロードした後に、本設定をしても、アプリケーション側には反映されません。本設定後に、ダウンロードしたファイル/フォルダが対象となります。 ※時限が設定されたローカルフォルダ内のファイル/フォルダにはアイコンに時計マークが付与されます。														

項目	解説	
		<div data-bbox="794 286 1302 434" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> </div> <p>また、該当ファイルの『詳細』画面から削除予定日を確認することもできます。(項目名:時限ファイル)</p> <div data-bbox="810 533 1228 990" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> </div> <p>無期限</p> <p>該当ユーザーフォルダ配下のファイル/フォルダについて、iOSアプリのローカルフォルダに保存しても自動で削除しない場合はこちらを選択します。</p>
<p>※本機能は、該当のユーザーフォルダに適用されます。</p> <p>※『iOSアプリのローカル保存』を『禁止』に設定した場合は、『iOSアプリのローカルファイルの時限削除』を設定しても、有効に機能しません。</p> <p>※本機能はiPhone/iPadアプリ『File Storage』の『Ver.2.1.0』以上を利用した場合に有効となります。</p> <p>[メール文書設定] 該当ユーザーフォルダにファイルがアップロード/ダウンロードされた際の通知メールのテンプレートを設定することが可能です。</p> <p>※『送信先』を『このユーザーに送信』にした場合は該当ユーザーに登録したメールアドレス(サブメールアドレスも含む)に送信されます。</p> <p>※『送信先』を『設定』とした場合に設定できるメールアドレスの上限は10件です。</p> <p>※『FROM』と『文書設定』を『システム設定を優先』にすると、以下のようなメールが送信されます。</p>		

項目	解説
	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>FROM: KDDI ファイルストレージ<support@kfs.kddi.ne.jp> 件名: ファイルがアップロードされました。 本文: 下記の通り、ファイルがアップロードされました。</p> <hr/> <p>日時 : 2012/04/01 18:22:19 ユーザー名 : (氏) (名) ファイル : /example.co.jp/user01/folder01/test.pdf アクセス元: xx.xx.xx.xx</p> <hr/> <p>※本メールには返信しないでください。</p> </div>
名前	<p>ログイン時に画面左上に表示されます。 ※設定しない場合はユーザーIDが表示されます。</p>
種類	<p>[一般ユーザー] 通常のユーザーです。</p> <p>[管理者] ユーザー、グループの管理、ログの閲覧などができます。 すべてのファイル、フォルダの閲覧、操作ができます。</p> <p>※グループに『読取専用』で所属させた場合でもすべてのフォルダの操作・閲覧が可能です。</p> <p>[グループ作成者] 一般ユーザーに管理者機能の『グループ作成』の権限をもたせたユーザーです。</p> <p>※ほかの管理者が作成したグループの更新・削除はできません。</p> <p>[読取専用ユーザー] ファイルのダウンロードのみが可能です。アップロードやWeb公開、削除などはできません。</p>
グループ	<p>グループに所属させたい場合は、[参加しないグループ]欄から参加させるグループを選択し<参加>ボタンをクリックします。</p> <p>※[R]マークのグループに参加させると、該当グループのグループフォルダには『読取専用』権限で所属する形となります。[W]マークのグループであれば、ファイルのアップロードや削除などの操作が可能になります。 ※検索結果に表示できるグループの上限は、100件です。</p>

項目	解説
メールアドレス	<p>各種システムメールの通知先を設定します。 ※複数登録することも可能です。</p>
注釈	<p>ユーザーに関する説明を設定することができます。 これは管理画面でユーザー情報を一覧で表示させた際に確認が可能です。</p>
許可	<p>[Web公開] チェックを入れると、ファイル/フォルダのWeb公開、受取フォルダの作成が可能になります。</p> <p>[Web公開の承認] チェックを入れると、該当ユーザーにWeb公開の承認者の権限が付与されます。 ※本チェック項目は『管理画面』>『システム設定』>『Web公開承認の設定』で、『設定:Web公開は承認を必要とする』の設定がされていた場合に、表示されます。</p> <p>※Web公開承認機能については、本マニュアルの『6.2 Web公開承認の設定をする』をご確認ください。</p> <p>[メール送信] チェックを入れると、Web公開されたファイル/フォルダのURLをブラウザ画面上からメールで通知する機能が利用可能になります。 ※この項目にチェックを入れない場合は該当ユーザーに以下の制約が発生します。 ・Web公開を設定する画面で、『ダウンロードされたらメールで通知』の項目が表示されません。 ・『ユーザー設定』画面で『メールアドレス』の項目が表示されません。</p> <p>[読取専用] チェックを入れると、ファイルの属性を『読取専用』にすることが可能になります。 ※『ファイルの属性』の詳細は別冊『ユーザーズガイド』をご参照ください。</p>
Web公開承認担当ユーザー/グループ	<p>該当ユーザーのWeb公開の承認者、グループを登録します。</p> <p>※本チェック項目は『管理画面』>『システム設定』>『Web公開承認の設定』で、『設定:Web公開は承認を必要とする』の設定がされていた場合に、表示されます。</p> <p>※Web公開承認機能については、本マニュアルの『6.2 Web公開承認の設定をする』をご確認ください。</p> <p>例1) ユーザー『shonin@example.co.jp』を承認者として登録する場合は『shonin@example.co.jp』と入力します。</p> <p>例2) グループ名『承認G@example.co.jp』を承認グループとして登録する場合は『承認G@example.co.jp』と入力します。</p> <p>※ユーザー名、グループ名は@以下も入力してください。</p> <p>※複数ユーザーを承認者として登録したい場合は、グループで登録します。</p> <p>※グループを登録しても、該当グループに所属するユーザーに承認者の権限が付与されていない場合は、実際には承認者にはなりません。</p>

項目	解説																																			
アクセス制限	<p>該当ユーザーがログインする際のアクセス元のIPアドレスやドメイン、クライアント種別を制限する場合に設定します。</p> <div data-bbox="518 331 1216 1081" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;">アクセス制限設定</p> <p>.....</p> <p>アクセス制限設定</p> <p><input checked="" type="radio"/> 全体設定 ?</p> <div style="border: 1px solid gray; height: 100px; width: 100%;"></div> <p><input type="radio"/> クライアント種別設定 ?</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #d9ead3;">クライアント種別</th> <th style="background-color: #d9ead3;">許可</th> <th style="background-color: #d9ead3;">端末認証</th> <th style="background-color: #d9ead3;">IPアドレス制限</th> <th style="background-color: #d9ead3;">IPアドレス制限設定値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ブラウザ(PC)</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">設定</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ブラウザ(スマホ)</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">設定</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Windowsアプリ</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/> <input type="text" value=""/></td> <td style="text-align: center;">台 設定</td> <td></td> </tr> <tr> <td>iOSアプリ</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/> <input type="text" value=""/></td> <td style="text-align: center;">台 設定</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Androidアプリ</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/> <input type="text" value=""/></td> <td style="text-align: center;">台 設定</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他WebDAV</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">設定</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">.....</p> <p style="text-align: center;"> <input type="button" value="設定"/> <input type="button" value="戻る"/> </p> </div> <p>[全体設定] クライアントの区別をせず、特定のIPアドレス/ドメインからのアクセスを許可したい場合は、こちらを選択し、設定をします。</p> <p>例) ブラウザやiOSアプリ、Androidアプリケーションなどのすべてのアクセス方法について、同じIPアドレスで制限したい場合はこちらで設定をします。</p> <p>※記述方法は、『?』マークをクリックして表示されるヒントを参考にしてください。</p> <p>※『全体設定』を選択し、何も記述しない場合は、アクセス制限の設定はない形となります。</p> <p>[クライアント種別設定] アクセス可能なクライアントや端末を制限したい場合や、クライアントごとにIPアドレスを制限したい場合は、こちらで設定をします。</p> <p>■『クライアント種別』『許可』について 『許可』欄にチェックをしたクライアント種別のみアクセスが可能になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブラウザ(PC) パソコン向けのブラウザ画面の利用を指します。 ※ユーザーの種類が『管理者』または『グループ作成者』の場合は、許可しないと管理画面にアクセスできなくなります。 ・ブラウザ(スマホ) スマートフォン向けのブラウザ画面の利用を指します。 	クライアント種別	許可	端末認証	IPアドレス制限	IPアドレス制限設定値	ブラウザ(PC)	<input type="checkbox"/>	-	設定		ブラウザ(スマホ)	<input type="checkbox"/>	-	設定		Windowsアプリ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="text" value=""/>	台 設定		iOSアプリ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="text" value=""/>	台 設定		Androidアプリ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="text" value=""/>	台 設定		その他WebDAV	<input type="checkbox"/>	-	設定	
クライアント種別	許可	端末認証	IPアドレス制限	IPアドレス制限設定値																																
ブラウザ(PC)	<input type="checkbox"/>	-	設定																																	
ブラウザ(スマホ)	<input type="checkbox"/>	-	設定																																	
Windowsアプリ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="text" value=""/>	台 設定																																	
iOSアプリ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="text" value=""/>	台 設定																																	
Androidアプリ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="text" value=""/>	台 設定																																	
その他WebDAV	<input type="checkbox"/>	-	設定																																	

項目	解説																																			
	<p>・Windowsアプリ 『KDDI ファイルストレージ クライアント』および、『同期ツール』を指します。 (『Ver.1.10.0.0』以上) ※『Ver.1.9.0.0』以下のアプリケーションは、『その他WebDAV』として認識されます。</p> <p>・iOSアプリ iPhone/iPad向けのアプリ『File Storage』を指します。(『Ver.2.1.0』以上) ※『Ver.1.x』や『Ver.2.0.x』のアプリケーションは、『その他WebDAV』として認識されま す。</p> <p>・Androidアプリ Android向けのアプリ『File Storage』を指します。(『Ver.2.1.0』以上) ※『Ver.1.x』や『Ver.2.0.x』のアプリケーションは、『その他WebDAV』として認識されま す。</p> <p>・その他WebDAV 上記Windows・iOS・Androidアプリケーション以外のWebDAVクライアントによるアクセ スを指します。</p> <p>■『端末認証』について Windows・iOS・Androidアプリケーションについて、チェックを入れ、台数を指定するこ とで、アクセス可能な端末を限定することができます。初回アクセス時にアプリケーシ ョン側で生成した端末IDでアクティベートが実行され、サーバ側に端末IDが登録されま す。 ※ここで設定した台数以上の端末はアクティベートできません。登録された端末IDは 『端末管理』で確認できます。 ※iOS/Androidアプリケーションについては、端末紛失時の対策として、アクティベート 済の端末に限り、端末IDを指定して、リモート消去(アプリケーションに設定しているす べての接続先とアプリケーションのローカルフォルダ内のファイルの削除)を実施する ことができます。 ※詳細は、『4 端末を管理する』の項目をご確認ください。</p> <p>■『IPアドレス制限』について クライアント種別ごとにアクセスを許可するIPアドレス/ドメインを設定します。</p> <p>※『クライアント種別設定』を選択し、何も設定しない場合は、該当ユーザーは一切の アクセスができなくなります。</p> <p>設定例) ・ブラウザ(PC)は、IPアドレス制限をする。(許可するIPアドレス=203.0.113.1) ・iOSアプリは、IPアドレスを制限せず、1台の端末に限定する。 ・ほかのクライアントのアクセスは許可しない。</p> <div data-bbox="528 1626 1321 1917" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>● クライアント種別設定 ?</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #d9ead3;">クライアント種別</th> <th style="background-color: #d9ead3;">許可</th> <th style="background-color: #d9ead3;">端末認証</th> <th style="background-color: #d9ead3;">IPアドレス制限</th> <th style="background-color: #d9ead3;">IPアドレス制限設定値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ブラウザ(PC)</td> <td style="text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/></td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">設定</td> <td>203.0.113.1</td> </tr> <tr> <td>ブラウザ(スマホ)</td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">設定</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Windowsアプリ</td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/> 台</td> <td style="text-align: center;">設定</td> <td></td> </tr> <tr> <td>iOSアプリ</td> <td style="text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/></td> <td style="text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/> 1 台</td> <td style="text-align: center;">設定</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Androidアプリ</td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/> 台</td> <td style="text-align: center;">設定</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他WebDAV</td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">設定</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> </div>	クライアント種別	許可	端末認証	IPアドレス制限	IPアドレス制限設定値	ブラウザ(PC)	<input checked="" type="checkbox"/>	-	設定	203.0.113.1	ブラウザ(スマホ)	<input type="checkbox"/>	-	設定		Windowsアプリ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 台	設定		iOSアプリ	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 1 台	設定		Androidアプリ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 台	設定		その他WebDAV	<input type="checkbox"/>	-	設定	
クライアント種別	許可	端末認証	IPアドレス制限	IPアドレス制限設定値																																
ブラウザ(PC)	<input checked="" type="checkbox"/>	-	設定	203.0.113.1																																
ブラウザ(スマホ)	<input type="checkbox"/>	-	設定																																	
Windowsアプリ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 台	設定																																	
iOSアプリ	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 1 台	設定																																	
Androidアプリ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 台	設定																																	
その他WebDAV	<input type="checkbox"/>	-	設定																																	

項目	解説
ログインフォルダ	<p>ユーザーがブラウザでログインした際に、表示するフォルダの位置を指定します。</p> <div data-bbox="563 309 1289 474" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p> ヒント ログインフォルダ</p> <p>ログイン時の初期位置を変更します。以下の置換文字列を含めることが出来ます。</p> <p><code>/\${user}</code> /ユーザーフォルダ/</p> </div> <p>※ユーザーフォルダにしたい場合は『<code>/\${user}</code>』、共有フォルダを含めたTOP配下にしたい場合は『<code>/</code>』とします。</p>
期限	<p>設定した期限を過ぎるとユーザー停止処理が実行され、ユーザーがログインできない状態になります。ユーザーおよびユーザーフォルダは削除されません。</p>
ユーザー登録メールを送る	<p>チェックを入れると、〈作成〉ボタンをクリックした際に、以下のようなメールが『メールアドレス欄』に登録したアドレスに送信されます。</p> <div data-bbox="523 734 1275 1420" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>FROM: KDDI ファイルストレージ<support@kfs.kddi.ne.jp> 件名: 【KDDI ファイルストレージ】アカウントが登録されました。 本文: KDDI ファイルストレージのアカウントが登録されましたので、お知らせします。</p> <p>登録情報は下記の通りです。</p> <hr/> <p>ユーザー名 : (氏) (名) ユーザーID : test01@example.co.jp パスワード : password メールアドレス: test01@example.co.jp 参加グループ : (W)グループ A@example.co.jp</p> <hr/> <p>オンラインストレージは https://kfs.kddi.ne.jp からログインしてご利用ください。</p> <p>※ログイン後、『ユーザー設定』より、パスワードを変更してください。 ※本メールには返信しないでください。</p> </div> <p>※上記メールの文書を変更することはできません。</p>

 **注意**

- IDは後から変更することはできません。
- ※変更する場合は、一度、ユーザーを削除して、新規登録し直してください。

2.2 ユーザーを検索する

管理画面上部にある『ユーザー管理』から登録されているユーザーを検索することが可能です。

必要な項目を入力して、ユーザーを検索します。

検索で使用する項目

項目	解説
ユーザーID	<p>検索したいユーザーIDを入力します。</p> <p>※検索は前方一致で実行されます。 ※『*』を使用することでその文字を含んだ部分一致で検索を実行することができます。</p> <p>例) test01@example.co.jpを検索したい場合 『*01』と入力しても検索が可能です。</p>
名前	<p>検索したい名前を入力します。</p> <p>※検索は前方一致で実行されます。 ※『*』を使用することでその文字を含んだ部分一致で検索を実行することができます。</p>
メールアドレス	<p>検索したいメールアドレスを入力します。</p> <p>※検索は前方一致で実行されます。 ※『*』を使用することでその文字を含んだ部分一致で検索を実行することができます。</p>
種類	<p>ユーザーの種類『全て』、『一般ユーザー』、『グループ管理者』、『グループ作成者』、『読取専用ユーザー』から選択した種類のユーザーのみに絞りこんで検索することができます。</p>
状態	<p>ユーザーの状態『全て』、『有効』、『停止中』から選択した状態のユーザーのみに絞りこんで検索することができます。</p>
表示件数	<p>検索結果の表示したい数を『10』、『20』、『30』、『50』、『100』から選択します。</p>
入力後すぐに検索	<p>ここにチェックを入れるとキーワード入力と同時に検索が始まります。</p>

※未入力状態で『検索』ボタンを押下すると登録されている全ユーザーが表示されます。

※検索結果の『ID/注釈』、『名前/メールアドレス』、『ドメイン』はマウスで表示幅を調整できます。

※検索結果のフォルダアイコンの列はユーザーフォルダが存在するとチェックマークが表示されます。

※検索結果の『使用量』はユーザーフォルダに容量制限がされている場合に表示されます。

検索結果の『許可』欄に表示されるアイコンについて、説明します。

ID ▲▼ 注釈	名前 ▲▼ メールアドレス ▲▼	ドメイン ▲▼	登録日	期間	許可	容量制限 使用量	KDDI Business ID 連携	状態
	admin	管理者	example.co.jp	2012/07/25 18:24:47	---/--/--		<input checked="" type="checkbox"/>	
	User00	山田 太郎	example.co.jp	2012/07/27 14:49:50	---/--/--		<input checked="" type="checkbox"/>	
	user01	John Smith user01@example.co.jp	example.co.jp	2012/03/08 16:15:45	---/--/--	 	<input checked="" type="checkbox"/>	
	user02	John Doe	example.co.jp	2012/03/10 08:15:13	---/--/--		<input checked="" type="checkbox"/>	
	user03	Taro Yamada	example.co.jp	2012/03/11	---/--/--		<input checked="" type="checkbox"/>	

「KDDI Business ID」連携ユーザー
の場合にはチェックがつきます

管理画面で使用されるアイコン

アイコン	内容
	Web公開 ファイル/フォルダのWeb公開、受取フォルダの作成が可能な状態を表します。
	メール送信 Web公開されたファイル/フォルダのURLをブラウザ画面上からメールで通知する機能が利用可能な状態を表します。
	読取専用 ファイルの属性を『読取専用』にしたり、『ロック』にしたりすることが可能な状態を表します。
	無期限ファイル 『時限ファイル期限の強制』が設定されているフォルダにファイルをアップロード、フォルダを作成しても、該当ユーザーの操作の場合は、その影響を受けないことを表します。 ※サービスご利用開始時にKDDIより払い出した管理者IDのみ表示されます。
	無期限PASSWORD パスワードポリシーの設定で『PASSWORDの有効期限を設定』しても、その影響を受けないことを表します。 ※サービスご利用開始時にKDDIより払い出した管理者IDのみ表示されます。
	Web公開の承認 該当ユーザーにWeb公開の承認者としての権限が付与された状態を表します。

2.3 ユーザーの設定内容を変更する

「KDDI ファイルストレージ」システムのユーザーの設定内容を変更します。設定内容を変更するユーザーのアカウントを選択して、メニューの『更新』をクリックすると、下図が表示されます。

The screenshot displays the 'ユーザー更新' (User Update) page. At the top, there are navigation tabs: 'ユーザー管理', 'グループ管理', '端末管理', 'お知らせ管理', and 'ログ履歴'. The main content area is titled 'ユーザー更新' and shows the following fields and options:

- ID:** user01
- PASSWORD:** [Input field] ※未入力は初期のまま
- ユーザーフォルダ:**
 - 作成する
 - 容量制限 100 MB
 - ※チェックをはずし更新を行うとユーザーフォルダが削除されます。
- フォルダオプション:** [Link to modal window]
- ドメイン:** example.co.jp
- 名前:** 山田 太郎
- 種類:** 一般ユーザー
- グループ:**
 - 参加しないグループ: [Input field] 検索
 - 参加するグループ: [Input field]
 - Buttons: 参加 >>, << 外す
- メールアドレス:** [Input field] 複数指定
- 注釈:** [Input field]
- 許可:**
 - Web公開 メール送信
 - 読取専用
- アクセス制限:** アクセス制限設定 設定
- ログインフォルダ:** [Input field]
- ヒント ログインフォルダ:** ログイン時の初期位置を変更します。以下の置換文字列を含めることが出来ます。
 \${user} /ユーザーフォルダ/
- 期限:**
 - ユーザー期限 [Input field] / [Input field] / [Input field] [Calendar icon]
 - ヒント 期限:** 設定した期限を過ぎるとユーザー停止処理が実行され、ユーザーがログイン出来ない状態になります。ユーザー及びユーザーフォルダは削除されません。
 - ユーザー更新メールを送る
- メールオプション設定:** 設定

At the bottom of the page, there are buttons for '更新' (Update) and '一覧に戻る' (Return to List).

必要な項目を変更して、<更新> ボタンをクリックすると、ユーザーのアカウントの設定内容が変更されます。

※『ID』は変更できません。

※『アクセス制限設定』>『クライアント種別設定』のWindows・iOS・Androidアプリの『端末認証』の台数を減らす場合について、既にアクティベーション済の端末がある場合は、アクティベーション済の台数よりも少ない台数を指定することはできません。その場合は事前に『端末管理』にて、不要な端末IDを削除する必要があります。

※『アクセス制限設定』>『クライアント種別設定』でWindows・iOS・Androidアプリの『端末認証』を設定し、既にアクティベーション済の場合に、端末認証をオフにしたり、『全体設定』に変更すると、アクティベーション済の端末情報は削除されます。(端末情報が削除されたことは、『端末管理』で確認できます。)

※『ユーザー更新メールを送る』にチェックを入れると、『メールアドレス』欄に登録されたアドレスに以下のようなメールが届きます。

FROM: KDDI ファイルストレージ<support@kfs.kddi.ne.jp>
件名:【KDDI ファイルストレージ】アカウントが更新されました。

KDDI ファイルストレージのアカウントが更新されましたので、お知らせします。

更新情報は下記の通りです。

ユーザー名 : (氏) (名)
ユーザーID : user01@example.co.jp
パスワード : password
メールアドレス : user01@example.co.jp
参加グループ : (W)GroupA@example.co.jp, Group01@example.co.jp

オンラインストレージは <https://kfs.kddi.ne.jp> よりログインして
ご利用ください。

※本メールには返信しないでください。

※上記メールの文書を変更することはできません。

※「KDDI Business ID」連携ユーザーの場合は、「KDDI Business ID」の項目が表示されます。
また、PASSWORDの変更はできません。

ユーザー管理 | グループ管理 | 端末管理 | お知らせ管理 | ログ情報

ユーザー更新

ID user01

KDDI Business ID (ログインID) user01@kbi.com

PASSWORD ※KDDI Business ID連携ユーザーのためPASSWORDの変更はできません。

ユーザーフォルダ 作成する 容量制限

※チェックをはずし実行を行うとユーザーフォルダが複製されます。

フルダブアクション

<一覧に戻る> ボタンをクリックすると、『ユーザー管理』画面に戻ります。

2.4 ユーザーを停止する

「KDDI ファイルストレージ」システムのユーザーのアカウントを一時的に無効することができます。

無効にするユーザーのアカウントを選択してメニューの『停止』をクリックすると、下図が表示されます。

 ユーザー停止

ID	user00		
ユーザーフォルダ	作成済み	容量制限	無制限
	バージョン管理しない		
	アップロードされてもメールで通知しない		
	ダウンロードされてもメールで通知しない		
	時限ファイル期限の強制		
	システム設定を優先		
	Web公開期限の強制		
	システム設定を優先		
	受取フォルダ期限の強制		
	システム設定を優先		
ドメイン	example.co.jp		
名前	山田 太郎		
種類	管理者		
グループ	<input checked="" type="checkbox"/> Group01 <input checked="" type="checkbox"/> GroupA		
ログインフォルダ			
メールアドレス			
注釈			
許可	<input checked="" type="checkbox"/> Web公開 <input checked="" type="checkbox"/> Web公開の承認 <input checked="" type="checkbox"/> メール送信 <input checked="" type="checkbox"/> 読取専用		
Web公開承認担当	ユーザー/グループ		
アクセス制限	制限しない		
期限	<input type="text" value="ユーザー期限"/> --- / -- / --		

<停止> ボタンをクリックすると、ユーザーのアカウントが無効になり、ログインができなくなります。

<一覧に戻る> ボタンをクリックすると、『ユーザー管理』画面に戻ります。

2.5 ユーザーを再開する

停止状態の「KDDI ファイルストレージ」システムのユーザーのアカウントを有効にします。

有効にするユーザーのアカウントを選択してメニューの『再開』をクリックすると、下図が表示されます。

 ユーザー再開

ID	user00		
ユーザーフォルダ	作成済み	容量制限	無制限
	バージョン管理しない		
	アップロードされてもメールで通知しない		
	ダウンロードされてもメールで通知しない		
	時限ファイル期限の強制		
	システム設定を優先		
	Web公開期限の強制		
	システム設定を優先		
	受取フォルダ期限の強制		
	システム設定を優先		
ドメイン	example.co.jp		
名前	山田 太郎		
種類	管理者		
グループ	<div style="display: flex; gap: 5px;"> <div style="background-color: #2196f3; color: white; border-radius: 50%; padding: 2px 5px; font-size: 10px;">W</div> Group01 <div style="background-color: #2196f3; color: white; border-radius: 50%; padding: 2px 5px; font-size: 10px;">W</div> GroupA </div>		
ログインフォルダ			
メールアドレス			
注釈			
許可	<input checked="" type="checkbox"/> Web公開 <input checked="" type="checkbox"/> Web公開の承認 <input checked="" type="checkbox"/> メール送信		
	<input checked="" type="checkbox"/> 読取専用		
Web公開承認担当 ユーザー/グループ			
アクセス制限	制限しない		
期限	<input type="text" value="ユーザー期限"/> <input type="text" value="----"/> / <input type="text" value="--"/> / <input type="text" value="--"/>		

〈再開〉 ボタンをクリックすると、ユーザーのアカウントが有効になります。

〈一覧に戻る〉 ボタンをクリックすると、『ユーザー管理』画面に戻ります。

2.6 ユーザーを削除する

「KDDI ファイルストレージ」システムのユーザーのアカウントを削除します。

削除するユーザーのアカウントを選択してメニューの『削除』をクリックすると、下图が表示されます。

 ユーザー削除

ID	user00		
ユーザーフォルダ	作成済み	容量制限	無制限
	バージョン管理しない		
	アップロードされてもメールで通知しない		
	ダウンロードされてもメールで通知しない		
	時限ファイル期限の強制		
	システム設定を優先		
	Web公開期限の強制		
	システム設定を優先		
	受取フォルダ期限の強制		
	システム設定を優先		
ドメイン	example.co.jp		
名前	山田 太郎		
種類	管理者		
グループ	<input checked="" type="radio"/> Group01 <input checked="" type="radio"/> GroupA		
ログインフォルダ			
メールアドレス			
注釈			
許可	<input checked="" type="checkbox"/> Web公開 <input checked="" type="checkbox"/> Web公開の承認 <input checked="" type="checkbox"/> メール送信 <input checked="" type="checkbox"/> 読取専用		
Web公開承認担当	ユーザー/グループ		
アクセス制限	制限しない		
期限	<input type="text" value="ユーザー期限"/> ---- / -- / --		

上記ユーザーを削除します。
 よろしければ削除を実行してください。
 ※必要により契約容量の変更も御願いたします。

<削除> ボタンをクリックすると、ユーザーのアカウントが削除されます。

<一覧に戻る> ボタンをクリックすると、『ユーザー管理』画面に戻ります。



ユーザーを削除すると、該当ユーザーの『ユーザーフォルダ』も削除されます。



ユーザーの『更新』、『停止』、『再開』、『削除』の操作は、ユーザー一覧画面のユーザーの上で右クリックすることで表示される『コンテキストメニュー』からでも同様の操作を行うことができます。また、グループ管理、お知らせ管理でもコンテキストメニューからメニューの一部と同様の操作を行うことができます。

The screenshot displays the 'ユーザー管理' (User Management) section of the KDDI File Storage interface. It includes search filters for 'ユーザー ID', '名前' (Name), 'メールアドレス' (Email Address), and '種類' (Type). A table lists users with columns for selection, ID, Name, Domain, and Registration Date. A context menu is shown over the user 'ログさん', listing actions: '更新' (Update), '停止' (Stop), '再開' (Restart), and '削除' (Delete).

ID	名前	ドメイン	登録日
admin	管理者	example.co.jp	2012/07/25 18:24:47
log	ログさん	example.co.jp	2013/04/16 16:19:44
testuser01		example.co.jp	2013/04/10 11:19:52
testuser02		example.co.jp	2013/04/10 11:20:08
testuser03	testuser03	example.co.jp	2013/04/10 11:20:26

※クリックで複数選択して操作をすることも可能です。

2.7 ユーザー作成時の初期値を設定する

ウェブサイト上でユーザーを作成する時の初期値を設定することができます。

メニューの『デフォルト設定』をクリックすると、下図 が表示されます。

必要な項目を入力して、<設定> ボタンをクリックすると、次回以降、ユーザーの新規作成画面を開くと、ここで設定した値が初期値として、入力された状態となります。

※『期限』について、日付と日数の両方を入力した場合は、日付が優先されます。

※本設定は管理者のユーザーごとに設定されます。複数の管理者で運用する場合はそれぞれで設定します。

<一覧に戻る> ボタンをクリックすると、『ユーザー管理』画面に戻ります。

2.8 ユーザーを一括登録する

複数のユーザー情報をCSVファイルを作成して、一括で登録することができます。

また、同じ方法で既に登録されているユーザー情報を更新することもできます。

メニューの『インポート』をクリックすると、下図が表示されます。

ユーザー管理
グループ管理
端末管理
お知らせ管理
ログ情報

🏠 ユーザーのインポート

ファイル 参照...

ユーザー登録/更新メールを送る

インポート
一覧に戻る

💡 ヒント

- インポートできるファイルはCSVフォーマットです。
- CSVのフォーマットは以下の通りです。


```

"userid","password","mkcol","limitsize","primary","joingroups", ...
"user1","pass","1","500","営業部","group1@営業部,group2@営業部", ...
"user2","pass","1","500","営業部","group1@営業部,group2@営業部", ...
"user3","pass","1","500","営業部","group1@営業部,group2@営業部", ...
                    
```
- 1行目はヘッダ行として無視します。
- ヘッダ行の順番は任意で変更可能です。設定が不要なデータの列は削除可能です。(必須項目以外)
- ユーザーが存在しない場合は作成します。存在する場合は更新します。ユーザーを削除する場合は削除フラグを指定します。
- 使用できるヘッダは以下の通りです。

ヘッダ	内容	備考
userid	ユーザーID	ドメインごとのID(ユーザーフォルダ名と同じ)(必須)
password	PASSWORD	空:変更しない(ユーザー作成時は必須)
mkcol	ユーザーフォルダ	1:作成する 0:作成しない 空:変更しない
limitsize	容量制限	単位MB 0:解除 空:変更しない
versioncontrol	バージョン管理する	1:設定 0:設定しない 空:変更しない
uploadmail	アップロードされたらメールで通知	1:設定 0:設定しない 空:変更しない
downloadmail	ダウンロードされたらメールで通知	1:設定 0:設定しない 空:変更しない
folder_fileexpiredays	時限ファイル期限の強制	日数 -1:システム設定を優先0:無期限 空:変更しない

folder_fileexpire_include_folder	時限ファイル期限の強制:フォルダにも適用	1:設定 0:設定しない 空:変更しない
folder_webpubexpiredays	Web公開期限の強制	日数 -1:システム設定を優先0:無期限 空:変更しない
folder_deliveryexpiredays	受取フォルダ期限の強制	日数 -1:システム設定を優先0:無期限 空:変更しない
defaultmail_upload_destination	アップロード通知メール:送信先	-1:このユーザーに送信1:設定空:変更しない
defaultmail_upload_destination_mailaddress	アップロード通知メール:送信先:メールアドレス	
defaultmail_upload_from	アップロード通知メール:FROM	-1:システム設定を優先1:設定空:変更しない
defaultmail_upload_from_mailaddress	アップロード通知メール:FROM:メールアドレス	
defaultmail_download_destination	ダウンロード通知メール:送信先	-1:このユーザーに送信1:設定空:変更しない
defaultmail_download_destination_mailaddress	ダウンロード通知メール:送信先:メールアドレス	
defaultmail_download_from	ダウンロード通知メール:FROM	-1:システム設定を優先1:設定空:変更しない
defaultmail_download_from_mailaddress	ダウンロード通知メール:FROM:メールアドレス	
device_save_40	iOSアプリのローカル保存	-1:システム設定を優先 0:禁止 1:許可 空:変更しない
device_expire_40	iOSアプリのローカルファイルの時限削除:日数	日数 -1:システム設定を優先 0:無期限 空:変更しない
primary	ドメイン	※変更不可
userfullname	名前	
basicrole	種類	user:一般ユーザー、groupadmin:グループ管理者、readonly:読取専用ユーザー、groupcreator:グループ作成者 空:変更しない
joingroups	参加グループ	カンマ区切り
joingroups_readonly	参加グループ(読取専用)	カンマ区切り
mailaddress	メールアドレス	
submailaddress	サブメールアドレス	カンマ区切り
comment	注釈	
publicwebenable	許可:Web公開	1:設定 0:設定しない 空:変更しない
publicapproval_enable	許可:Web公開の承認	1:設定 0:設定しない 空:変更しない
sendmailenable	許可:メール送信	1:設定 0:設定しない 空:変更しない
readonlyenable	許可:読取専用	1:設定 0:設定しない 空:変更しない

publicapproval_requestedgroup	Web公開承認担当 ユーザー/グループ	
accesslimit_config_type	アクセス制限タイプ	0:全体設定 1:クライアント種別
accesslist	アクセス制限	セミコロン区切り
device_enable_10	クライアント種別 ブラウザ (PC) 許可フラグ	1:設定 0:設定しない 空:変更しない ※ユーザーの種類(basicrole)が「グループ管理者 (groupadmin)」又は、「グループ作成者(groupcreator)」の場合は、「設定(1)」にしないと管理画面にアクセスできなくなります。
device_enable_11	クライアント種別 ブラウザ(スマホ) 許可フラグ	1:設定 0:設定しない 空:変更しない
device_enable_20	クライアント種別 Windowsアプリ 許可フラグ	1:設定 0:設定しない 空:変更しない
device_enable_40	クライアント種別 iOSアプリ 許可フラグ	1:設定 0:設定しない 空:変更しない
device_enable_50	クライアント種別 Androidアプリ 許可フラグ	1:設定 0:設定しない 空:変更しない
device_enable_90	クライアント種別 その他 WebDAV 許可フラグ	1:設定 0:設定しない 空:変更しない
device_auth_20	端末認証 Windowsアプリ	1:設定 0:設定しない 空:変更しない
device_auth_40	端末認証 iOSアプリ	1:設定 0:設定しない 空:変更しない
device_auth_50	端末認証 Androidアプリ	1:設定 0:設定しない 空:変更しない
device_capacity_20	端末認証:台数 Windowsアプリ	台数
device_capacity_40	端末認証:台数 iOSアプリ	台数
device_capacity_50	端末認証:台数 Androidアプリ	台数
device_accesslist_10	クライアント種別 ブラウザ (PC) IPアドレス制限	セミコロン区切り
device_accesslist_11	クライアント種別 ブラウザ(スマホ) IPアドレス制限	セミコロン区切り
device_accesslist_20	クライアント種別 Windowsアプリ IPアドレス制限	セミコロン区切り
device_accesslist_40	クライアント種別 iOSアプリ IPアドレス制限	セミコロン区切り

device_accesslist_50	クライアント種別 Androidアプリ IPアドレス制限	セミコロン区切り
device_accesslist_90	クライアント種別 その他 WebDAV IPアドレス制限	セミコロン区切り
loginfolder	ログインフォルダ	
expire	ユーザー期限	YYYY/MM/DD 0:解除
delete	削除フラグ	1:ユーザーを削除する

画面の説明にしたがって、CSVファイルを作成します。

<CSVファイルの作成例>

以下の設定の場合

ユーザーID : user01
 パスワード : 17ftrT35
 ユーザーフォルダ : 作成する
 容量制限 : 500MB
 名前 : 山田 太郎
 種類 : 一般ユーザー
 参加グループ : Group01
 参加グループ(読取専用) : なし
 メールアドレス : user01@example.co.jp
 注釈 : なし
 許可/Web公開 : 許可
 許可/メール送信 : 許可
 許可/読取専用 : 許可
 ユーザー期間 : なし

```
userid,password,mkcol,limitsize,primary,userfullname,basicrole,joininggroups,joininggroups_readonly,mailaddress,comment,readonlyenable,publicwebenable,sendmailenable
```

```
user01,17ftrT35,1,500,,山田 太郎,user,Group01@example.co.jp,,user01@example.co.jp,,1,1,1
```

<CSV作成時の注意事項>

・必須項目は以下の通りです。

新規登録時 : userid、password
 更新時 : userid

・データをダブルコーテーション(“)で囲むことは必須ではありませんが、参加グループを複数指定する場合や、カンマ(,)を文字列として認識させたい場合は必要です。

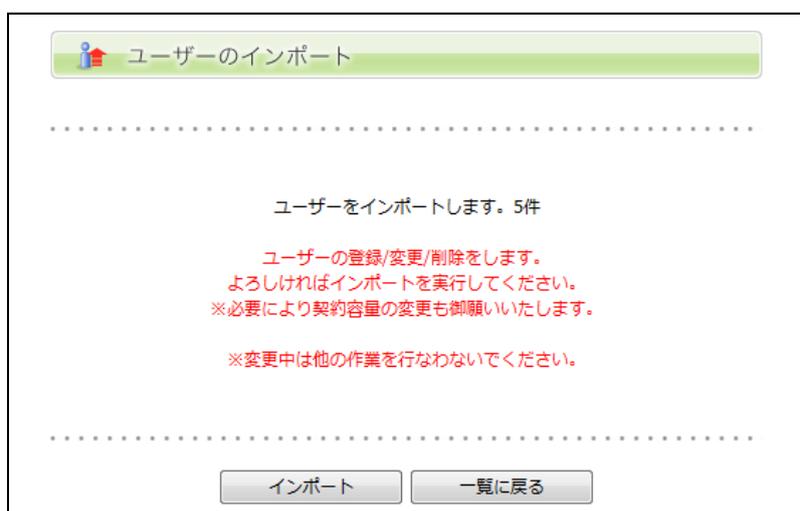
・basicroleの項目を指定しない場合は、『user』(一般ユーザー)になります。

- ・参加グループ(joingroups、joingroups_readonly)の値は『グループ名』+『@』+『ドメイン名』とします。
例)ドメイン名が『example.co.jp』で、『グループA』に所属させたい場合の値
『グループA@example.co.jp』とします。
- ・フォルダオプションの『時限ファイル期限の強制』、『Web公開期限の強制』、『受取フォルダ期限の強制』は、『mkcol』を”1”とした場合のみ、一括登録、一括更新を行うことができます。『mkcol』を”0”とした場合は、設定できません。
- ・必須ではない項目を指定しなかった場合の設定値について
 - 『ユーザーフォルダ(mkol)』(ユーザーフォルダ)は作成されません。
 - 『許可』の『読取専用(readonlyenable)』、『Web公開(publicwebenable)』、『メール送信(sendmailenable)』はすべて、許可されない設定になります。(管理者を除く)※メニューの『デフォルト設定』で設定したものはCSVによる一括登録には反映されません。
- ・アクセス制限設定について
全体設定を行う場合は、『accesslimit_config_type』の値を『0』とし、『accesslist』で設定するIPアドレス/ドメインを指定します。
クライアント種別で設定を行う場合は、『accesslimit_config_type』の値を『1』とし、『device_accesslist_XX』で設定するIPアドレス/ドメインを指定します。
- ・「KDDI Business ID」連携について
CSVファイルのエクスポート時に『kbi_id』の項目が出力されますが、CSVによる一括登録時には『kbi_id』の値が設定されていても反映されません。

<参照>ボタンを押下して、作成したCSVファイルを選択し、<インポート>ボタンを押下します。

※<ユーザー登録/更新メールを送る>にチェックを入れると、登録、更新するユーザーに登録されたメールアドレス(サブメールアドレスを含む)に通知メールが送信されます。(通知メールの文書内容を変更することはできません。)

下図のように確認画面が出ますので、<インポート>ボタンを押下します。



処理が完了すると、下図 のように終了画面が表示されます。



※エラーが出た場合は画面の指示にしたがって、CSVファイルを見直してください。



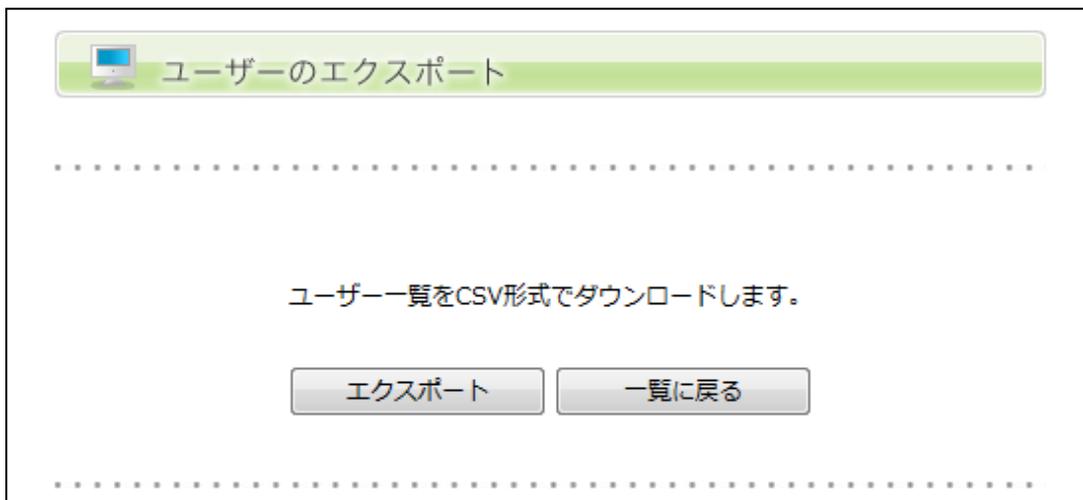
1,000件を超える一括登録については、登録失敗を防ぐため以下のご対応を推奨致します。

- ・数百件程度に分けて登録することをおすすめします。
- ・一括登録中に『戻る』操作を行うと処理が止まる可能性がありますので実施しないでください。

2.9 ユーザーを一括出力する

登録されているユーザー情報をCSVファイルで一括出力することが可能です。

メニューの『エクスポート』をクリックすると、下図が表示されます。



<エクスポート>ボタンをクリックして、CSVファイルをダウンロードします。

CSVファイルにはヘッダ行があり、以下に解説をします。

項目	解説	値の例
loginid	ユーザーID ※ログインする際のIDとなります。(「KDDI Business ID」 連携ユーザーの場合にはログインは「KDDI Business ID」からとなります)	user00@example.co.jp
userid	ユーザーIDの『@』の前	user00
kbi_id	「KDDI Business ID」で設定したID	user00@kbi.com
mkcol	ユーザーフォルダ 1:有り 0:なし	1
limitsize	ユーザーフォルダの容量制限(MB) ※制限をしていない場合は空	1000
usedsize	該当フォルダに存在するデータの合計量(byte)	1134080
versioncontrol	バージョン管理 1:設定 0:設定しない	空
uploadmail	アップロードされたらメールで通知 1:設定	1
downloadmail	ダウンロードされたらメールで通知 1:設定	1
folder_fileexpiredays	フォルダオプション>時限ファイル期限の強制 システム設定を優先:空 設定 : 日数 無期限 : 0	0

項目	解説	値の例
folder_fileexpire_include_folder	フォルダオプション>時限ファイル期限の強制>設定>『フォルダにも適用』 チェックなし:空 チェック有り:1	空
folder_webpubexpiredays	フォルダオプション>Web公開期限の強制 システム設定を優先:空 設定 :日数 無期限 :0	0
folder_deliveryexpiredays	フォルダオプション>受取フォルダ期限の強制 システム設定を優先:空 設定 :日数 無期限 :0	0
defaultmail_upload_destination	アップロード通知メール:送信先 -1:このユーザーに送信 1:設定	-1
defaultmail_upload_destination_mailaddress	アップロード通知メール:送信先:メールアドレス	空
defaultmail_upload_from	アップロード通知メール:FROM -1:システム設定を優先 1:設定	-1
defaultmail_upload_from_mailaddress	アップロード通知メール:FROM:メールアドレス	空
defaultmail_download_destination	ダウンロード通知メール:送信先 -1:このユーザーに送信 1:設定	-1
defaultmail_download_destination_mailaddress	ダウンロード通知メール:送信先:メールアドレス	空
defaultmail_download_from	ダウンロード通知メール:FROM -1:システム設定を優先 1:設定	-1
defaultmail_download_from_mailaddress	ダウンロード通知メール:FROM:メールアドレス	空
primary	ドメイン名	example.co.jp
userfullname	名前	山田 太郎
basicrole	種類(ユーザーの権限) グループ管理者 :groupadmin グループ作成者 :groupcreator 一般ユーザー :user 読取専用ユーザー:readonly	user
rootauth	本サービスでは利用しません。	
joingroups	所属グループ ※複数ある場合はカンマ区切り	グループ01@example.co.jp
joingroups_readonly	読取専用の所属グループ ※複数ある場合はカンマ区切り	グループ02@example.co.jp
mailaddress	メールアドレス	user01@example.co.jp
submailaddress	サブメールアドレス	user02@example.co.jp
comment	注釈	
publicwebenable	許可>Web公開 許可 :1 非許可:0	1

項目	解説	値の例
publicapproval_enable	許可>Web公開の承認 許可 :1 非許可:0	1
sendmailenable	許可>メール送信 許可 :1 非許可:0	1
readonlyenable	許可>読取専用 許可 :1 非許可:0	1
publicapproval_requeste dgroup	Web公開承認担当ユーザー/グループ	user01@example.co.jp
accesslist	アクセス制限設定>全体設定の設定値	203.0.113.0/255.255.255.0;
loginfolder	ログインフォルダ	\${user}
expire	ユーザーの期限 ※設定のない場合は空 ※例)『2013/09/20 00:00:00』の場合は、日付が9/21に 変わったタイミングでユーザーが停止されます。	2013/09/20 00:00:00
disable	『停止中』・・・1 ※通常は空	空
ldap	本サービスでは利用しません。	空
creationdate	ユーザーの作成日	2013/04/23 17:25:58
modificationdate	ユーザー情報の更新日	2013/04/23 19:01:32
accesslimit_config_type	アクセス制限タイプ 0:全体設定 1:クライアント種別	1
device_enable_10	クライアント種別 ブラウザ(PC) 許可フラグ 1:設定 0:設定しない	1
device_enable_11	クライアント種別 ブラウザ(スマホ) 許可フラグ 1:設定 0:設定しない	0
device_enable_20	クライアント種別 Windowsアプリ 許可フラグ 1:設定 0:設定しない	1
device_enable_40	クライアント種別 iOSアプリ 許可フラグ 1:設定 0:設定しない	1
device_enable_50	クライアント種別 Androidアプリ 許可フラグ 1:設定 0:設定しない	0
device_enable_90	クライアント種別 その他WebDAV 許可フラグ 1:設定 0:設定しない	0

項目	解説	値の例
device_auth_20	端末認証 Windowsアプリ 1:設定 0:設定しない	1
device_auth_40	端末認証 iOSアプリ 1:設定 0:設定しない	1
device_auth_50	端末認証 Androidアプリ 1:設定 0:設定しない	1
device_capacity_20	端末認証:台数 Windowsアプリ	1
device_capacity_40	端末認証:台数 iOSアプリ	1
device_capacity_50	端末認証:台数 Androidアプリ	空
device_accesslist_10	クライアント種別 ブラウザ(PC) IPアドレス制限 ※セミコロン区切り	203.0.113.1;
device_accesslist_11	クライアント種別 ブラウザ(スマホ) IPアドレス制限 ※セミコロン区切り	空
device_accesslist_20	クライアント種別 Windowsアプリ IPアドレス制限 ※セミコロン区切り	空
device_accesslist_40	クライアント種別 iOSアプリ IPアドレス制限 ※セミコロン区切り	空
device_accesslist_50	クライアント種別 Androidアプリ IPアドレス制限 ※セミコロン区切り	空
device_accesslist_90	クライアント種別 その他WebDAV IPアドレス制限 ※セミコロン区切り	空
device_save_40	iOSアプリのローカル保存 -1:システム設定を優先 0:禁止 1:許可	1
device_expire_40	iOSアプリのローカルファイルの時限削除:日数 -1:システム設定を優先 0:無期限	3



出力したCSVファイルは、インポート用のCSV形式とは異なります。

3 グループを管理する

グループの作成・設定変更・削除・グループ作成時のデフォルト値の設定など、「KDDI ファイルストレージ」システムで使用するグループに関する設定を行うことができます。

まず、画面上のヘッダ部では[グループ管理]をクリックします。



The screenshot shows the 'KDDI ファイルストレージ' management interface. The 'グループ管理' (Group Management) tab is highlighted with a red dashed box. Below the navigation tabs, there is a search bar for 'グループ名' (Group Name) and a '検索' (Search) button. A table lists the groups with columns for 'グループ名' (Group Name), 'ドメイン' (Domain), '更新可能ユーザー' (Updateable User), '登録日' (Registration Date), '期間' (Period), and '容量制限/使用量' (Capacity Limit/Usage). Three groups are listed: Group01, Group02, and Group03. The 'Group02' row is highlighted. A sidebar on the left contains various system management options like '新規' (New), '更新' (Update), '削除' (Delete), etc.

グループ名 ▲▼ 注釈	ドメイン ▲▼	更新可能ユーザー	登録日 ▲▼	期間	容量制限 使用量
<input type="checkbox"/> Group01	example.co.jp	user04@exam...	2015/11/25 11:30:25	----/--/--	100MB 0MB
<input checked="" type="checkbox"/> Group02	example.co.jp		2015/11/25 11:30:38	----/--/--	100MB 0MB
<input type="checkbox"/> Group03	example.co.jp		2015/11/25 11:30:46	----/--/--	100MB 0MB

3.1 グループを作成する

「KDDI ファイルストレージ」システムにグループを作成します。

ヘッダ部で『グループ管理』が選択されている状態でメニューの『新規』をクリックすると、下図が表示されます。

+ 新規グループ作成

グループ名 (必須)

グループフォルダ 作成する 容量制限 MB

フォルダオプション

バージョン管理する

アップロードされたらメールで通知

ダウンロードされたらメールで通知

期限ファイル期限の強制

システム設定を優先 日間 フォルダにも適用

Web公開期限の強制

システム設定を優先 日間

受取フォルダ期限の強制

システム設定を優先 日間

アプリ制限設定

IOSアプリのローカル保存 システム設定を優先

IOSアプリのローカルファイルの期限削除 システム設定を優先

メール文書設定

グループアップロード通知メール

送信先 参加者全員に送信

FROM システム設定を優先

文書設定 システム設定を優先

設定

グループダウンロード通知メール

送信先 参加者全員に送信

FROM システム設定を優先

文書設定 システム設定を優先

設定

ドメイン example.co.jp

ユーザー/グループ

参加しないユーザー/グループ

参加するユーザー/グループ

参加するユーザー/グループ(読取り専用)

注釈

期限 グループ期限 / /

ヒント 期限

設定した期限が過ぎたら、グループに参加しているユーザー及びグループが参加しない状態に変更され、誰もグループに参加していない状態になります。グループ及びグループフォルダは削除されません。

必要な項目を入力して、〈作成〉 ボタンをクリックすると、グループが作成されます。

各項目の解説です。

項目	解説
グループ名	<p>半角英数字に加え、全角文字、日本語での入力も可能です。 ※一度、設定をすると、後から変更はできません。 ※環境依存文字を使用すると端末によっては正常に表示されない場合があります。</p> <p>■グループ名に使用できる文字と制限について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以下の記号が使用可能です。 全角記号、半角記号『-』(ハイフン)、『_』(アンダーバー)、『.』(ドット)、『 』(スペース) ※グループ名の先頭と末尾に(ドット)と(スペース)は使用できません。 ・最大文字数は、50文字です。 ・"root"という文字列では登録できません。 ・既存のユーザーID、グループ名と同じ文字列は使用できません。
グループフォルダ	<p>[作成する]チェック 所属するユーザーのみが閲覧・操作可能な『グループフォルダ』を作る場合はチェックを入れます。</p> <p>[容量制限] MB グループフォルダの容量を制限したい場合はチェックをして、値を入れます。</p> <p>※ユーザー、グループごとに作成したフォルダの[容量制限]の合計値は、契約上の合計容量を超えても問題はありません。実際にアップロードされたファイル容量の合計が契約上の容量を超えた場合は、アップロードができなくなります。</p>
フォルダオプション	<p>[バージョン管理する]チェック グループフォルダ直下にバックアップフォルダが作成されます。(ただし何もアップロードしてない状況では作成されません。) アップロードされたファイルはフォルダも含めバックアップフォルダにコピーされます。ファイルを上書きアップロードすると、最新版のほかに3世代分自動保管されます。 ファイルを削除した場合、10日後にバックアップフォルダのファイルも削除されます。 なお本機能を利用するとファイルアップロードの容量はファイル容量の2倍加算されます。また上書きアップロードの場合、2世代目、3世代目のファイル容量も加算されます。</p> <p>※本機能のユーザー側の操作イメージやその他注意点などについては『ユーザーズガイド』をご参照ください。</p> <p>[アップロード/ダウンロードされたら、メールで通知]チェック 作成した『グループフォルダ』にファイルがアップロード/ダウンロードされた場合に、通知メールを出すことができます。</p> <p>[時限ファイル期限の強制] グループフォルダにアップロードされたファイルを、設定した期間経過後、自動で削除させることが可能です。 [フォルダにも適用]にチェックを入れると、フォルダも自動削除の対象となります。</p> <p>例)『設定』を選択し、『5日間』と設定した場合 2012/4/1に該当グループフォルダに『test.pdf』をアップロードすると、そのファイルは日付が『2012/4/6』に変わるタイミングでファイルが削除されます。 ※『5日間』と設定した後、『10日間』と変更した場合、設定変更前にアップロードされていたファイルは5日後に削除されますのでご注意ください。 設定をファイルに適用する場合は、同じファイルを再度アップロードしていただくか、新規にアップロードしていただくことで期限が『10日間』に更新されます。</p>

項目	解説														
	<p>※サービスご利用開始時にKDDIより払い出した管理者IDで該当のグループフォルダにファイルをアップロードしたり、フォルダを作成したりした場合は時限の強制はされません。</p> <p>[Web公開期限の強制] グループフォルダ上のファイル/フォルダをWeb公開する際に設定可能な最大の公開日数を設定します。</p> <p>[受取フォルダ公開期限の強制] グループフォルダ上のフォルダを『受取フォルダ』として公開する際に、設定可能な最大の公開日数を設定します。</p> <p>※上記3つの『強制』の項目で、『システム設定を優先』、『無期限』を選択した場合は、強制的な設定はされません。</p> <p>[アプリ制限設定] ・iOSアプリのローカル保存 iPhone/iPadアプリからアクセスした場合に、端末へのファイルの保存を禁止にすることができます。</p> <table border="1" data-bbox="480 902 1342 1256"> <thead> <tr> <th data-bbox="480 902 727 936">選択肢</th> <th data-bbox="727 902 1342 936">解説</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="480 936 727 1066">システム設定を優先</td> <td data-bbox="727 936 1342 1066">『管理画面』>『システム設定』>『アプリ制限設定』でドメイン全体の設定を行っている場合は、ドメイン全体の設定にしたがいます。ドメイン全体の設定を行っていない場合は、『許可』と同様になります。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="480 1066 727 1196">禁止</td> <td data-bbox="727 1066 1342 1196">該当グループフォルダ配下のファイルについて、iOSアプリで、端末のローカルフォルダへの保存を禁止にします。また、ほかのアプリケーションへファイルを渡すこともできなくなります。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="480 1196 727 1256">許可</td> <td data-bbox="727 1196 1342 1256">該当グループフォルダ配下のファイルについて、iOSアプリで、端末のローカルフォルダへの保存を許可にします。</td> </tr> </tbody> </table> <p>・iOSアプリのローカルファイルの時限削除 iPhone/iPadアプリで端末へファイル/フォルダを保存した場合に、指定した日数を過ぎると、自動で端末から削除することができます。</p> <table border="1" data-bbox="480 1391 1342 1989"> <thead> <tr> <th data-bbox="480 1391 727 1424">選択肢</th> <th data-bbox="727 1391 1342 1424">解説</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="480 1424 727 1677">システム設定を優先</td> <td data-bbox="727 1424 1342 1677">『管理画面』>『システム設定』>『アプリ制限設定』でドメイン全体の設定を行っている場合は、ドメイン全体の設定にしたがいます。ドメイン全体の設定を行っていない場合は、『無期限』と同様になります。 ※ドメイン全体の設定で、『設定』が選択され、日数が設定されている場合は、その日数が初期表示として、表示されます。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="480 1677 727 1989">設定</td> <td data-bbox="727 1677 1342 1989">該当グループフォルダ配下のファイル/フォルダについて、iOSアプリのローカルフォルダへの保存した場合に、ここで指定した日数を経過後にアプリを起動すると、自動で該当のファイル/フォルダを削除することができます。 ※フォルダは、該当フォルダが空になった場合に、削除されます。 ※1日間=24時間で計算されます。 例) 設定、3日間と設定した場合</td> </tr> </tbody> </table>	選択肢	解説	システム設定を優先	『管理画面』>『システム設定』>『アプリ制限設定』でドメイン全体の設定を行っている場合は、ドメイン全体の設定にしたがいます。ドメイン全体の設定を行っていない場合は、『許可』と同様になります。	禁止	該当グループフォルダ配下のファイルについて、iOSアプリで、端末のローカルフォルダへの保存を禁止にします。また、ほかのアプリケーションへファイルを渡すこともできなくなります。	許可	該当グループフォルダ配下のファイルについて、iOSアプリで、端末のローカルフォルダへの保存を許可にします。	選択肢	解説	システム設定を優先	『管理画面』>『システム設定』>『アプリ制限設定』でドメイン全体の設定を行っている場合は、ドメイン全体の設定にしたがいます。ドメイン全体の設定を行っていない場合は、『無期限』と同様になります。 ※ドメイン全体の設定で、『設定』が選択され、日数が設定されている場合は、その日数が初期表示として、表示されます。	設定	該当グループフォルダ配下のファイル/フォルダについて、iOSアプリのローカルフォルダへの保存した場合に、ここで指定した日数を経過後にアプリを起動すると、自動で該当のファイル/フォルダを削除することができます。 ※フォルダは、該当フォルダが空になった場合に、削除されます。 ※1日間=24時間で計算されます。 例) 設定、3日間と設定した場合
選択肢	解説														
システム設定を優先	『管理画面』>『システム設定』>『アプリ制限設定』でドメイン全体の設定を行っている場合は、ドメイン全体の設定にしたがいます。ドメイン全体の設定を行っていない場合は、『許可』と同様になります。														
禁止	該当グループフォルダ配下のファイルについて、iOSアプリで、端末のローカルフォルダへの保存を禁止にします。また、ほかのアプリケーションへファイルを渡すこともできなくなります。														
許可	該当グループフォルダ配下のファイルについて、iOSアプリで、端末のローカルフォルダへの保存を許可にします。														
選択肢	解説														
システム設定を優先	『管理画面』>『システム設定』>『アプリ制限設定』でドメイン全体の設定を行っている場合は、ドメイン全体の設定にしたがいます。ドメイン全体の設定を行っていない場合は、『無期限』と同様になります。 ※ドメイン全体の設定で、『設定』が選択され、日数が設定されている場合は、その日数が初期表示として、表示されます。														
設定	該当グループフォルダ配下のファイル/フォルダについて、iOSアプリのローカルフォルダへの保存した場合に、ここで指定した日数を経過後にアプリを起動すると、自動で該当のファイル/フォルダを削除することができます。 ※フォルダは、該当フォルダが空になった場合に、削除されます。 ※1日間=24時間で計算されます。 例) 設定、3日間と設定した場合														

項目	解説
	<p>2015/12/10 14:30に該当グループフォルダ配下のファイルをダウンロードすると、2015/12/13 14:30以降にアプリを起動すると該当のファイル/フォルダが自動で削除されます。</p> <p>※アプリのローカルフォルダにダウンロードした後に、本設定をしても、アプリ側には反映されません。本設定後に、ダウンロードしたファイル/フォルダが対象となります。</p> <p>※時限が設定されたローカルフォルダ内のファイル/フォルダにはアイコンに時計マークが付与されます。</p>  <p>また、該当ファイルの『詳細』画面から削除予定日を確認することもできます。(項目名:時限ファイル)</p> 
無期限	<p>該当グループフォルダ配下のファイル/フォルダについて、iOSアプリのローカルフォルダに保存しても自動で削除しない場合はこちらを選択します。</p> <p>※本機能は、該当のグループフォルダに適用されます。</p> <p>※『iOSアプリのローカル保存』を『禁止』に設定した場合は、『iOSアプリのローカルファイルの時限削除』を設定しても、有効に機能しません。</p> <p>※本機能はiPhone/iPadアプリ『File Storage』の『Ver.2.1.0』以上を利用した場合に有効となります。</p> <p>[メール文書設定] 該当グループフォルダにファイルがアップロード/ダウンロードされた際の通知メールのテンプレートを設定することが可能です。</p> <p>※『送信先』を『参加者全員に送信』に設定した場合はグループに参加しているユーザーのメールアドレス(サブメールアドレスも含む)に送信されます。</p>

項目	解説
	<p>※『送信先』を『設定』とした場合に設定できるメールアドレスの上限は10件です。</p> <p>※『FROM』と『文書設定』を『システム設定を優先』にすると、以下のようなメールが送信されます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>FROM: KDDI ファイルストレージ<support@kfs.kddi.ne.jp> 件名: ファイルがアップロードされました。 本文: 下記の通り、ファイルがアップロードされました。</p> <p>-----</p> <p>日時 : 2012/04/01 18:22:19 ユーザー名 : ユーザー名 : (氏) (名) ファイル : /example.co.jp/グループ A/test.pdf アクセス元 : xx.xx.xx.xx</p> <p>-----</p> <p>※本メールには返信しないでください。</p> </div>
<p>ユーザー/グループ</p>	<p>参加させたいユーザー/グループを『参加しないユーザー/グループ』欄から選択し、右欄の『参加するユーザー/グループ』もしくは『参加するユーザー/グループ(読取専用)』の<参加>>>ボタンをクリックして、参加させます。</p> <p>※『読取専用』で所属させると、該当グループフォルダではファイルのアップロード、削除などはできず、ダウンロードのみが可能となります。</p> <p>※ドメインを所属させると、全ユーザーが所属する形になります。 ※検索結果に表示できるユーザー、グループの上限は100件です。</p>
<p>注釈</p>	<p>グループに関する説明を設定することができます。 内容はグループの検索、一覧表示画面で確認できます。</p>
<p>期限</p>	<p>設定した期限を過ぎると、グループに所属していたユーザー/グループが参加しない状態に変更されます。</p> <p>※グループおよびグループフォルダは削除されません。</p>

<一覧に戻る> ボタンをクリックすると、『グループ管理』画面に戻ります。

 **注意**

- ・グループ名は後から変更することはできません。
 ※変更する場合は、グループを削除して、新規登録し直してください。

- ・『グループ作成者』権限のユーザーは、自分で作成したグループのみ、変更・削除などの操作が可能となります。

- ・グループを参加させたグループは『親グループ』となり、ほかのグループには参加することはできません。逆に、グループに参加したグループは『子グループ』となり、ほかのグループに参加させることはできません。

3.2 グループを検索する

管理画面上部にある『グループ管理』から登録されているグループを検索することが可能です。



検索項目について説明します。

項目	解説
グループ名	<p>検索したいグループ名を入力します。</p> <p>※検索は前方一致で実行されます。 ※『*』を使用することでその文字を含んだ部分一致で検索を実行することができます。</p> <p>例)『Group01』を検索したい場合 『*01』と入力しても検索が可能です。</p>
表示件数	<p>検索結果の表示したい数を『10』『20』『30』『50』『100』から選択します。</p>
入力後すぐに検索	<p>ここにチェックを入れるとキーワード入力と同時に検索が始まります。</p> <p>※標準ではチェックされています。</p>

※未入力状態で『検索』ボタンを押下すると登録されている全グループが表示されます。

※検索結果の『グループ名/注釈』、『ドメイン』、『更新可能ユーザー』はマウスで幅の調整ができます。

※検索結果のフォルダアイコンはグループフォルダの存在を表します。

※検索結果の『使用量』はグループフォルダに容量制限がされている場合にのみ表示されます。

3.3 グループの設定内容を変更する

「KDDI ファイルストレージ」システムのグループの設定内容を変更します。

設定内容を変更するグループを選択してメニューの『更新』をクリックすると、下図 が表示されます。

グループ更新

グループ名 Group01

グループフォルダ 作成する 容量制限 1000 MB
※チェックをはずし更新を行うとグループフォルダが削除されます。

[フォルダオプション](#)

ドメイン example.co.jp

ユーザー/グループ

参加しないユーザー/グループ

参加するユーザー/グループ

参加するユーザー/グループ(読取り専用)

注釈

期限 グループ期限

ヒント 期限

設定した期限が過ぎたら、グループに参加しているユーザー及びグループが参加しない状態に変更され、誰もグループに参加していない状態になります。グループ及びグループフォルダは削除されません。

更新 一覧に戻る

必要な項目を変更して、<更新> ボタンをクリックすると、グループの設定内容が変更されます。
 ※『グループ名』は変更できません。

<一覧に戻る> ボタンをクリックすると、『グループ管理』画面に戻ります。

3.4 グループを削除する

「KDDI ファイルストレージ」システムのグループを削除します。

削除するグループを選択してメニューの『削除』をクリックすると、下図 が表示されます。

 **グループ削除**

グループ名	Group01		
グループフォルダ	作成済み	容量制限	1,000MB
	バージョン管理しない		
	アップロードされてもメールで通知しない		
	ダウンロードされてもメールで通知しない		
	時限ファイル期限の強制		
	システム設定を優先		
	Web公開期限の強制		
	システム設定を優先		
	受取フォルダ期限の強制		
	システム設定を優先		
ドメイン	example.co.jp		
注釈			
期限	グループ期限	----	/
		--	/
		--	

<削除> ボタンをクリックすると、グループが削除されます。

<一覧に戻る> ボタンをクリックすると、『グループ管理』画面に戻ります。



グループを削除すると、該当グループの『グループフォルダ』も削除されます。

3.5 グループの管理者を委譲する

グループの管理者を委譲することができます。

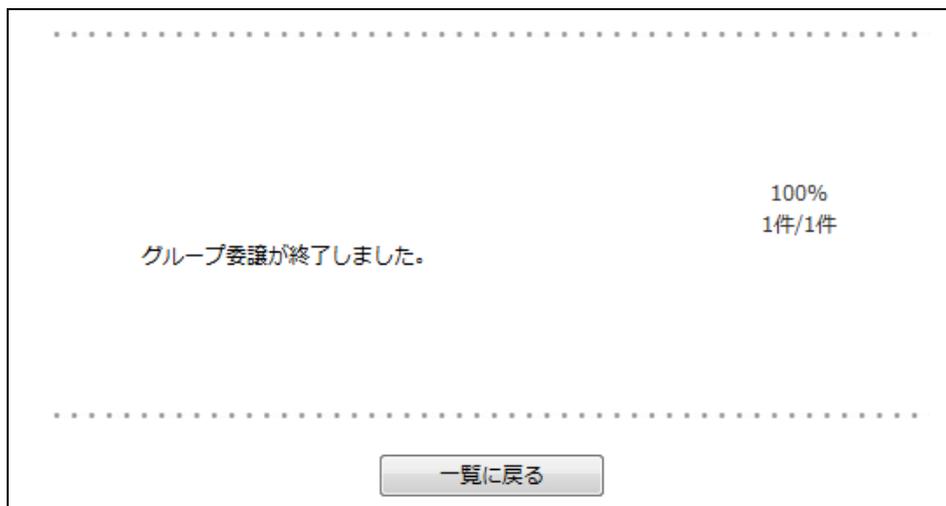
これは『グループ作成者』権限のユーザーの管理するグループを変更したい場合に利用します。

委譲したいグループを選択してメニューの『委譲』をクリックすると、下図が表示されます。

<検索> ボタンを押下すると、グループ管理者、グループ作成者が検索結果に表示されます。

委譲先ユーザーを選択して<選択> ボタンを押下すると、下図のように確認画面が出ますので、<委譲>ボタンを押下します。

処理が終了すると、下図のように終了画面が表示されます。



注意

委譲できるユーザーは1ユーザーのみです。

グループ管理者、グループ作成者以外の権限のユーザーにはグループを委譲できません。

3.6 グループ作成時の初期値を設定する

グループ作成時に使用することができるテンプレートを作成します。

メニューの『デフォルト設定』をクリックすると、下図が表示されます。

新規グループ作成デフォルト設定

グループフォルダ

作成する 容量制限 MB

バージョン管理する

アップロードされたらメールで通知

ダウンロードされたらメールで通知

時限ファイル期限の強制

 日間 フォルダにも適用

Web公開期限の強制

 日間

受取フォルダ期限の強制

 日間

アプリ制限設定

iOSアプリのローカル保存 システム設定を優先

iOSアプリのローカルファイルの時限削除 システム設定を優先

ドメイン

注釈

メール文書設定

グループアップロード通知メール

送信先 参加者全員に送信

FROM システム設定を優先

文書設定 システム設定を優先

グループダウンロード通知メール

送信先 参加者全員に送信

FROM システム設定を優先

文書設定 システム設定を優先

期限 グループ期限 / / まで 日間

必要な項目を入力して、〈設定〉 ボタンをクリックすると、次回以降、グループの新規作成画面を開くと、ここで設定した値が初期値として、入力された状態となります。

※『期限』について、日付と日数の両方を入力した場合は、日付が優先されます。

※本設定は管理者のユーザーごとに設定されます。複数の管者で運用する場合はそれぞれで設定します。

〈一覧に戻る〉 ボタンをクリックすると、『グループ管理』画面に戻ります。

3.7 グループを一括登録する

複数のグループをCSVファイルを作成して、一括で登録することができます。

また、同じ方法で既に登録されているグループの設定を更新することもできます。

メニューの『インポート』をクリックすると、下図が表示されます。

グループのインポート

ファイル

ヒント

- インポートできるファイルはCSVフォーマットです。
- CSVのフォーマットは以下の通りです。


```
"groupid","mkcol","limitsize","primary","joingroups", ...
"group1","1","500","営業部","group1@営業部,group2@営業部", ...
"group2","1","500","営業部","group1@営業部,group2@営業部", ...
"group3","1","500","営業部","group1@営業部,group2@営業部", ...
```
- 1行目はヘッダ行として無視します。
- ヘッダ行の順番は任意で変更可能です。設定が不要なデータの列は削除可能です。(必須項目以外)
- グループが存在しない場合は作成します。存在する場合は更新します。グループを削除する場合は削除フラグを指定します。
- 使用できるヘッダは以下の通りです。

ヘッダ	内容	備考
groupid	グループID	ドメインごとのID(グループフォルダ名と同じ)(必須)
mkcol	グループフォルダ	1:作成する 0:作成しない 空:変更しない
limitsize	容量制限	単位MB 0:解除 空:変更しない
versioncontrol	バージョン管理する	1:設定 0:設定しない 空:変更しない
uploadmail	アップロードされたらメールで通知	1:設定 0:設定しない 空:変更しない
downloadmail	ダウンロードされたらメールで通知	1:設定 0:設定しない 空:変更しない
folder_fileexpiredays	時限ファイル期限の強制	日数 -1:システム設定を優先0:無期限空:変更しない
folder_fileexpire_include_folder	時限ファイル期限の強制:フォルダにも適用	1:設定 0:設定しない 空:変更しない
folder_webpubexpiredays	Web公開期限の強制	日数 -1:システム設定を優先0:無期限空:変更しない
folder_deliveryexpiredays	受取フォルダ期限の強制	日数 -1:システム設定を優先0:無期限空:変更しない
defaultmail_upload_destination	アップロード通知メール:送信先	-1:参加者全員に送信1:設定空:変更しない

defaultmail_upload_destination_mailaddress	アップロード通知メール:送信先:メールアドレス	
defaultmail_upload_from	アップロード通知メール:FROM	-1:システム設定を優先1:設定空:変更しない
defaultmail_upload_from_mailaddress	アップロード通知メール:FROM:メールアドレス	
defaultmail_download_destination	ダウンロード通知メール:送信先	-1:参加者全員に送信1:設定空:変更しない
defaultmail_download_destination_mailaddress	ダウンロード通知メール:送信先:メールアドレス	
defaultmail_download_from	ダウンロード通知メール:FROM	-1:システム設定を優先1:設定空:変更しない
defaultmail_download_from_mailaddress	ダウンロード通知メール:FROM:メールアドレス	
device_save_40	iOSアプリのローカル保存	-1:システム設定を優先 0:禁止 1:許可 空:変更しない
device_expire_40	iOSアプリのローカルファイルの時限削除:日数	日数 -1:システム設定を優先 0:無期限 空:変更しない
primary	ドメイン	※変更不可
joingroups	参加グループ	カンマ区切り
joingroups_readonly	参加グループ(読取専用)	カンマ区切り
joinusers	参加ユーザー	カンマ区切り
joinusers_readonly	参加ユーザー(読取専用)	カンマ区切り
comment	注釈	
expire	グループ期限	YYYY/MM/DD 0:解除
delete	削除フラグ	1:グループを削除する

画面の説明にしたがって、CSVファイルを作成し、〈参照〉ボタンを押下して、CSVファイルを選択、〈インポート〉ボタンを押下します。

〈CSV作成時の注意事項〉

※データをダブルコーテーション(“)で囲むことは必須ではありませんが、『参加グループ』や『参加ユーザー』を複数指定する場合やデータ自体にカンマ(,)を含む場合は必須となります。

※フォルダオプションの『時限ファイル期限の強制』、『Web公開期限の強制』、『受取フォルダ期限の強制』は、『mkcol』を”1”とした場合のみ、一括登録、一括更新を行うことができます。

『mkcol』を”0”とした場合は、設定できませんのでご注意ください。

※メニューの『デフォルト設定』で設定したものはこの一括登録には反映されません。

※『参加ユーザー』、『参加グループ』は以下のような形式で記述します。

・『ID@ドメイン名』 ex) user01@example.co.jp ←メールアドレス形式です。

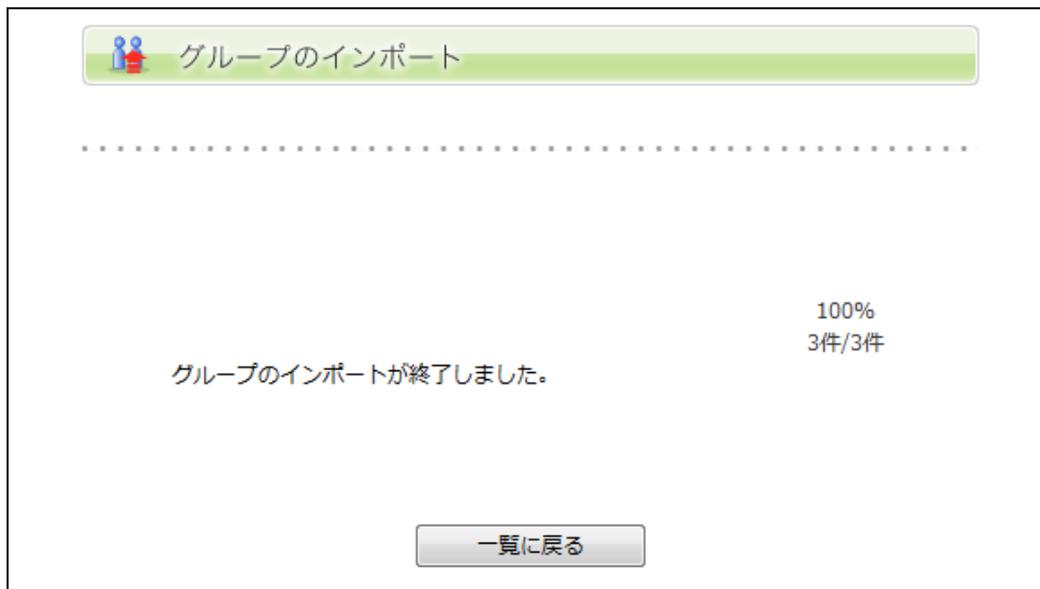
・『グループ名@ドメイン名』 ex) group01@example.co.jp

※『ドメイン』は指定する必要はありません。

下図のように確認画面が出ますので、<インポート>ボタンをクリックします。



処理が終了すると、下図のように終了画面が表示されます。



※エラーが出た場合は画面の指示にしたがって、CSVファイルを見直してください。

3.8 グループを一括出力する

登録されているグループをCSV形式で一括出力することが可能です。

メニューの『エクスポート』をクリックすると下図が表示されます。



<エクスポート>ボタンをクリックして、CSVファイルをダウンロードします。

CSVファイルにはヘッダ行があり、以下に解説をします。

項目	解説	値の例
groupname	グループ名	Group01@example.co.jp
groupid	グループ名(@より前)	Group01
mkcol	グループフォルダ 0:なし 1:有り	1
limitsize	グループフォルダの容量制限(MB) ※制限なしの場合は空	500
usedsize	該当フォルダに存在するデータの合計量(byte)	1134080
versioncontrol	バージョン管理する 空:しない 1:する	空
uploadmail	フォルダオプション>アップロードされたらメールで通知 空:チェックなし 1:チェックあり	1
downloadmail	フォルダオプション>ダウンロードされたらメールで通知 空:チェックなし 1:チェックあり	1

項目	解説	値の例
folder_fileexpiredays	フォルダオプション>時限ファイル期限の強制 システム設定を優先:空 設定 :日数 無期限 :0	7
folder_fileexpire_include_folder	フォルダオプション>時限ファイル期限の強制>設定> 『フォルダにも適用』 チェックなし:空 チェック有り:1	1
folder_webpubexpiredays	フォルダオプション>Web公開期限の強制 システム設定を優先:空 設定 :日数 無期限 :0	7
folder_deliveryexpiredays	フォルダオプション>受取フォルダ期限の強制 システム設定を優先:空 設定 :日数 無期限 :0	7
defaultmail_upload_destination	アップロード通知メール>送信先 設定 :1 参加者全員に送信:空	1
defaultmail_upload_destination_mailaddress	アップロード通知メール>送信先>設定 メールアドレス 設定なし:空	user@example.co.jp
defaultmail_upload_from	アップロード通知メール>FROM 設定 :1 デフォルト:空	1
defaultmail_upload_from_mailaddress	アップロード通知メール>FROM>設定 メールアドレス 設定なし:空	user@example.co.jp
defaultmail_download_destination	ダウンロード通知メール>送信先 設定 :1 参加者全員に送信:空	1
defaultmail_download_destination_mailaddress	ダウンロード通知メール>送信先>設定 メールアドレス 設定なし:空	user@example.co.jp
defaultmail_download_from	ダウンロード通知メール>FROM 設定 :1 デフォルト:空	1
defaultmail_download_from_mailaddress	ダウンロード通知メール>FROM>設定 メールアドレス 設定なし:空	user@example.co.jp
primary	ドメイン名	example.co.jp
joingroups	該当グループに所属しているグループ	Group02@example.co.jp, Group03@example.co.jp
joingroups_readonly	該当グループに読取専用で所属しているグループ	Group04@example.co.jp, Group05@example.co.jp
joinusers	該当グループに所属しているユーザー	user01@example.co.jp,user 02@example.co.jp
joinusers_readonly	該当グループに読取専用で所属しているユーザー	user03@example.co.jp,user 04@example.co.jp
comment	注釈	注釈です。

項目	解説	値の例
expire	グループの期限 ※設定のない場合は空 ※例)『2013/09/07 00:00:00』の場合は、9/8に日付が変わったタイミングで、参加ユーザー、グループが解除されます。	2013/09/07 00:00:00
ldap	本サービスでは利用しません。	
updateableuser	更新可能ユーザー	user03@example.co.jp
nested	『親グループ』か『子グループ』か parent: 親グループ child1: 子グループ ※『child』の後ろにつく数字は参加しているグループの数です。	child2
creationdate	グループの作成日	2013/04/22 10:29:01
modificationdate	グループの更新日	2013/04/29 11:25:29
device_save_40	iOSアプリのローカル保存 空:システム設定を優先 0:禁止 1:許可	1
device_expire_40	iOSアプリのローカルファイルの時限削除 日数 空:システム設定を優先 0:無期限	3

 注意

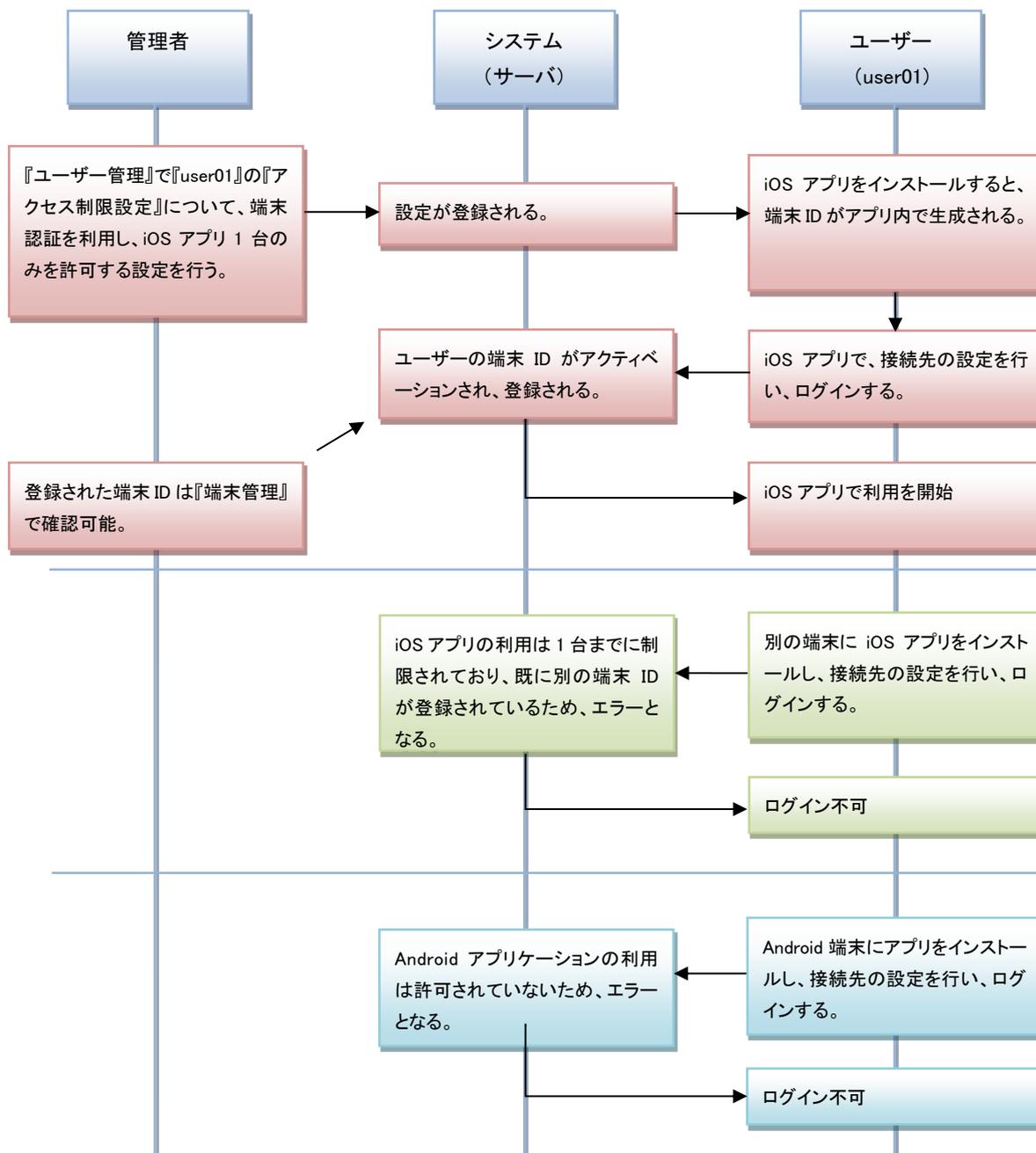
出力したCSVファイルは、インポート用のCSVファイルの形式とは異なります。

4 端末を管理する

『ユーザー管理』でWindows・iOS・Androidアプリケーションの端末認証の設定を行ったユーザーの端末のアクティベーション状況の確認やリモート消去の指示をすることができます。

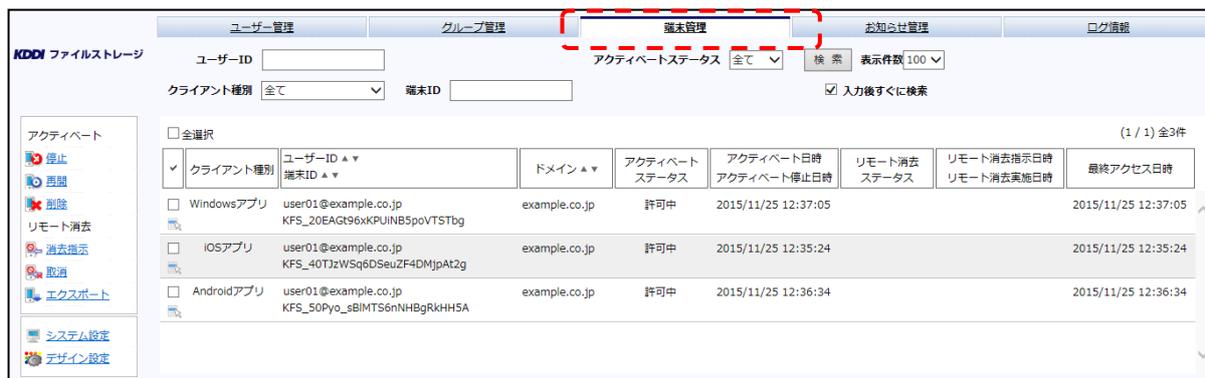
端末認証の利用フローのイメージは以下の通りです。

例)『user01』の利用を特定のiOSアプリの端末1台のみの利用に制限する場合



※管理者でアクティベート(初回ログイン)操作をしてから、端末をユーザーに渡す運用も考えられます。

画面上のヘッダ部で[端末管理]をクリックします。



4.1 アクティベーション状況を確認する

端末認証でWindows・iOS・Android各アプリケーションを利用しているユーザーのアクティベーション状況を各項目で検索することができます。



※端末認証を利用していないユーザーがアクセスしても、ここには表示されません。

※アクティベーション(初回ログイン)を完了していない端末の情報はここには表示されません。

検索で使用する項目について

項目	解説
ユーザーID	検索したいユーザーIDを入力します。 ※検索は前方一致で実行されます。 ※『*』を使用することでその文字を含んだ部分一致で検索を実行することができます。 例) test01@example.co.jpを検索したい場合 『*01』と入力しても検索が可能です。
アクティベートステータス	端末のアクティベーションの状況を『全て』、『許可中』、『停止中』から選択して絞りこんで検索することができます。
表示件数	検索結果の表示したい数を『10』、『20』、『30』、『50』、『100』から選択します。
クライアント種別	クライアントの種類を『全て』、『Windowsアプリ』、『iOSアプリ』、『Androidアプリ』から選択して絞り込んで検索することができます。

項目	解説
端末ID	検索したい端末IDを入力します。 ※検索は前方一致で実行されます。 ※『*』を使用することでその文字を含んだ部分一致で検索を実行することができます。
入力後すぐに検索	ここにチェックを入れるとキーワード入力と同時に検索が始まります。

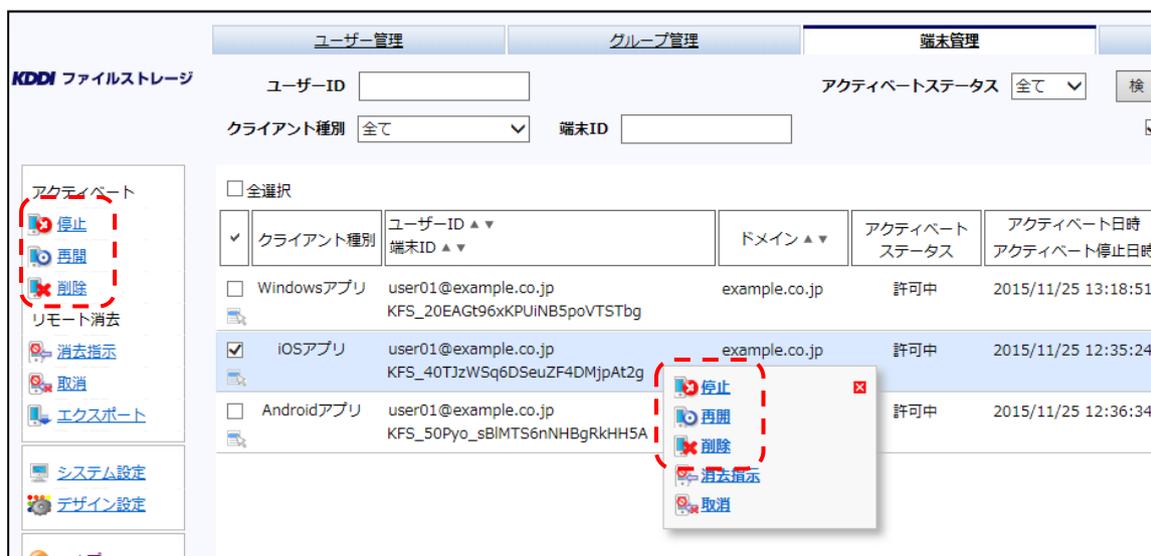
検索結果に表示される項目について

項目	解説
クライアント種別	『Windowsアプリ』、『iOSアプリ』、『Androidアプリ』の3種類が表示されます。
ユーザーID	該当の端末IDでアクティベーションしたユーザーIDが表示されます。
端末ID	アクティベーションされた端末の端末IDが表示されます。
ドメイン	ユーザーIDの『@』の後ろです。
アクティベートステータス	通常は『許可中』ですが、管理者がこの画面で該当端末の停止処理をした場合は、『停止中』となります。
アクティベート日時	ユーザーが該当端末で初めてログインし、端末IDがサーバに登録された日時です。 ※管理者が該当端末を一旦、『停止』にし、『再開』させた場合は、再開した日時が表示されます。
アクティベート停止日時	管理者がこの画面で該当端末の停止処理をした日時です。 ※管理者が該当端末を『再開』させると、表示は消えます。
リモート消去ステータス	管理者が該当端末のリモート消去の指示をすると『指示中』となり、端末側で消去が実行されると、『消去済』の表示に変わります。
リモート消去指示日時	管理者がリモート消去の指示をした日時が表示されます。
リモート消去実施日時	該当端末のリモート消去が実施された日時が表示されます。
最終アクセス日時	該当端末から最後にアクセス(ログイン)があった日時です。

4.2 アクティベーションを停止・再開・削除する。

アクティベーションされた端末について、利用を停止したり、停止された端末を再開したり、削除することができます。

操作したい端末を一覧で選択し、左のメニューまたは右クリックで、『停止』『再開』『削除』をクリックすると確認画面が出ますので、確認して実行します。複数端末を選択して実行することもできます。



・『停止』について

該当端末からのアクセスを一時的に停止したい場合に利用します。

※アクセス中の端末に実行した場合は、次回のアクセス時以降に有効になります。(30分以上無操作の状態が続いた後の再操作時に有効になります)

・『再開』について

停止状態にした端末の利用を再開させたい時に利用します。

・『削除』について

アクティベーションされた端末情報(端末ID)を削除したい場合に利用します。

例) Androidアプリケーションを1台のみ許可し、端末認証をして使っていたが、新しい機種に変更されることになった場合

→新しい機種の端末IDは異なるためそのままでは利用ができない。

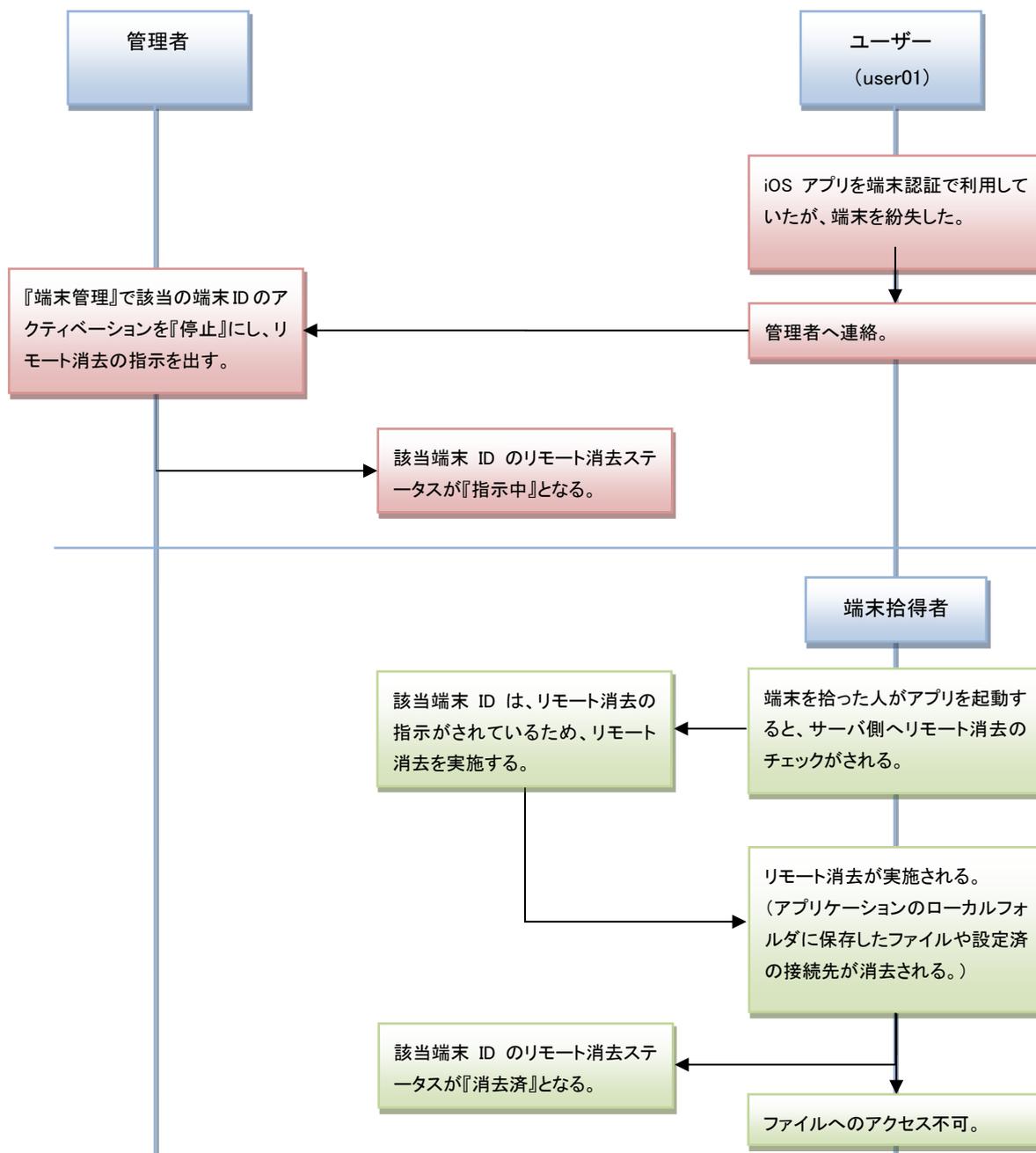
→既存のアクティベーション済の端末情報を削除し、改めて、新しい端末でログインし、アクティベーションすることで、利用を開始できる。

4.3 リモート消去を実行する

iOS/Androidアプリケーションについては、端末を紛失した場合などを想定し、管理者がリモートから、該当端末のアプリケーションのローカルフォルダに保存したファイルや接続先情報を消去することができます。

リモート消去機能の利用フローのイメージは以下の通りです。

例)『user01』が端末認証でiOSアプリを利用していたが、端末を紛失した場合



リモート消去したい端末を一覧で選択し、左のメニュー、または右クリックで、『消去指示』をクリックすると、確認画面が出ますので、確認し実行します。複数端末を選択して実行することもできます。



リモート消去の指示が出ると、『リモート消去ステータス』が『指示中』に変わります。

クライアント種別	ユーザーID 端末ID	ドメイン	アクティベート ステータス	アクティベート日時 アクティベート停止日時	リモート消去 ステータス	リモート消去指示日時 リモート消去実施日時
Windowsアプリ	user01@example.co.jp KFS_20EAGt96xKPUINB5poVTSTbg	example.co.jp	許可中	2015/11/25 13:18:51		
iOSアプリ	user01@example.co.jp KFS_40TJzWSq6DSeuZF4DMjpAt2g	example.co.jp	許可中	2015/11/25 14:56:06	指示中	2015/11/25 15:03:55
Androidアプリ	user01@example.co.jp KFS_50Pyo_sBIMTS6nNHBgRkHH5A	example.co.jp	許可中	2015/11/25 12:36:34		

消去指示後、該当端末でアプリを起動すると、リモート消去が実行されます。

消去が実行されると、『リモート消去ステータス』は『消去済』に変わります。

クライアント種別	ユーザーID 端末ID	ドメイン	アクティベート ステータス	アクティベート日時 アクティベート停止日時	リモート消去 ステータス	リモート消去指示日時 リモート消去実施日時
Windowsアプリ	user01@example.co.jp KFS_20EAGt96xKPUINB5poVTSTbg	example.co.jp	許可中	2015/11/25 13:18:51		
iOSアプリ	user01@example.co.jp KFS_40TJzWSq6DSeuZF4DMjpAt2g	example.co.jp	許可中	2015/11/25 15:37:13	消去済	2015/11/25 15:37:30 2015/11/25 15:37:39
Androidアプリ	user01@example.co.jp KFS_50Pyo_sBIMTS6nNHBgRkHH5A	example.co.jp	許可中	2015/11/25 15:37:18		

※該当端末のアプリケーションのローカルフォルダに保存したファイルや接続先の情報をすべて消去します。

※アプリケーションの接続先にアカウント情報を保存していない場合は、アプリケーション起動後にアカウント情報を入力して、ログインした時に実行されます。

※圏外などでインターネットに接続できないオフラインの状態ではアプリケーションを起動した場合は、消去は実行されませんが、その後オンラインになった状態で、アプリケーションを起動した時に実行されます。

※アプリケーションが起動する際に、サーバ側にリモート消去指示の有無を確認する仕組みになっていますが、この確認は、1時間ごとに行われるため、リモート消去の指示をしてから、消去が実行されるまで、最大で1時間かかることがあります。

※端末のアプリケーションに複数の接続先を設定している場合も、すべての接続先、ローカルフォルダのファイルが削除されます。

※ユーザーの状態が『停止中』の場合でも実行されます。

※該当端末のアクティベートステータスが『停止中』の場合でも実行されます。

※リモート消去が実行され、リモート消去ステータスが『消去済』となった端末でもアクティベートステータスが『許可中』であれば、同じ端末で、正しいアカウントを登録すれば、再度利用できます。

※Windowsアプリはリモート消去できません。

※端末認証を利用していないユーザーの端末はリモート消去できません。

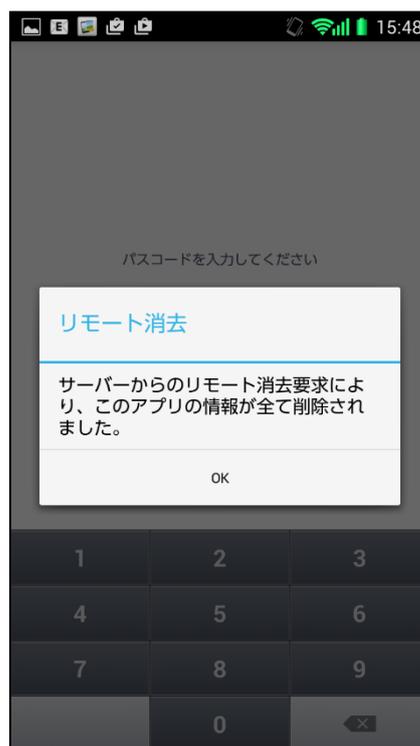
リモート消去の指示後、指示を取り消したい場合は、該当の端末を一覧で選択し、左のメニュー、または、右クリックで、『取消』をクリックし、処理を行います。

端末側でアプリケーションを起動し、リモート消去が実行されると、端末側では、以下の表示がされます。

<iOS アプリの場合>



<Android アプリケーションの場合>



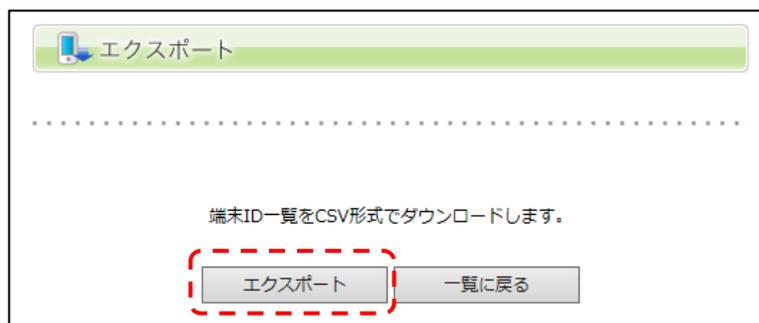
4.4 端末情報を一括出力する

アクティベート中の端末の一覧をCSV形式で一括出力することができます。

[端末管理]>『エクスポート』をクリックします。



下图が表示されますので、<エクスポート>をクリックして出力します。



出力されたCSVファイルの内容は以下の通りです。※1行目はヘッダです。

ヘッダ	解説	例
device_id	端末ID	KFS_40EAGt96xKPUiNB5poVTSTbg
device_type	クライアント種別 20: Windowsアプリ 40: iOSアプリ 50: Androidアプリ	40
device_user	ユーザーID	user01@example.co.jp
primary	ドメイン	example.co.jp
device_activation_status	アクティベートステータス 0: 停止中 1: 許可中	1
device_activation_time	アクティベート日時	2015/11/25 13:18:51
device_activation_disable_time	アクティベート停止日時	2015/11/25 12:35:24
device_remote_wipe_status	リモート消去ステータス 1: 指示中 2: 消去済	1
device_remote_wipe_reservation_time	リモート消去指示日時	2015/11/25 12:35:24
device_remote_wipe_execution_time	リモート消去実施日時	2015/11/25 14:45:28
device_last_access_time	最終アクセス日時	2015/11/25 15:49:17

4.5 その他補足について

4.5.1 端末認証に対応しているアプリケーションについて

端末認証に対応しているアプリケーションは以下の通りです。

・Windowsアプリケーションについて

『KDDI ファイルストレージ クライアント』および、『同期ツール』のVer.1.10.0.0以上

※バージョンは、『パソコン/コンピュータ』>『KDDI File Storage Client』>接続先の一覧の空白部分で右クリック>

『バージョン情報』で確認できます。

詳細は別紙、『ユーザーズガイド(パソコン編)』をご確認ください。

・iOSアプリケーションについて

iPhone/iPad向けのアプリ『File Storage』のVer.2.1.0以上

※バージョンは、アプリケーションの『設定』内で確認できます。

詳細は別紙、『ユーザーズガイド(スマートデバイス編)』をご確認ください。

・Androidアプリケーションについて

『File Storage』のVer.2.1.0以上

※バージョンは、アプリケーションの『設定』内で確認できます。

詳細は別紙、『ユーザーズガイド(スマートデバイス編)』をご確認ください。

4.5.2 アプリケーションの端末IDの確認方法について

Windows・iOS・Androidの各アプリケーションでは、アプリケーションで自身の端末IDを表示することができます。

・Windowsアプリの場合

『パソコン/コンピュータ』>『KDDI File Storage Client』で作成した接続先を右クリック>『プロパティ』>『セキュリティ』タブ内の最下部に表示。

※詳細は別紙、『ユーザーズガイド(パソコン編)』をご確認ください。

・iOSアプリについて

アプリケーションの『設定』内で確認できます。

※詳細は別紙、『ユーザーズガイド(スマートデバイス編)』をご確認ください。

・Androidアプリについて

アプリケーションの『設定』内で確認できます。

※詳細は別紙、『ユーザーズガイド(スマートデバイス編)』をご確認ください。

※アプリケーションを一旦、アンインストールし、インストールし直しますと、iOS/Androidアプリでは、端末IDが変わりますので、ご注意ください。Windowsアプリの場合は変わりません。

4.5.3 アクティベーション情報の自動削除について

管理者が『ユーザー管理』で以下の操作を行うと、アクティベーション情報は自動で削除されます。

・ユーザー情報を削除した場合

・端末認証をオフにした場合

例1.『アクセス制限設定』で『クライアント種別設定』から『全体設定』に変更した場合

例2.『アクセス制限設定』>『クライアント種別設定』で該当端末の『クライアント種別』のチェックを外した場合

例3.『アクセス制限設定』>『クライアント種別設定』で該当端末の『端末認証』のチェックを外した場合

5 お知らせを管理する

「KDDI ファイルストレージ」システムのウェブサイト上で掲示するお知らせの作成・変更・削除などを行うことができます。

まず、画面上のヘッダ部の[お知らせ管理]をクリックします。



5.1 お知らせを作成する

「KDDI ファイルストレージ」システムにお知らせを作成します。

お知らせ管理』が選択されている状態でメニューの『新規』をクリックすると、下図が表示されます。

The screenshot shows a web form titled "お知らせ新規作成". It contains the following elements:

- ドメイン:** A text input field containing "example.co.jp".
- 送信日:** A checkbox labeled "送信日を設定する" followed by a date selection interface (month, day, year).
- 重要度:** A dropdown menu currently set to "通常".
- 件名:** A large text input area for the subject line.
- 条件:** Two checkboxes: "ユーザー期限" (with a "日前" field) and "ユーザーのPASSWORD有効期限" (with a "日前" field).
- 表示:** A checkbox "ログイン後にお知らせを強制的に表示する".
- オプション:** A checkbox "URL及びメールアドレスをリンクに変換する".
- Buttons:** "作成" (Create) and "一覧に戻る" (Return to list).

必要な項目を入力して、〈設定〉 ボタンをクリックすると、お知らせが作成されます。

各項目の解説です。

項目	解説
送信日	指定した日付に掲示がされます。 ※前日以前の日付は指定できません。
重要度	『通常』か『重要』を選択します。 お知らせ表示時のアイコンが変わります。  通常のお知らせです  重要なお知らせです
件名/本文	件名にお知らせのタイトルを入力します。 その下に本文を入力します。

項目	解説
条件	<p>[ユーザー期間]〇日間前 ユーザーに『期限』を設定した場合は、その終了日の何日前にお知らせを掲示するかを設定することが可能です。</p> <p>[ユーザーのPASSWORD有効期限]〇日前 システム設定のパスワードポリシーにて期限設定をした場合は、その終了日の何日前にお知らせを掲示するかを設定することが可能です。</p> <p>※両方にチェックを入れることはできません。</p>
表示	<p>[ログイン後にお知らせを強制的に表示する]チェック 設定をしたお知らせはログイン後に強制的に、表示をさせることが可能になります。</p>
オプション	<p>[URL及び、メールアドレスをリンクに変換する]チェック お知らせ本文にURLかメールアドレスを記載すると、自動でリンク化されます。</p>

お知らせを作成すると、ログイン後、下図のように、画面上部に[お知らせ]欄が表示されます。

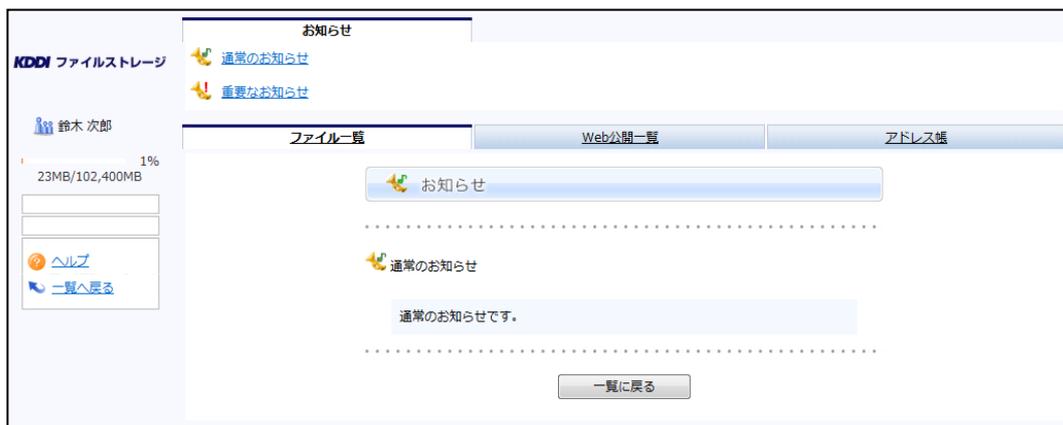


※更新日順に上から表示されます。(最も新しいものが一番上)

お知らせのタイトルをクリックすると、下図のように内容が表示されます。



お知らせ作成時に『表示』>[ログイン後にお知らせを強制的に表示する]にチェックの設定をしたお知らせは、ログイン直後に、下図のように強制的にお知らせが表示されます。



5.2 お知らせの設定内容を変更する

「KDDI ファイルストレージ」システムのお知らせの設定内容を変更します。

設定内容を変更するお知らせを選択してメニューの『更新』をクリックすると、下図が表示されます。

 お知らせ更新

ドメイン example.co.jp

送信日 送信日を設定する / / 

重要度 通常 ▼

件名:

KDDIファイルストレージに関するお知らせです。
<http://www.kddi.com/>

条件 ユーザー期限 日前

ユーザーのPASSWORD有効期限 日前

表示 ログイン後のお知らせを強制的に表示する

オプション URL及びメールアドレスをリンクに変換する

更新
一覧に戻る

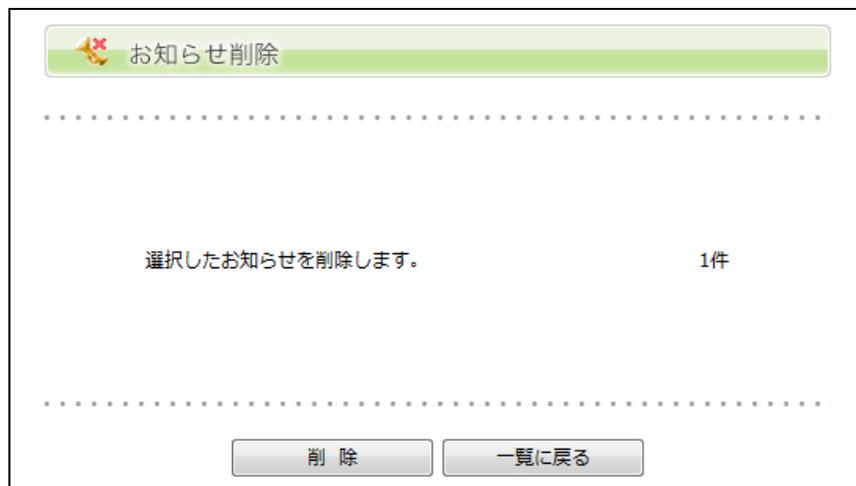
必要な項目を変更して、〈設定〉 ボタンをクリックすると、お知らせの設定内容が変更されます。

〈一覧に戻る〉 ボタンをクリックすると、『お知らせ管理』画面に戻ります。

5.3 お知らせを削除する

「KDDI ファイルストレージ」システムのお知らせを削除します。

削除するお知らせを選択してメニューの『削除』をクリックすると、下図が表示されます。



〈削除〉 ボタンをクリックすると、お知らせが削除されます。

〈一覧に戻る〉 ボタンをクリックすると、『お知らせ管理』画面に戻ります。

6 ログ情報を管理する

「KDDI ファイルストレージ」システムの利用に関する統計情報や各種ログを確認することが可能です。

まず、画面上のヘッダ部の『ログ情報』をクリックします。

The screenshot shows the KDDI File Storage management interface. At the top, there is a navigation bar with several tabs: 'ユーザー管理', 'グループ管理', '権限管理', 'お知らせ管理', and 'ログ情報'. The 'ログ情報' tab is highlighted with a red dashed box. Below the navigation bar, there is a main content area with a search bar and a table of login status. The table has columns for ID, Name, Domain, Type, Login Time, and Idle Time. Two rows of data are visible.

ID ▲▼	名前 ▲▼	ドメイン ▲▼	種類	ログイン時間	アイドル時間
admin		example.co.jp	グループ管理者	2015/11/25 17:15:01	1分
user01	山田 太郎	example.co.jp	一般ユーザー	2015/11/25 16:58:22	18分

6.1 ログイン状況

現在の「KDDI ファイルストレージ」システムへのユーザーのログイン状況を確認します。

メニューの『ログイン状況』をクリックすると、下図が表示されます。

The screenshot shows the KDDI File Storage management interface. At the top, there is a navigation bar with several tabs: 'ユーザー管理', 'グループ管理', '権限管理', 'お知らせ管理', and 'ログ情報'. The 'ログ情報' tab is highlighted with a red dashed box. Below the navigation bar, there is a main content area with a search bar and a table of login status. The table has columns for ID, Name, Domain, Type, Login Time, and Idle Time. One row of data is visible.

ID ▲▼	名前 ▲▼	ドメイン ▲▼	種類	ログイン時間	アイドル時間
admin	管理者	example.co.jp	グループ管理者	2012/09/07 10:39:05	11分

※『アイドル時間』は該当ユーザーがログイン後、無操作状態になってからの経過時間になります。
30分以上経過すると、次回の操作時には自動でログアウトします。

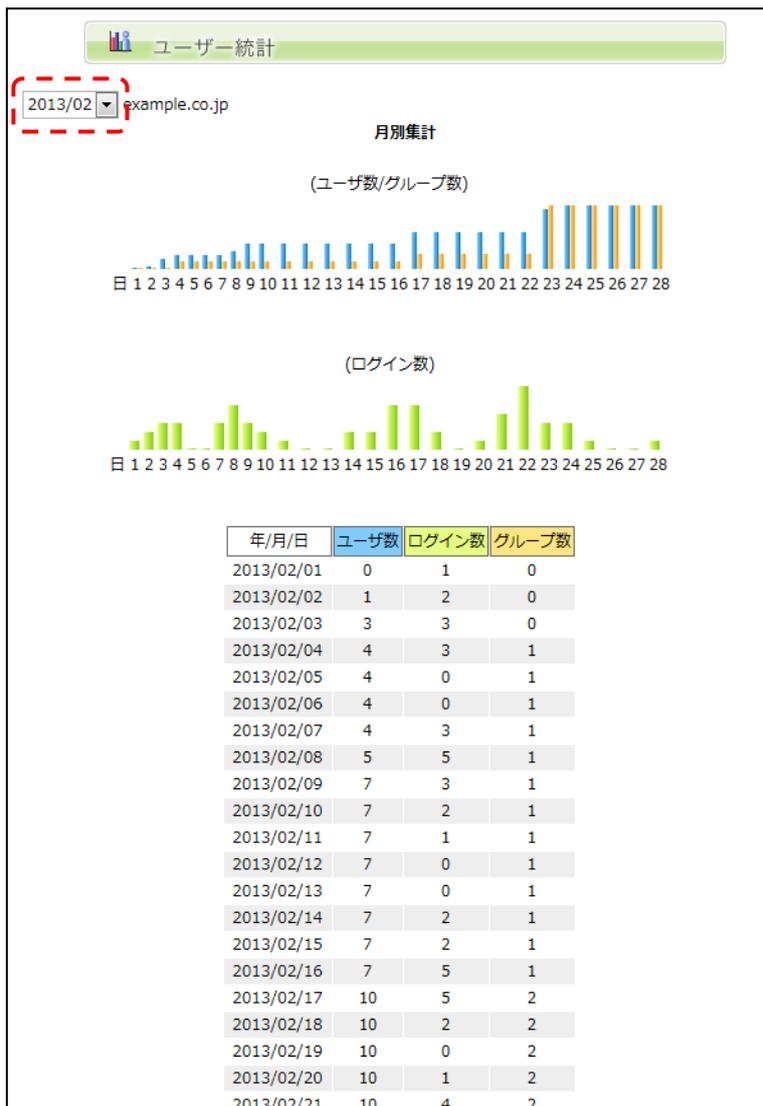
6.2 ユーザー統計

「KDDI ファイルストレージ」システムへ登録されているユーザーやグループの数やログイン数の統計情報が確認できます。

メニューの『ユーザー統計』をクリックします。

6.2.1 月別集計

画面左上のプルダウンで、出力したい月を選択すると、該当月の推移をグラフと表で確認することができます。



※『ユーザー数』、『グループ数』は当日0時時点の数値です。

※『ログイン数』は翌日の午前0～4時頃に前日分が集計され、表示されます。
また、値は同じユーザーが1日に何度ログインしても1とカウントします。

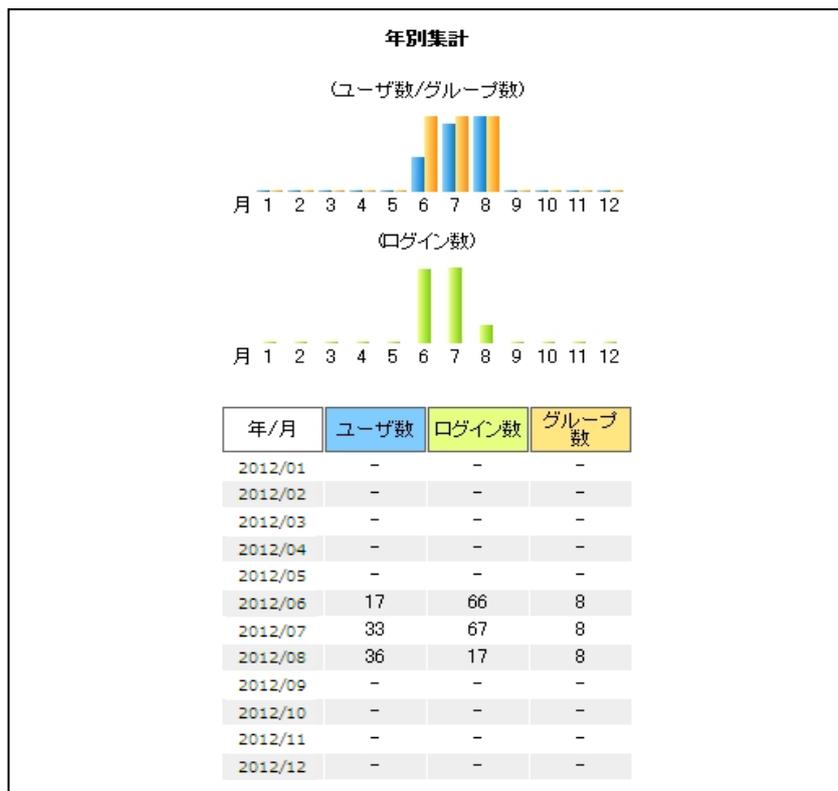
6.2.2 ログインランキング

『ログインランキング』は該当月にログインした日数が多いユーザーIDのランキング上位20となります。

	ログイン数	ID
1	2	user01@example.co.jp
2	1	admin@example.co.jp
3	8	user03@example.co.jp
4	7	user02@example.co.jp
5	7	user05@example.co.jp
6	5	user06@example.co.jp
7	3	user00@example.co.jp
8	1	user04@example.co.jp

6.2.3 年別集計

ユーザー数、グループ数、ログイン数を月ごとにまとめて、グラフ・表で表示しています。



※毎朝午前0～1時に当月分を集計をしています。(月初の1日は前月分を集計)

6.3 アクセス統計

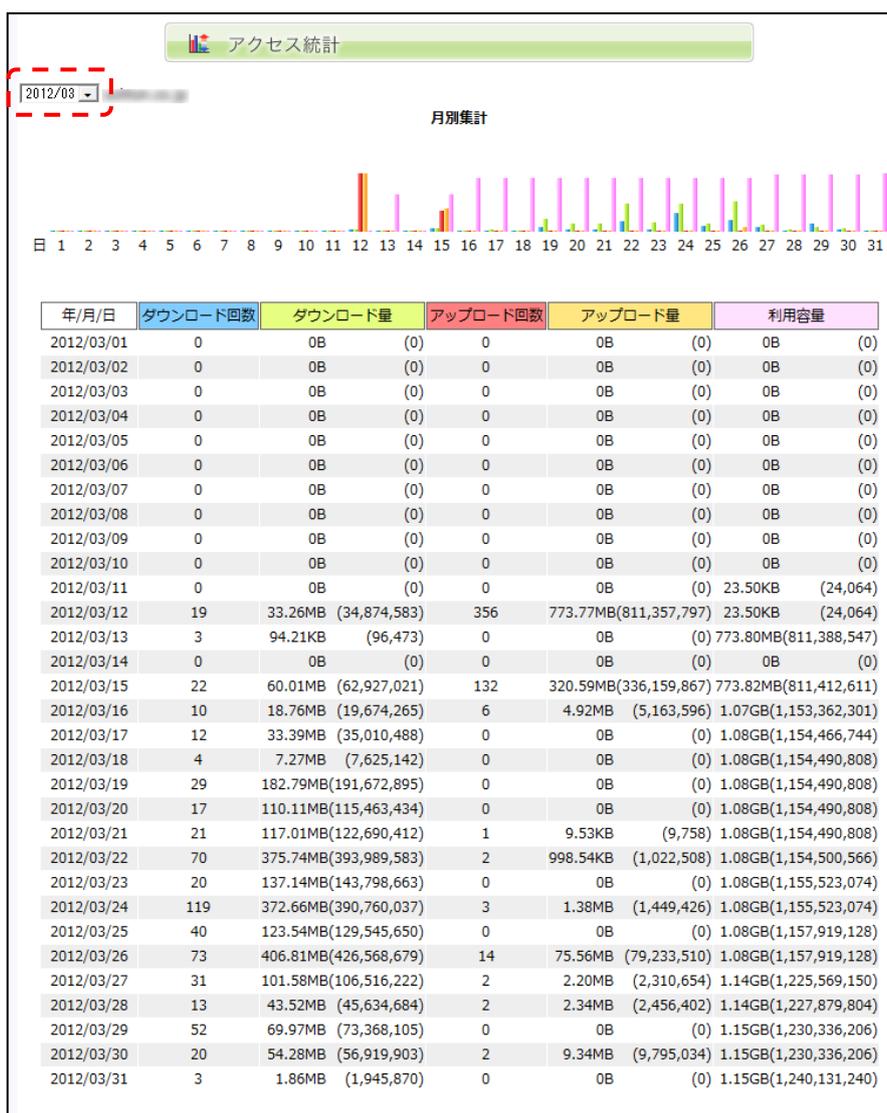
ファイルのアップロードやダウンロードの回数やデータ量、トータルで保管しているデータの容量を、日ごとに集計してグラフや表、ランキング形式で確認することができます。

メニューの『アクセス統計』をクリックして、確認をします。

6.3.1 月別集計

画面左上のプルダウンで、出力したい月を選択すると、該当月の推移をグラフと表で確認することができます。

日ごとのデータのダウンロード/アップロードの回数とデータ量、その日時点での全体で保管しているデータの容量(利用容量)の推移を確認することができます。



※この数値には、Web公開/受取フォルダURL経由のダウンロード/アップロードも含まれます。

※ダウンロード、アップロードの回数、量は午前0～4時に前日分が集計されます。

※『利用容量』は当日の午前0時時点の値です。(例:3/20 の値は、3/20の午前0時時点の値です。)

6.3.2 アクセスランキング

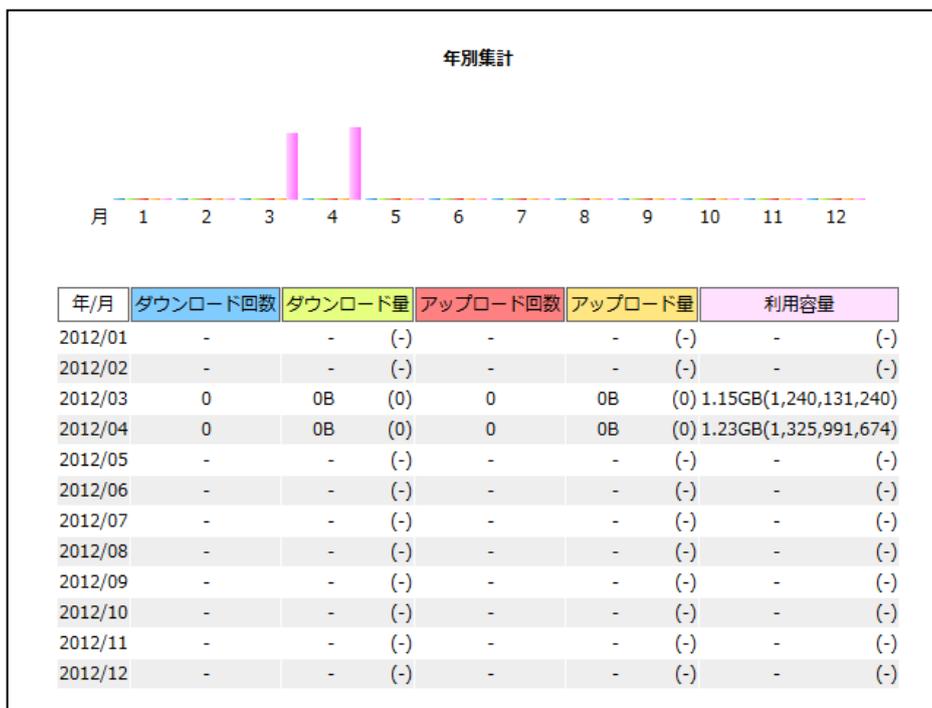
該当月内のダウンロードの回数とデータ量のベスト20をランキングで表示します。

アクセスランキング(ダウンロード回数)			
ダウンロード回数	ファイル名	ダウンロード量	
1	9	1.87MB (1,957,023)	
2	9	3.90MB (3,994,363)	
3	7	94.50KB (96,768)	
4	7	182B (182)	
5	7	84B (84)	
6	7	84B (84)	
7	6	652.68KB (668,340)	
8	4	644.00KB (659,456)	
9	4	994B (994)	
10	4	47.97KB (49,120)	
11	4	102.77MB (107,765,852)	
12	3	28.59KB (29,274)	
13	3	4.80MB (5,028,351)	
14	3	32.27KB (33,045)	
15	3	31.06KB (31,809)	
16	3	156B (156)	
17	3	42.06KB (43,068)	
18	3	16.28MB (17,071,248)	
19	2	5.44MB (5,706,420)	
20	2	1.30MB (1,358,588)	

アクセスランキング(ダウンロード量)			
ダウンロード量	ファイル名	ダウンロード回数	
1	102.77MB (107,765,852)		4
2	60.39MB (63,321,555)		1
3	16.28MB (17,071,248)		3
4	8.55MB (8,965,409)		1
5	8.38MB (8,791,157)		1
6	5.44MB (5,706,420)		2
7	5.16MB (5,410,731)		1
8	5.12MB (5,366,272)		1
9	5.08MB (5,330,830)		1
10	4.80MB (5,028,351)		3
11	4.79MB (5,024,563)		1
12	4.37MB (4,582,552)		1
13	3.80MB (3,984,363)		9
14	3.39MB (3,550,650)		1
15	3.06MB (3,213,841)		1
16	2.82MB (2,954,752)		1
17	2.68MB (2,815,133)		1
18	2.03MB (2,128,032)		1
19	1.98MB (2,072,576)		1
20	1.87MB (1,957,023)		9

6.3.3 年別集計

ダウンロード/アップロード回数、データ量を月ごとに集計した形で確認をすることが可能です。



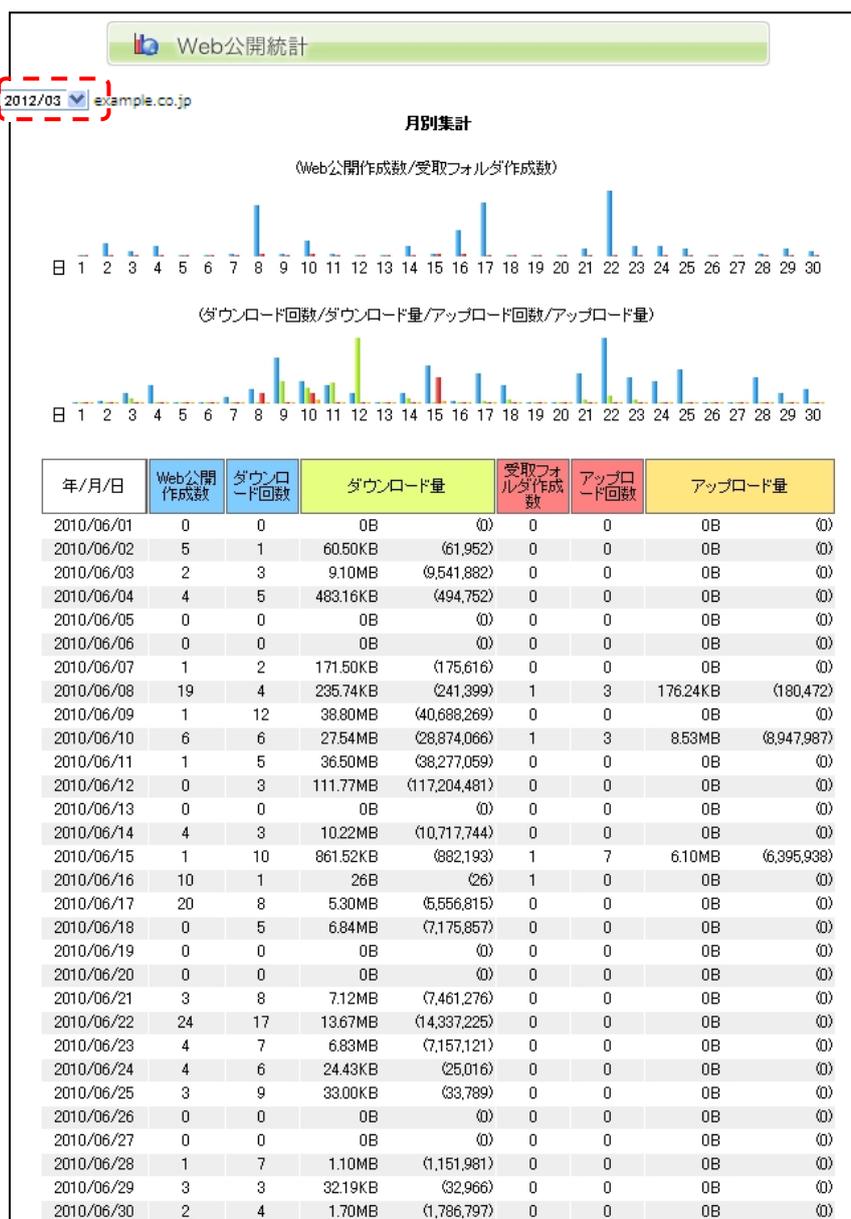
6.4 Web公開統計

「KDDI ファイルストレージ」システムでWeb公開、受取フォルダが作成された数やそのダウンロード、アップロードの数、データ量などについて、日ごと、月ごとに表やグラフ、ランキング形式で確認をすることができます。メニューの『Web公開統計』をクリックします。

6.4.1 月別集計

画面左上のプルダウンで、出力したい月を選択すると、該当月の推移をグラフと表で確認することができます。

『Web公開作成数/受取フォルダ作成数』のグラフと『ダウンロード回数/ダウンロード量/アップロード回数/アップロード量』のグラフと、両者を合わせた表を確認できます。



※午前0～4時に前日分が集計され、表示されます。

6.4.2 Web公開/受取フォルダランキング

該当月内のWeb公開/受取フォルダでのダウンロード/アップロードの回数とデータ量のTOP20をランキング形式で確認することができます。

Web公開ダウンロードランキング(ダウンロード回数)				
ダウンロード回数	Web公開ファイル名	ダウンロード量		
1	8	1.66MB (1,739,576)		
2	8	3.38MB (3,541,656)		
3	7	182B (182)		
4	7	84B (84)		
5	5	543.90KB (556,950)		
6	4	644.00KB (659,456)		
7	4	984B (984)		
8	4	47.97KB (49,120)		
9	4	102.77MB (107,765,852)		
10	3	4.80MB (5,028,351)		
11	3	32.27KB (33,045)		
12	3	31.06KB (31,809)		
13	3	156B (156)		
14	3	42.06KB (43,068)		
15	3	16.28MB (17,071,248)		
16	3	25.65MB (26,896,227)		
17	2	5.44MB (5,706,420)		
18	2	1.30MB (1,358,588)		
19	2	160B (160)		
20	2	58.00KB (59,392)		

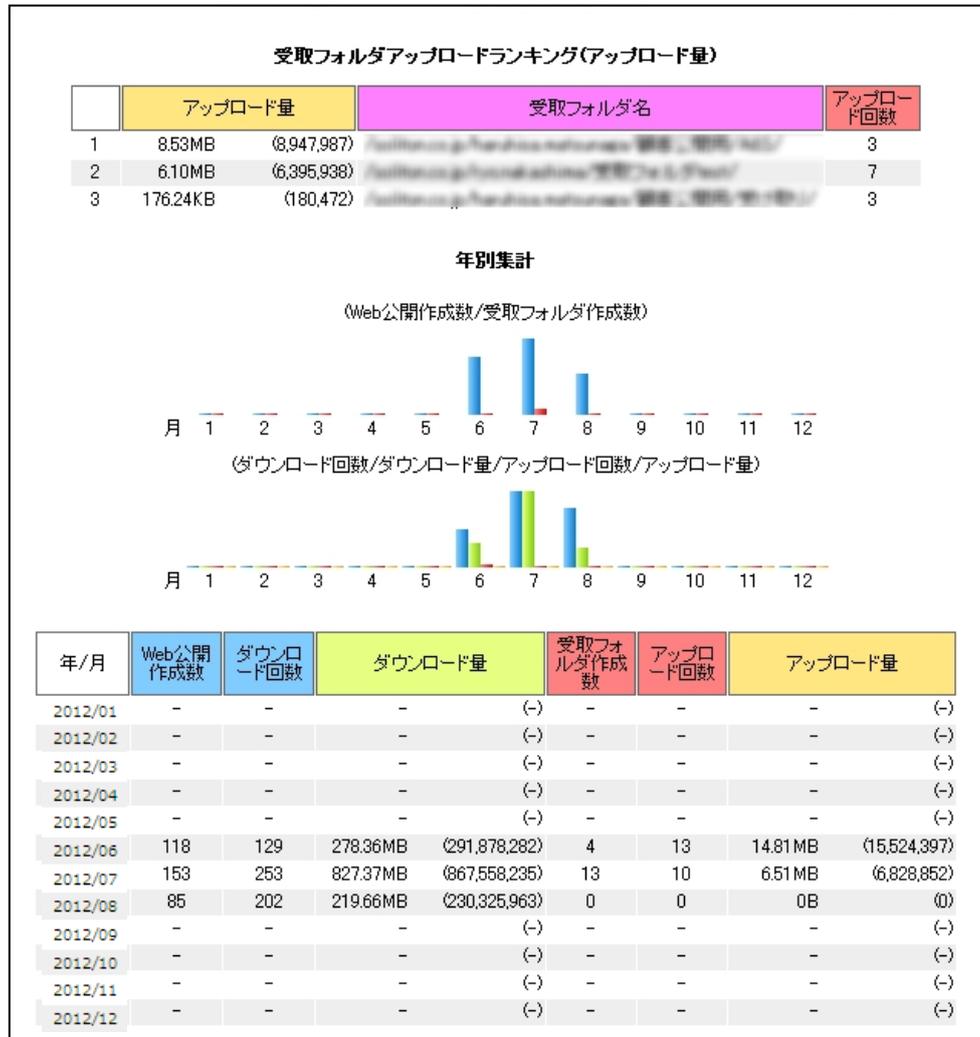
Web公開ダウンロードランキング(ダウンロード量)				
ダウンロード量	Web公開ファイル名	ダウンロード回数		
1	102.77MB (107,765,852)	4		
2	60.39MB (63,321,555)	1		
3	25.65MB (26,896,227)	3		
4	16.28MB (17,071,248)	3		
5	8.74MB (9,165,104)	2		
6	5.44MB (5,706,420)	2		
7	5.16MB (5,410,731)	1		
8	5.12MB (5,366,272)	1		
9	5.08MB (5,330,830)	1		
10	4.80MB (5,028,351)	3		
11	4.79MB (5,024,563)	1		
12	4.79MB (5,024,563)	1		
13	3.39MB (3,550,650)	1		
14	3.38MB (3,541,656)	8		
15	3.06MB (3,213,841)	1		
16	2.82MB (2,954,752)	1		
17	2.68MB (2,815,133)	1		
18	2.03MB (2,128,032)	1		
19	1.98MB (2,072,576)	1		
20	1.66MB (1,739,576)	8		
21	1.30MB (1,358,588)	2		

受取フォルダアップロードランキング(アップロード回数)				
アップロード回数	受取フォルダ名	アップロード量		
1	7	6.10MB (6,395,938)		
2	3	176.24KB (180,472)		
3	3	8.53MB (8,947,987)		

受取フォルダアップロードランキング(アップロード量)				
アップロード量	受取フォルダ名	アップロード回数		
1	8.53MB (8,947,987)	3		
2	6.10MB (6,395,938)	7		
3	176.24KB (180,472)	3		

6.4.3 年別集計

Web公開、受取フォルダの作成数とそれらのダウンロード/アップロードの回数とデータ量を月ごとに集計した形で確認をすることができます。



6.5 ログダウンロード

各種操作のログをCSV形式でダウンロードすることが可能です。

メニューの『ログダウンロード』をクリックすると、下図が表示されます。

 ログのダウンロード

ログインログ	2015/11 ▼ example.co.jp	ダウンロード
管理ログ	2015/11 ▼ example.co.jp	ダウンロード
ダウンロードログ	2015/11 ▼ example.co.jp	ダウンロード
アップロードログ	2015/11 ▼ example.co.jp	ダウンロード
ファイル操作ログ	2015/11 ▼ example.co.jp	ダウンロード
Web公開操作ログ	2015/11 ▼ example.co.jp	ダウンロード
Web公開ログインログ	2015/11 ▼ example.co.jp	ダウンロード
Web公開ダウンロードログ	2015/11 ▼ example.co.jp	ダウンロード
Web公開アップロードログ	2015/11 ▼ example.co.jp	ダウンロード
アクティベーションログ	2015/11 ▼ example.co.jp	ダウンロード

出力したいログの年月を選択し、〈ダウンロード〉 ボタンをクリックすると、CSVでログをダウンロードすることができます。次ページ以降で各種ログの説明をします。

注意

『ログダウンロード』からダウンロードできるログの期間は、1年分です。
1年を過ぎたログは、ダウンロードできなくなりますのでご注意ください。

6.5.1 ログインログ

ユーザーがログインを試行した際の情報が出力されます。

・出力フォーマット

“ログイン日時”, “ユーザーID”, “KDDI Business ID”, “所属ドメイン”, “リターンコード”, “エラーメッセージ”, “接続元IPアドレス”, “端末種別”, “端末ID”, “接続サーバID”

・出力項目詳細

項目	解説
ログイン日時	ログインを試行した日時が“YYYY/MM/DD HH:MM:SS”形式で出力されます。
ユーザーID	ログインを試行したユーザーIDが出力されます。 ※ユーザーIDの入力を間違い(存在しないユーザーID)の場合は、本ログには出力されません。
KDDI Business ID	「KDDI Business ID」連携ユーザーの場合にはKDDI Business IDが出力されます。
所属ドメイン	ユーザーIDの『@』以降が出力されます。
リターンコード	ログインに成功した場合は“0”、失敗した場合は“1”が出力されます。
エラーメッセージ	リターンコードが“1”(ログイン失敗)の場合にエラーメッセージが出力されます。リターンコードが“0”(成功)の場合は、“”と出力されます。 ※エラーメッセージの一覧は、別表をご確認ください。
接続元IPアドレス	ログインを試行したユーザーの接続元IPアドレスが出力されます。 ※プロキシサーバなどを経由し、かつX-Forwarded-Forヘッダに接続元IPアドレスが含まれている場合は、“接続元IPアドレス,プロキシサーバのIPアドレス”の形式で出力されます。
端末種別	クライアントの種類が以下のコードで出力されます。 10: PC向けブラウザ画面 11: スマートフォン向けブラウザ画面 20: Windows アプリ(『KDDIファイルストレージクライアント』/『同期ツール』Ver.1.10.0.0以上) 40: iOSアプリ(File Storage Ver.2.1.0以上) 50: Androidアプリ(File Storage Ver.2.1.0以上) 90: その他WebDAV
端末ID	クライアントアプリケーションの端末ID ※端末認証を利用していない場合も表示されます。
接続サーバID	システム運用上、冗長化しているサーバの、どのサーバへのアクセスかを示していますが、ご利用者さまは意識する必要はありません。

・エラーメッセージ一覧

エラーメッセージ	解説
“Authentication failed”	パスワードを正しく入力しているかご確認ください。
“Authentication failed /Account locked.”	パスワードの入りに誤りがあり、パスワードポリシーにしたがい、アカウントがロックされました。
“The account is disabled”	ユーザーIDが停止状態の場合に出力されます。
“Password Expired”	パスワードの有効期限が切れています。
“Access denied: Not match. (user)”	クライアント種別にかかわらず、IPアドレス制限でエラーとなった場合に出力されます。
“Access denied: Not Enable Device. (user)”	ユーザーのアクセス制限設定で、『クライアント種別設定』で許可されていないクライアントからのアクセスでエラーとなった場合に出力されます。

エラーメッセージ	解説
"Access denied: Over capacity Device ID. (user)"	Windows/iOS/Androidアプリの端末認証で、台数オーバーでアクティベーションエラーとなった場合に出力されます。
"Access denied: Not Activation Device ID. (user)"	Windows/iOS/Androidアプリの端末認証で、該当の端末IDのアクティベーションが停止されていた場合に出力されます。

例) ユーザーID『user01@example.co.jp』が端末ID『KFS_40TJzWSq6DSeuZF4DMjpAt2g』のiOSアプリで、2015/11/25 18:52:14に、IPアドレスxx.xx.xx.xxの環境から、ログインし、成功した場合

```
"2015/11/25 18:52:14","user01@example.co.jp","user01@kbi.com","example.co.jp","0","xx.xx.xx.xx","40","KFS_40TJzWSq6DSeuZF4DMjpAt2g","Server1"
```

6.5.2 管理ログ

管理ログとは、主に管理者による操作のログになります。

・出力フォーマット

“日時”, “設定項目”, “ユーザーID”, “所属ドメイン”, “接続元IPアドレス” , [“設定内容、設定項目により出力が異なります”, “...”, “接続サーバ ID”

・出力項目詳細

項目	解説
日時	操作を実施した日時が“YYYY/MM/DD HH:MM:SS”形式で出力されます。
設定項目	管理者が実施した設定項目が出力されます。 ※設定項目の一覧は、別表をご確認ください。
ユーザーID	操作を実施したユーザーIDが出力されます。 ※自動処理の場合は『system』として、出力されます。 ※「KDDI Business ID」連携ユーザー作成の場合には『kbi-api』として、出力されます。
所属ドメイン	操作を実施したユーザーIDが所属するドメインが出力されます。
接続元IPアドレス	ログインを試行したユーザーの接続元IPアドレスが出力されます。 ※プロキシサーバなどを経由し、かつX-Forwarded-Forヘッダに接続元IPアドレスが含まれている場合は、“接続元IPアドレス,プロキシサーバのIPアドレス”の形式で出力されます。
設定内容	出力される内容は、『設定項目』により異なり、“設定内容”, “設定値”の形式で複数と出力されます。 ※『設定項目』が同じでも、操作内容により、項目数が変わる場合があります。 ※“設定内容”のアルファベット順に出力されます。
接続サーバ ID	システム運用上、冗長化しているサーバの、どのサーバへのアクセスかを示していますが、ご利用者さまは意識する必要はありません。

・設定項目一覧

設定項目	解説
ユーザー作成	ユーザーを新規に作成した場合に出力されます。
ユーザー更新	ユーザーの設定を変更した場合に出力されます。
ユーザー停止	ユーザーの停止処理を実施した場合に出力されます。
ユーザー停止(自動処理)	以下の場合に出力されます。 ・ユーザーに期限を設定しており、期限を超えて自動的にユーザーが『停止』状態となった場合 ・パスワードポリシーの『アカウントロックまでのPASSWORDエラー回数』にしたがいユーザーが『停止』状態となった場合
ユーザー開始	ユーザーの再開処理を実施した場合に出力されます。
ユーザー削除	ユーザーを削除した場合に出力されます。
パスワード再設定申請	ユーザーが自分のパスワードを忘れ、ログイン画面からパスワードの再設定申請を実施した場合に出力されます。
パスワード再設定	ユーザーが自分のパスワードを忘れ、ログイン画面からパスワードの再設定申請後、パスワードの再設定を実施した場合に出力されます。
グループ作成	グループを新規に作成した場合に出力されます。
グループ更新	グループの設定を変更した場合に出力されます。
グループ停止(自動処理)	グループに期限を設定しており、期限を超えて自動的に参加ユーザーを非参加にした場合に出力されます。
グループ削除	グループを削除した場合に出力されます。

設定項目	解説
ドメイン更新	以下の4点のシステム設定操作を管理者さまが実施した場合に出力されま す。 ・システム設定＞Web公開/受取フォルダ設定 ・システム設定＞容量アラート設定 ・システム設定＞契約容量制限 ・システム設定＞契約プラン設定

『設定項目』ごとに、『設定内容』について、解説をします。

1)『ユーザー作成』、『ユーザー更新』の場合

項目名	解説	値の例
accesslimit_config_type	アクセス制限タイプ 空:システム設定を優先 0:全体設定 1:クライアント種別	1
accesslist	アクセス制限タイプが『0:全体設定』の場 合のIPアドレス制限に設定するIPアドレ ス/ドメイン名	allow:xx.xx.xx.xx;
addgroup	所属グループ ※読取専用で所属の場合はグループ名 の後に『readonly』の文字列が付加さ れる。	グループA@example.co.jp ※読取専用の場合 グループ A_readonly@example.co.jp
basicrole	種類 一般 :user 管理者 :root グループ作成者:groupcreator 読取専用 :readonly	user
changepassworddisable	当サービスでは利用しません。	0
comment	注釈	注釈です。
currentdir	ログインフォルダ	\${user}
defaultmail_groupdownload_do cument	フォルダオプション＞メール文書設定＞ ダウンロード通知メール＞文書設定 システム設定を優先:-1 設定 :1	1
defaultmail_groupdownloadmail _destination	フォルダオプション＞メール文書設定＞ ダウンロード通知メール＞送信先 このユーザーに送信:-1 設定 :1	1
defaultmail_groupdownloadmail _destination_mailaddress	フォルダオプション＞メール文書設定＞ ダウンロード通知メール＞送信先＞設定 で登録したメールアドレス 未設定:値なし 設定 :登録したメールアドレス	" ユ ー ザ ー 1 " <user01@example.co.jp>
defaultmail_groupdownloadmail _from	フォルダオプション＞メール文書設定＞ ダウンロード通知メール＞FROM システム設定を優先:-1 設定 :1	1
defaultmail_groupdownloadmail _from_mailaddress	フォルダオプション＞メール文書設定＞ ダウンロード通知メール＞設定 で登録 したメールアドレス 未設定:値なし 設定 :登録したメールアドレス	user01@example.co.jp

項目名	解説	値の例
defaultmail_groupupload_destination	フォルダオプション>メール文書設定>アップロード通知メール>送信先 このユーザーに送信:-1 設定 :1	1
defaultmail_groupupload_destination_mailaddress	フォルダオプション>メール文書設定>アップロード通知メール>送信先 未設定:値なし 設定 :登録したメールアドレス	" ユーザー 1 " <user01@example.co.jp>
defaultmail_groupupload_document	フォルダオプション>メール文書設定>アップロード通知メール>文書設定 システム設定を優先:-1 設定 :1	1
defaultmail_groupupload_from	フォルダオプション>メール文書設定>アップロード通知メール>FROM システム設定を優先:-1 設定:1	1
defaultmail_groupupload_from_mailaddress	フォルダオプション>メール文書設定>アップロード通知メール>FROM 未設定:値なし 設定 :登録したメールアドレス	user01@sexample.co.jp
device_accesslist_10	クライアント種別 ブラウザ(PC) IPアドレス制限	allow:xx.xx.xx.xx;
device_accesslist_11	クライアント種別 ブラウザ(スマホ) IPアドレス制限	allow:xx.xx.xx.xx;
device_accesslist_20	クライアント種別 Windowsアプリ IPアドレス制限	allow:xx.xx.xx.xx;
device_accesslist_40	クライアント種別 iOSアプリ IPアドレス制限	allow:xx.xx.xx.xx;
device_accesslist_50	クライアント種別 Androidアプリ IPアドレス制限	allow:xx.xx.xx.xx;
device_accesslist_90	クライアント種別 その他WebDAV IPアドレス制限	allow:xx.xx.xx.xx;
device_auth_20	端末認証Windowsアプリ 1:設定 空:設定なし	1
device_auth_40	端末認証iOSアプリ 1:設定 空:設定なし	1
device_auth_50	端末認証Androidアプリ 1:設定 空:設定なし	1
device_capacity_20	端末認証:台数 Windowsアプリ	3
device_capacity_40	端末認証:台数 iOSアプリ	3
device_capacity_50	端末認証:台数 Androidアプリ	3
device_enable_10	クライアント種別 ブラウザ(PC) 許可フラグ 1:許可 0:非許可	1

項目名	解説	値の例
device_enable_11	クライアント種別 ブラウザ(スマホ) 許可フラグ 1:許可 0:非許可	1
device_enable_20	クライアント種別 Windowsアプリ 許可フラグ 1:許可 0:非許可	1
device_enable_40	クライアント種別 iOSアプリ 許可フラグ 1:許可 0:非許可	1
device_enable_50	クライアント種別 Androidアプリ 許可フラグ 1:許可 0:非許可	1
device_enable_90	クライアント種別 その他WebDAV 許可フラグ 1:許可 0:非許可	1
device_expire_40	iOSアプリのローカルファイルの時限削除:日数 日数 空:システム設定を優先 0:無期限	3
device_expire_flg	iOSアプリのローカルファイルの時限削除 1:設定あり 空:システム設定を優先	1
device_save_40	iOSアプリのローカル保存 空:システム設定を優先 0:禁止 1:許可	1
device_save_flg	iOSアプリのローカル保存 1:設定あり 空:システム設定を優先	1
downloadmail	フォルダオプション>ダウンロードされたらメールで通知 チェックあり:1 チェックなし:0	1
expire	ユーザー期間	2011/09/20
fileexpireenable	無期限ファイル チェックあり:1 チェックなし:0	
folder_deliveryexpiredays	フォルダオプション>受取フォルダ期限の強制 システム設定を優先:-1 設定 :日数 無期限 :0	-1
folder_fileexpire_include_folder	フォルダオプション>時限ファイル期限の強制>設定>フォルダにも適用 チェックあり:1 チェックなし:0	1

項目名	解説	値の例
folder_fileexpiredays	フォルダオプション>時限ファイル期限の強制 システム設定を優先:-1 設定 :日数 無期限 :0	5
folder_webpubexpiredays	フォルダオプション>Web公開期限の強制 システム設定を優先:-1 設定 :日数 無期限 :0	5
kbi_id	操作対象のKDDI Business ID	user01@kbi.com
limitsize	ユーザーフォルダの容量制限(MB)	500
mailaddress	メールアドレス	user01@example.co.jp
mkcol	ユーザーフォルダ作成 する :1 しない:項目自体が表示されない。	1
Passwordexpireenable	無期限PASSWORD チェックあり:1 チェックなし:0	0
publicapproval_enable	Web公開の承認 チェックあり:1 チェックなし:0	0
publicapproval_requestedgroup	Web公開承認担当ユーザー/グループ 未設定:値なし 設定 :登録したユーザーID、グループ名	
publicwebenable	許可>WEB公開 許可 :1 非許可:0	1
readonlyenable	許可>読取専用 許可 :1 非許可:0	1
sendmailenable	許可>メール送信 許可 :1 非許可:0	1
submailaddress	サブメールアドレス	" ユ - ザ - 2 <user02@example.co.jp>
uploadmail	フォルダオプション>アップロードされたらメールで通知 チェックあり:1 チェックなし:0	1
user_id	ユーザーID	user01@example.co.jp
userfullname	名前	山田 太郎
versioncontrol	フォルダオプション>バージョン管理 チェックあり:1 チェックなし:0	0

- 2) 『ユーザー停止』『ユーザー停止(自動処理)』『ユーザー開始』『ユーザー削除』
『パスワード再設定申請』『パスワード再設定』の場合

項目名	解説	値の例
user_id	操作対象のユーザーID	user01@example.co.jp
kbi_id	操作対象のKDDI Business ID	user01@kbi.com

- 3) 『グループ作成』、『グループ更新』の場合

項目名	解説	値の例
addgroup	作成したグループに所属させたグループ名 ※複数になると、項目が増えます。	グループA@example.co.jp
addreadonlygroup	作成したグループに読取専用で所属させたグループ名 ※複数になると、項目が増えます。	グループA@example.co.jp
addreadonlyuser	作成したグループに読取専用で所属させたユーザー名 ※複数になると、項目が増えます。	user01@example.co.jp
adduser	作成したグループに所属させたユーザー名 ※複数になると、項目が増えます。	user01@example.co.jp
comment	注釈	注釈です。
defaultmail_groupdownload_document	フォルダオプション>メール文書設定 >グループダウンロード通知メール>文書設定 システム設定を優先:-1 設定 :1	1
defaultmail_groupdownloadmail_destination	フォルダオプション>メール文書設定 >ダウンロード通知メール>送信先 参加者全員に送信:-1 設定 :1	1
defaultmail_groupdownloadmail_destination_mailaddress	フォルダオプション>メール文書設定 >ダウンロード通知メール>送信先>設定 で登録したメールアドレス 未設定:値なし 設定 :登録したメールアドレス	"ユーザー1" <user01@example.co.jp>
defaultmail_groupdownloadmail_from	フォルダオプション>メール文書設定 >グループダウンロード通知メール>FROM システム設定を優先:-1 設定 :1	-1
defaultmail_groupdownloadmail_from_mailaddress	フォルダオプション>メール文書設定 >グループダウンロード通知メール>FROM システム設定を優先:値なし 設定 :メールアドレス	user01@example.co.jp
defaultmail_groupupload_destination	フォルダオプション>メール文書設定 >アップロード通知メール>送信先 参加者全員に送信:-1 設定 :1	1
defaultmail_groupupload_destination_mailaddress	フォルダオプション>メール文書設定 >アップロード通知メール>送信先 未設定:値なし 設定:登録したメールアドレス	"ユーザー2" <user02@example.co.jp>

項目名	解説	値の例
defaultmail_groupupload_document	フォルダオプション>メール文書設定 >グループアップロード通知メール> 文書設定 システム設定を優先:-1 設定 :1	-1
defaultmail_groupupload_from	フォルダオプション>メール文書設定 >グループアップロード通知メール> FROM システム設定を優先:-1 設定 :1	-1
defaultmail_groupupload_from_mailaddress	フォルダオプション>メール文書設定 >グループアップロード通知メール> FROM システム設定を優先:値なし 設定 :メールアドレス	user01@example.co.jp
device_expire_40	iOSアプリのローカルファイルの時限削除 日数 空:システム設定を優先 0:無期限	3
device_expire_flg	iOSアプリのローカルファイルの時限削除 1:設定あり 空:システム設定を優先	1
device_save_40	iOSアプリのローカル保存 空:システム設定を優先 0:禁止 1:許可	1
device_save_flg	iOSアプリのローカル保存 1:設定あり 空:システム設定を優先	1
downloadmail	フォルダオプション>ダウンロードされたらメールで通知 チェック :1 未チェック:0	1
expire	期限	2012/04/10
folder_deliveryexpiredays	フォルダオプション>受取フォルダ期限の強制 システム設定を優先:-1 設定 :日数 無期限 :0	-1
folder_fileexpire_include_folder	フォルダオプション>時限ファイル期限の強制>設定>フォルダにも適用 チェックあり:1 チェックなし:0	1
folder_fileexpiredays	フォルダオプション>時限フォルダの強制 システム設定を優先:-1 設定 :日数 無期限 :0	-1

項目名	解説	値の例
folder_webpubexpiredays	フォルダオプション Web公開期限の強制 システム設定を優先:-1 設定 :日数 無期限 :0	-1
group_id	グループ名	グループA@example.co.jp
limitsize	容量制限(MB)	1000
mkcol	グループフォルダ作成 する :1 しない:項目自体が表示されない。	1
uploadmail	フォルダオプション>アップロードされたらメールで通知 チェック :1 未チェック:0	1
versioncontrol	フォルダオプション>バージョン管理 チェックあり:1 チェックなし:0	0

4) 『グループ停止(自動処理)』、『グループ削除』の場合

項目名	解説	値の例
group_id	操作対象のグループ名	グループA@example.co.jp

例) 管理者『admin@example.co.jp』が2015/11/25 20:51にIPアドレス『xx.xx.xx.xx』の環境から、以下の設定内容でユーザーを作成した場合。

ユーザーID	:user05@example.co.jp
ユーザーフォルダ	:作成する(チェック)
容量制限	:100MB
フォルダオプション	
バージョン管理する	:チェックなし
アップロードされたらメールで通知	:チェックなし
ダウンロードされたらメールで通知	:チェックなし
時限ファイル期限の強制	:システム設定を優先
Web公開期限の強制	:システム設定を優先
受取フォルダ期限の強制	:システム設定を優先
アプリ制限設定	:システム設定を優先
メール文書設定	:システム設定を優先
名前	:山田 太郎
種類	:一般ユーザー
参加グループ	:Group01(通常参加)
メールアドレス	:user05@example.co.jp
サブメールアドレス	:なし
注釈	:注釈です
許可	
Web公開	:許可(チェック)
メール送信	:許可(チェック)
読取専用	:許可(チェック)
アクセス制限	:なし
ログインフォルダ	:\$[user]
期限	:2016/12/31

```
"2015/11/25 20:51:57","ユーザー作成","admin@example.co.jp","example.co.jp","xx.xx.xx.xx","accesslimit_config_type","0","accesslist","","addgroup","Group01@example.co.jp","basicrole","user","changepassworddisable","0","comment","注釈です。","currentdir","${user}","defaultmail_groupdownload_document","-1","defaultmail_groupdownloadmail_destination","-1","defaultmail_groupdownloadmail_destination_mailaddress","","defaultmail_groupdownloadmail_from","-1","defaultmail_groupdownloadmail_from_mailaddress","","defaultmail_groupupload_destination","-1","defaultmail_groupupload_destination_mailaddress","","defaultmail_groupupload_document","-1","defaultmail_groupupload_from","-1","defaultmail_groupupload_from_mailaddress","","device_accesslist_10","","device_accesslist_11","","device_accesslist_20","","device_accesslist_40","","device_accesslist_50","","device_accesslist_90","","device_auth_20","","device_auth_40","","device_auth_50","","device_capacity_20","","device_capacity_40","","device_capacity_50","","device_enable_10","","device_enable_11","","device_enable_20","","device_enable_40","","device_enable_50","","device_enable_90","","device_expire_40","","device_expire_flg","","device_save_40","","device_save_flg","","downloadmail","0","expire","2016/12/31","fileexpireenable","0","folder_deliveryexpiredays","-1","folder_fileexpire_include_folder","0","folder_fileexpiredays","-1","folder_webpubexpiredays","-1","limitsize","100","mailaddress","user05@example.co.jp","mkcol","1","passwordexpireenable","0","publicapproval_enable","0","publicapproval_requestedgroup","","publicwebenable","1","readonlyenable","1","sendmailenable","1","submailaddress","","uploadmail","0","user_id","user05@example.co.jp","userfullname","山田太郎","versioncontrol","0","Server1"
```

5) 『ドメイン更新』の『システム設定>容量アラート設定』の場合

項目名	解説	値の例
limitsize_alert_flag	容量アラート機能 使用する:1 使用しない:空白	1
limitsize_alert_mailaddress	容量アラートメール送信先>追加メールアドレス(任意) 設定なし:空白 ※複数の場合はカンマ区切り	user01@example.co.jp
limitsize_alert_per	容量アラート閾値(%)	90
limitsize_alert_primarymail	容量アラートメール送信先>全ての管理者にメールを送信する 送信する:1 送信しない:空白	1
primary_id	ドメイン名	example.co.jp

6) 『ドメイン更新』の『システム設定>契約容量制限』の場合

項目名	解説	値の例
limitsize	契約容量制限 単位:GB	10
primary_id	ドメイン名	example.co.jp

7) 『ドメイン更新』の『システム設定>契約プラン変更』の場合

項目名	解説	値の例
after-k_contract_plan	変更後の契約プラン 容量単位コース 10GBプラン:3 容量単位コース 100GBプラン:4 容量単位コース 1TBプラン:5	3
after-k_contract_plan_option	変更後の契約プランオプション なし:0 10GB 追加:10 20GB 追加:20 30GB 追加:30 40GB 追加:40 50GB 追加:50 60GB 追加:60 70GB 追加:70 80GB 追加:80 100GB 追加:100 200GB 追加:200 300GB 追加:300 400GB 追加:400 500GB 追加:500 600GB 追加:600 700GB 追加:700 800GB 追加:800 900GB 追加:900 1000GB 追加:1000	10

項目名	解説	値の例
before-k_contract_plan	変更前の契約プラン 容量単位コース 10GBプラン:3 容量単位コース 100GBプラン:4 容量単位コース 1TBプラン:5	3
before-k_contract_plan_option	変更前の契約プランオプション なし:0 10GB 追加:10 20GB 追加:20 30GB 追加:30 40GB 追加:40 50GB 追加:50 60GB 追加:60 70GB 追加:70 80GB 追加:80 100GB 追加:100 200GB 追加:200 300GB 追加:300 400GB 追加:400 500GB 追加:500 600GB 追加:600 700GB 追加:700 800GB 追加:800 900GB 追加:900 1000GB 追加:1000	0
k_contract_plan_mailedress	契約プラン変更アラートメール送信先 ※複数の場合は、カンマ区切り	user01@example.co.jp
limitsize	変更後のご契約容量(単位:MB) ※ 1GB = 1,024MB(1,024 × 1,024 × 1,024 = 1,073,741,824byte)の計算となる。 例) ・10GBの場合は、1,024MB × 10 = 10,240MBとなる。 ・20GBの場合は、1,024MB × 20 = 20,480MBとなる。 ・100GBの場合は、1,024MB × 100 = 102,400MBとなる。 ・1TBの場合は、1,024MB × 1000 = 1,024,000MBとなる。	20480
primary_id	ドメイン名	example.co.jp
usercapacity	変更後の登録できるユーザー数の上限 例)契約プランが『容量単位コース:10GBプラン』の場合は、登録できるユーザー数の上限は300ですが、ここでは登録する管理者のIDの1ユーザー分は含めない数値(299)が出力されます。	299

6.5.3 ダウンロードログ

- ファイルのダウンロードを行った際の情報が出力されます。
- ※ブラウザで、一括ダウンロードを行った場合は、各ファイルのログが出力されます。
- ※Web公開アドレスからダウンロードされたファイルに関しても本ログに出力されます。
- ※ダウンロード途中でキャンセルしたファイルに関しても本ログに記録されます。

・出力フォーマット

“ダウンロード日時”, “ユーザーID”, “所属ドメイン”, “ファイルサイズ”, “MIMETYPE”, “ファイル名”, “接続元IPアドレス”, “端末種別”, “端末ID”, “接続サーバID”

・出力項目詳細

項目	解説
ダウンロード日時	ダウンロードを実施した日時が“YYYY/MM/DD HH:MM:SS”形式で出力されます。
ユーザーID	ダウンロードを実施したユーザーIDが出力されます。 ※Web公開アドレスからダウンロードした場合、“”と出力されます。
所属ドメイン	ユーザーIDの『@』以降が出力されます。
ファイルサイズ	ダウンロードを実施したファイルのサイズがバイト単位で出力されます。 ※ダウンロード途中でキャンセルした場合は、キャンセル時にダウンロードが完了していた分のファイルサイズが出力されます。
MIMETYPE	ダウンロードを実施したファイルのデータの種類を示すコードが出力されます。『タイプ名/サブタイプ名』の形式で出力されます。
ファイル名	ダウンロードを実施した対象のファイル名がフルパスで出力されます。
接続元IPアドレス	ダウンロードを実施したユーザーの接続元IPアドレスが出力されます。 ※プロキシサーバなどを経由し、かつX-Forwarded-Forヘッダに接続元IPアドレスが含まれている場合は、『接続元IPアドレス,プロキシサーバのIPアドレス』の形式で出力されます。
端末種別	クライアントの種類が以下のコードで出力されます。 10: PC向けブラウザ画面 11: スマートフォン向けブラウザ画面 20: Windows アプリ(『KDDIファイルストレージクライアント』/『同期ツール』 Ver.1.10.0.0以上) 40: iOSアプリ(File Storage Ver.2.1.0以上) 50: Androidアプリ(File Storage Ver.2.1.0以上) 90: その他WebDAV
端末ID	クライアントアプリの端末ID ※端末認証を利用していない場合も表示されます。
接続サーバID	システム運用上、冗長化しているサーバの、どのサーバへのアクセスかを示していますが、ご利用者さまは意識する必要はありません。

例) ユーザーID『user01@example.co.jp』が、端末ID『KFS_40TJzWSq6DSeuZF4DMjpAt2g』のiOSアプリで2015/11/25 21:07に、IPアドレスxx.xx.xx.xxの環境から、『/example.co.jp/user01』フォルダにある約2.6MBの『IMG_0528.PNG』をダウンロードした場合。

```
“2015/11/25 21:07:58”, “user01@example.co.jp”, “example.co.jp”, “262931”, “image/png”, “/example.co.jp/user01/IMG_0528.PNG”, “xx.xx.xx.xx”, “40”, “KFS_40TJzWSq6DSeuZF4DMjpAt2g”, “Server1”
```

6.5.4 アップロードログ

ファイルのアップロードを行った際の情報が出力されます。
 フォルダのアップロードを行った場合は、フォルダ内の各ファイルについてログが出力されます。
 ※Web公開アドレス(受取フォルダ)へアップロードされたファイルに関しても本ログに出力されます。

・出力フォーマット
 “アップロード日時”, “ユーザーID”, “所属ドメイン”, “ファイルサイズ”, “ファイル名”, “接続元IPアドレス”, “端末種別”, “端末ID”, “接続サーバID”

・出力項目詳細

項目	解説
アップロード日時	アップロードを実施した日時が“YYYY/MM/DD HH:MM:SS”形式で出力されます。
ユーザーID	アップロードを実施したユーザーIDが出力されます。 ※Web公開アドレス(受取フォルダ)からアップロードした場合、“”と出力されます。
所属ドメイン	ユーザーIDの『@』以降が出力されます。
ファイルサイズ	アップロードを実施したファイルのサイズがバイト単位で出力されます。
ファイル名	アップロードを実施した対象のファイル名がフルパスで出力されます。
接続元IPアドレス	ダウンロードを実施したユーザーの接続元IPアドレスが出力されます。 ※プロキシサーバなどを経由し、かつX-Forwarded-Forヘッダに接続元IPアドレスが含まれている場合は、“接続元IPアドレス,プロキシサーバのIPアドレス”の形式で出力され ます。
端末種別	クライアントの種類が以下のコードで出力されます。 10: PC向けブラウザ画面 11: スマートフォン向けブラウザ画面 20: Windowsアプリ(『KDDIファイルストレージクライアント』/『同期ツール』 Ver.1.10.0.0以上) 40: iOSアプリ(File Storage Ver.2.1.0以上) 50: Androidアプリ(File Storage Ver.2.1.0以上) 90: その他WebDAV
端末ID	クライアントアプリの端末ID ※端末認証を利用していない場合も表示されます。
接続サーバID	システム運用上、冗長化しているサーバの、どのサーバへのアクセスかを示していますが、ご利用者さまは意識する必要はありません。

例) ユーザーID『user01@example.co.jp』が2015/11/25 21:22に、IPアドレスxx.xx.xx.xxの環境から、パソコンのブラウザで、約60KBの『test.pptx』をフォルダ『/example.co.jp/Group01』にアップロードした場合。

```
“2015/11/25 21:22:57”, “user01@example.co.jp”, “example.co.jp”, “60220”, “/example.co.jp/Group01/test.pptx”, “xx.xx.xx.xx”, “10”, “”, “Server1”
```

6.5.5 ファイル操作ログ

ユーザーがファイル/フォルダ操作を行った際の情報が出力されます。

※バージョン管理機能を利用している場合、『バックアップ』フォルダ内のファイルをコピーまたは削除(自動削除を含む)されても本ログには出力されません。

・出力フォーマット

“操作日時”、“操作種類”、“ユーザーID”、“所属ドメイン”、“操作対象”、“対象ファイル/フォルダ”、“移動、コピー先”、“接続元IPアドレス”、“端末種別”、“端末ID”、“[操作情報、設定項目により出力が異なります”、“...”]“接続サーバID”

・出力項目詳細

項目	解説
操作日時	ファイル操作を実施した日時が“YYYY/MM/DD HH:MM:SS”形式で出力されます。
操作種類	実施した操作の種類が出力されます。 ※出力する操作種類は別表の『操作種類一覧』をご確認ください。
ユーザーID	ファイル/フォルダ操作を実施したユーザーIDが出力されます。
所属ドメイン	ユーザーIDの『@』以降が出力されます。
操作対象	ファイルに対して操作を行った場合は“ファイル”、フォルダに対して操作を行った場合は“フォルダ”が出力されます。
ファイル/フォルダ名	操作を実施した対象のファイル/フォルダ名がフルパスで出力されます。
移動、コピー先	操作種類が『移動』、『コピー』の場合は、移動、コピー先が出力されます。 『名前の変更』の場合は、変更後のファイルのパスが出力されます。 操作種類がそのほかの場合は、“”が出力されます。
接続元IPアドレス	ファイル/フォルダ操作を実施したユーザーの接続元IPアドレスが出力されます。 ※プロキシサーバなどを経由し、かつX-Forwarded-Forヘッダに接続元IPアドレスが含まれている場合は、“接続元IPアドレス,プロキシサーバのIPアドレス”の形式で出力されます。
端末種別	クライアントの種類が以下のコードで出力されます。 10: PC向けブラウザ画面 11: スマートフォン向けブラウザ画面 20: Windowsアプリ(『KDDIファイルストレージクライアント』/『同期ツール』 Ver.1.10.0.0以上) 40: iOSアプリ(File Storage Ver.2.1.0以上) 50: Androidアプリ(File Storage Ver.2.1.0以上) 90: その他WebDAV
端末ID	クライアントアプリの端末ID ※端末認証を利用していない場合も表示されます。
操作情報	ファイル、フォルダ操作時の詳細な情報が出力されます。 出力する操作情報は、別表の『操作情報一覧』に記載しています。 ※本項目は1つの操作情報について、“操作情報”、“設定値”と出力されます。
接続サーバID	システム運用上、冗長化しているサーバの、どのサーバへのアクセスかを示していますが、ご利用者さまは意識する必要はありません。

・操作種類一覧

操作種類	説明
フォルダ作成	フォルダを新規に作成した場合に出力されます。 ※ユーザー/グループフォルダ作成時も出力されます。
移動	ファイル/フォルダを別の場所へ移動した場合に出力されます。
コピー	ファイル/フォルダを別の場所にコピーした場合に出力されます。
名前の変更	ファイル/フォルダの名前を変更した場合に出力されます。

操作種類	説明
削除	ファイル/フォルダを削除した場合に出力されます。
ロック	ファイルにロック属性を付与した場合に出力されます。
アンロック	ファイルのロック属性を外した場合に出力されます。
読取専用	ファイルに読取専用属性を付与した場合または、読取専用属性を外した場合に出力されます。
コメント	ファイル/フォルダにコメントを付与した場合に出力されます。
時限ファイル	ファイルに時限設定を行った場合に出力されます。
時限フォルダ	フォルダに時限設定を行った場合に出力されます。
メール送信	ブラウザから公開URLをメール送信した場合に出力されます。
メール送信待ち	Web公開承認を有効にした状態で、ブラウザから公開URLをメール送信した場合に出力されます。(この時点ではメールは送信されていない)
メール送信完了	『メール送信待ち』のメールが承認され、送信された場合に出力されます。

・操作情報一覧

操作情報	設定値
expire	ファイル/フォルダに対して時限設定を行った場合に、設定した期限が出力されます。
expire_wait_empty_folder	フォルダに対して時限設定を行った場合に、[フォルダ内が空になってから削除]チェックボックスの設定内容に応じて以下が出力されます。 チェックON: "1" チェックOFF: "0"
readonly	ファイルに対して読取専用属性を付与した場合に"1"を、読取専用属性を外した場合に"0"が出力されます。
lock	ファイルに対してロック属性を付与した場合に"1"が出力されます。
unlock	ファイルに対してロック属性を外した場合に"0"が出力されます。
filecomment	ファイルに対してコメントを設定した場合に入力した内容が出力されます。
FROM	ブラウザから公開URLをメール送信した場合のFROMアドレスです。 例) user01@example.co.jp(user01@example.co.jp)
Subject	ブラウザから公開URLをメール送信した場合の件名です。 例) ダウンロードURLのお知らせ
TO	ブラウザから公開URLをメール送信した場合の宛先です。 例) user02@example.co.jp
CC	ブラウザから公開URLをメール送信した場合のCCです。 例) user03@example.co.jp
BCC	ブラウザから公開URLをメール送信した場合のBCCです。 例) user04@example.co.jp
publicaddress	ブラウザから公開URLをメール送信した場合の公開URLの 『https://kfs.kddi.ne.jp/public/』以下の ランダムな文字列です。 例) FVYοQA4IXIXAGr8B0ANJSkyeEZ0f4nl6piXIXLNmVCYX

例) ユーザーID『user01@example.co.jp』が2015/11/26 14:34に、IPアドレスxx.xx.xx.xxの環境から、パソコン向けのブラウザ画面で、『/example.co.jp/user01/folder01/』にあるファイル『IMG_0527.PNG』を『/example.co.jp/user01/folder02/1』に移動した場合。

```
"2015/11/26 14:34:53","移動","user01@example.co.jp","example.co.jp","ファイル","/example.co.jp/user01/folder01/IMG_0527.PNG","/example.co.jp/user01/folder02/IMG_0527.PNG","xx.xx.xx.xx10.13.255.1","10","","Server1"
```

6.5.6 Web公開操作ログ

Web公開/受取フォルダの設定、更新、停止操作を行った際の情報が出力されます。

・出力フォーマット

“日時”、“Web公開操作種類”、“ユーザーID”、“所属ドメイン”、“Web公開/受取フォルダ判定”、“公開対象(ファイル/フォルダ)”、“公開対象元ファイル/フォルダパス情報”、“Web公開アドレス”、“接続元IPアドレス”、“端末種別”、“端末ID”、“Web公開設定情報、設定項目により出力が異なります”、“...”、“接続サーバID”

・出力項目詳細

項目	解説
日時	Web公開/受取フォルダ操作を実施した日時が“YYYY/MM/DD HH:MM:SS”形式で出力されます。
Web公開操作種類	実施したWeb公開/受取フォルダの操作内容が出力されます。 ※出力するWeb公開操作種類は別表の『Web公開操作一覧』に記載しています。
ユーザーID	Web公開/受取フォルダ操作を実施したユーザーIDが出力されます。
所属ドメイン	ユーザーIDの『@』以降が出力されます。
Web公開/受取フォルダ判定	Web公開設定を実施した場合は“Web公開”、受取フォルダ設定を実施した場合は“受取フォルダ”が出力されます。
公開対象	ファイルに対してWeb公開操作を行った場合は“ファイル”、フォルダに対してWeb公開操作を行った場合は“フォルダ”が出力されます。
ファイル/フォルダ名	Web公開操作を実施した対象のファイル/フォルダ名がフルパスで出力されます。
Web公開アドレス	Web公開/受取フォルダ設定後に生成したWeb公開アドレスの『https://kfs.kddi.ne.jp/public/』以下のランダムな文字列が出力されます。 例) FVYoQA4IXAGr8B0ANJSkyeEZ0f4nl6piXIXLnmVCYX
接続元IPアドレス	Web公開/受取フォルダ設定を実施したユーザーの接続元IPが出力されます。 ※プロキシサーバなどを経由し、かつX-Forwarded-Forヘッダに接続元IPアドレスが含まれている場合は、“接続元IPアドレス,プロキシサーバのIPアドレス”の形式で出力されます。
端末種別	クライアントの種類が以下のコードで出力されます。 10: PC向けブラウザ画面 11: スマートフォン向けブラウザ画面 20: Windows アプリ(『KDDIファイルストレージクライアント』/『同期ツール』Ver.1.10.0.0以上) 40: iOSアプリ(File Storage Ver.2.1.0以上) 50: Androidアプリ(File Storage Ver.2.1.0以上) 90: その他WebDAV
端末ID	クライアントアプリの端末ID ※端末認証を利用していない場合も表示されます。
Web公開設定情報	Web公開/受取フォルダ設定時の詳細な情報が出力されます。 出力するWeb公開設定情報は、別表の『Web公開設定情報一覧』に記載しています。 ※本項目は1つの操作情報について、“Web公開設定情報”、“設定値”と出力されます。
接続サーバID	システム運用上、冗長化しているサーバの、どのサーバへのアクセスかを示していますが、ご利用者さまは意識する必要はありません。

・Web公開操作一覧

Web公開操作	説明
Web公開開始	Web公開/受取フォルダ設定を実施した場合に出力されます。
Web公開更新	既に公開しているWeb公開/受取フォルダ設定を更新した場合に出力されます。
Web公開停止	公開中のWeb公開/受取フォルダを停止した場合に出力されます。
Web公開停止 (自動処理)	Web公開/受取フォルダ設定をしたファイル/フォルダの削除時や、公開期限を設定したWeb公開/受取フォルダが期限を超えた場合に、システムが自動でWeb公開/受取フォルダを停止した場合に出力されます。
Web公開停止 (自動処理 回数制限)	Web公開/受取フォルダ設定時にダウンロード/アップロード回数制限を設定しており、システムが回数制限を超えた時点で自動的に公開停止を実施した場合に出力されます。
Web公開停止 (自動処理 アカウントロック)	Web公開/受取フォルダに公開パスワードを設定しており、Web公開ログイン時に規定回数(※)認証に失敗し、システムが自動でWeb公開/受取フォルダを停止した場合に出力されます。 ※システム設定-パスワードポリシー-Web公開パスワードポリシー/受取フォルダパスワードポリシー内の”公開停止までのパスワードロック回数”で設定した回数です。
Web公開承認	Web公開/受取フォルダ設定に承認が必要であり、承認許可権限を持つユーザーから承認された場合に出力されます。
Web公開拒否	Web公開/受取フォルダ設定に承認が必要であり、承認許可権限を持つユーザーから拒否された場合に出力されます。

・Web公開設定情報一覧

Web公開設定情報	設定値
deleteafterdownload	ダウンロード/アップロード回数制限を設定した場合、回数が出力されます。
password	公開パスワードを設定した場合、”1”が出力されます。 ※設定したパスワードは出力されません。
public_mailauth_mailaddress_add_n (n=0,1,2・・・)	メール認証機能利用時、公開アドレスをメール送信すると送信先メールアドレスが公開先メールアドレスに追加され、その公開先メールアドレスが出力されます。 ※項目の末尾の数字は、複数の場合に順番に『0』、『1』、『2』と増えます。
public_mailauth_mailaddress_remove_n (n=0,1,2・・・)	メール認証機能利用時、Web公開/受取フォルダ設定で公開先メールアドレスから削除したメールアドレスが出力されます。 ※項目の末尾の数字は、複数の場合に順番に『0』、『1』、『2』と増えます。
public_mailauth_mailaddress_set_n (n=0,1,2・・・)	メール認証機能利用時、公開先メールアドレスに設定したメールアドレスが出力されます。 ※公開先メールアドレスを制限しないメール認証を設定した場合は、”無制限”が出力されます。 ※項目の末尾の数字は、複数の場合に順番に『0』、『1』、『2』と増えます。
publiccomment	公開コメントを設定した場合、コメント内容が出力されます。
publicexpire	公開期限を設定した場合、公開期限が”YYYY/MM/DD HH:MM:SS”形式で出力されます。
publicfilenotvisible	受取フォルダの『アップロードファイル非表示』の設定値が出力されます。 チェック:”1” 未チェック:”0”

Web公開設定情報	設定値
publicsubfoldernotvisible	Web公開の『サブフォルダを表示しない』の設定値が出力されます。 チェック:"1" 未チェック:"0"
sendmailafterdownload	ダウンロード/アップロードされたらメールで通知の設定値が出力されます。 アップロードされたらメールで通知 チェック:1 未チェック:本項目の出力なし

例) ユーザーID『user01@example.co.jp』が2015/11/26 16:08に、IPアドレスxx.xx.xx.xxの環境から、パソコン向けのブラウザ画面で、ファイル『/example.co.jp/user01/IMG_0528.PNG』を以下の設定で、URL『https://kfs.kddi.ne.jp/public/2Kh4wACdeMzAyrkBc3JRiTdCSYye7SF2gNsktghI9YD6』でWeb公開した場合。

<Web公開設定>

ダウンロード回数制限 : 3回
 公開期限 : 2015/11/30
 公開パスワード : 設定済
 ダウンロードされたらメールで通知 : チェックなし
 公開コメント : 例の資料です。

```
"2015/11/26 16:08:20","Web 公開開始","user01@example.co.jp","example.co.jp","Web 公開","ファイル",
"/example.co.jp/user01/IMG_0528.PNG","2Kh4wACdeMzAyrkBc3JRiTdCSYye7SF2gNsktghI9YD6","x
x.xx.xx.xx","10","","deleteafterdownload","3","password","1","publiccomment","例の資料です。","publ
icexpire","2015/11/30","Server1"
```

6.5.7 Web公開ログインログ

Web公開/受取フォルダでパスワードを設定した場合、またはメール認証機能を利用する設定をしている場合に、Web公開アドレスへアクセスを実施した際の情報が出力されます。

・出力フォーマット

“ログイン日時”、“設定ユーザーID”、“所属ドメイン”、“メールアドレス”、“公開対象(ファイル/フォルダ)”、“Web公開アドレス”、“リターンコード”、“メッセージ”、“接続元IPアドレス”、“接続サーバID”

・出力項目詳細

項目	解説
ログイン日時	Web公開アドレスへアクセスし、Web公開ログイン画面でパスワード入力、またはメール認証を実施した日時を“YYYY/MM/DD HH:MM:SS”形式で出力されます。
設定ユーザーID	Web公開/受取フォルダ設定を実施したユーザーIDが出力されます。
所属ドメイン	ユーザーIDの『@』以降が出力されます。
メールアドレス	メール認証機能を利用した場合、ワンタイムパスワード取得のために送信したメールアドレスが出力されます。
公開対象	Web公開/受取フォルダ設定を行ったファイル/フォルダがフルパスで出力されます。
Web公開アドレス	アクセスしたWeb公開アドレスが出力されます。 ※『https://kfs.kddi.ne.jp/public/』以下のランダムな文字列が出力されます。 例) FVYoQA4IXIXAGr8B0ANJSkyeEZ0f4nl6piXIXLNmVCYX
リターンコード	Web公開アドレスに ログイン成功した場合は“0”、失敗した場合は“1”が出力され ます。
メッセージ	Web公開アドレスへログイン実施時、リターンコードに対応するメッセージが出力され ます。 ※出力されるメッセージは別表の『メッセージ一覧』に記載しています。
接続元IPアドレス	Web公開アドレスにアクセスしたユーザーの接続元IPが出力されます。 ※プロキシサーバなどを經由し、かつX-Forwarded-Forヘッダに接続元IPアドレスが含 まれている場合は、“接続元IPアドレス,プロキシサーバのIPアドレス”の形式で出力さ れます。
接続サーバID	システム運用上、冗長化しているサーバの、どのサーバへのアクセスかを示してい ますが、ご利用者さまは意識する必要はありません。

・メッセージ一覧

メッセージ	説明
Authentication succeeded	認証に成功した場合に出力されます。 ※メール認証機能利用時のみ出力されます。
Password generated	ワンタイムパスワードを生成したした場合に出力されます。 ※メール認証機能利用時のみ出力されます。
Authentication failed	認証に失敗した場合に出力されます。 パスワードを正しく入力しているかご確認ください。

メッセージ	説明
Account locked	認証に規定回数(※)失敗し、システムが自動でWeb公開/受取フォルダを停止した場合に出力されます。 ※システム設定-パスワードポリシー-Web公開パスワードポリシー/受取フォルダパスワードポリシー内の”公開停止までのパスワードロック回数”で設定した回数です。
No such user	ワンタイムパスワード取得のために入力したメールアドレスが『公開先メールアドレス』に存在しない場合に出力されます。 ※メール認証機能利用時のみ出力されます。

例) ユーザーID『user01@example.co.jp』がWeb公開したURLに、公開先メールアドレスに設定したメールアドレス『guest@example.com』のユーザーが2013/2/27 14:40に、IPアドレスxx.xx.xx.xxの環境から、発行されたワンタイムパスワードを利用してログインに成功した場合

```

"2012/09/22 16:51:46","user01@example.co.jp","example.co.jp"," guest@example.com ","/example.co.
jp/user01/Web 公開フォルダ","g63cwARmGQYAu2kB0no5Pi4UqKyp13O7qHtZlciel6wr","0","Authentica
tion succeeded","xx.xx.xx.xx","Server1"
    
```

6.5.8 Web公開ダウンロードログ

Web公開アドレスからファイルがダウンロードされた際の情報が出力されます。

※ダウンロード途中でキャンセルしたファイルに関しては『ダウンロードログ』には記録されますが、本ログには記録されませんのでご注意ください。

・出力フォーマット

“Web公開ダウンロード日時”, “設定ユーザーID”, “所属ドメイン”, “ファイルサイズ”, “ファイル名”, “Web公開アドレス”, “接続元IPアドレス”, “[メール認証情報/ダウンロードユーザー情報]”, “接続サーバID”

・出力項目詳細

項目	解説
Web公開ダウンロード日時	Web公開アドレスからダウンロードを実施した日時が“YYYY/MM/DD HH:MM:SS”形式で出力されます。
設定ユーザーID	Web公開設定を実施したユーザーIDが出力されます。
所属ドメイン	ユーザーIDの『@』以降が出力されます。
ファイルサイズ	Web公開アドレスからダウンロードを実施したファイルのサイズがバイト単位で出力されます。
ファイル名	Web公開アドレスからダウンロードを実施したファイル名がフルパスで出力されます。
Web公開アドレス	アクセスしたWeb公開アドレスが出力されます。 ※『https://kfs.kddi.ne.jp/public/』以下のランダムな文字列が出力されます。 例) FVYoQA4IXIXAGr8B0ANJSkyeEZ0f4nl6piXIXLnmVCYX
接続元IPアドレス	Web公開アドレスからダウンロードを実施したユーザーの接続元IPアドレスが出力されます。 ※プロキシサーバなどを経由し、かつX-Forwarded-Forヘッダに接続元IPアドレスが含まれている場合は、“接続元IPアドレス,プロキシサーバのIPアドレス”の形式で出力されます。
メール認証情報	メール認証機能有効時のみ出力されます。出力形式は、“public_mauth_mailaddress”, “ワンタイムパスワード取得時に入力したメールアドレス”です。
ダウンロードユーザー情報	Web公開承認機能有効時かつ、承認者が承認を行う前に公開URLからファイルをダウンロードした場合のみ出力されます。出力形式は、“user_id”, “ダウンロードを実施したユーザーID”です。
接続サーバID	システム運用上、冗長化しているサーバの、どのサーバへのアクセスかを示していますが、ご利用者さまは意識する必要はありません。

例) ユーザーID『user01@example.co.jp』が設定した約96KBのWeb公開ファイル『/example.co.jp/user01/IMG_0529.PNG』（公開URL『https://kfs.kddi.ne.jp/public/QKoYwAwdj4zANg8BablR455CHsPkXvlQSLfJWhF3IfcG』）が、2015/11/26 17:24に、IPアドレスxx.xx.xx.xxの環境からダウンロードされた場合。

```
“2015/11/26 17:24:17”, “user01@example.co.jp”, “example.co.jp”, “96775”, “/example.co.jp/user01/IMG_0529.PNG”, “QKoYwAwdj4zANg8BablR455CHsPkXvlQSLfJWhF3IfcG”, “xx.xx.xx.xx”, “Server1”
```

6.5.9 Web公開アップロードログ

Web公開アドレス(受取フォルダ)へファイルをアップロードした際の情報が出力されます。

・出力フォーマット

“日時”, “設定ユーザーID”, “所属ドメイン”, “ファイルサイズ”, “ファイル名”, “Web公開アドレス”, “接続元IPアドレス”, “[メール認証情報]”, “接続サーバID”

・出力項目詳細

項目	解説
日時	Web公開アドレスへアップロードを実施した日時が“YYYY/MM/DD HH:MM:SS”形式で出力されます。
設定ユーザーID	受取フォルダ設定を実施したユーザーIDが出力されます。
所属ドメイン	ユーザーIDの『@』以降が出力されます。
ファイルサイズ	Web公開アドレスへアップロードを実施したファイル/フォルダのサイズがバイト単位で出力されます。
ファイル名	Web公開アドレスへアップロードを実施したファイル名がフルパスで出力されます。
Web公開アドレス	アクセスしたWeb公開アドレスが出力されます。 ※『https://kfs.kddi.ne.jp/public/』以下のランダムな文字列が出力されます。 例) FVYoQA4IXIXAGr8B0ANJSkyeEZ0f4nl6piXIXLNmVCYX
接続元IPアドレス	Web公開アドレスへアップロードを実施したユーザーの接続元IPアドレスが出力されます。 ※プロキシサーバなどを経由し、かつX-Forwarded-Forヘッダに接続元IPアドレスが含まれている場合は、“接続元IPアドレス,プロキシサーバのIPアドレス”の形式で出力されます。
メール認証情報	メール認証機能有効時のみ出力されます。出力形式は、“public_mauth_mailaddress”, “ワンタイムパスワード取得時に入力したメールアドレス”です。
接続サーバID	システム運用上、冗長化しているサーバの、どのサーバへのアクセスかを示していますが、ご利用者さまは意識する必要はありません。

例) ユーザーID『user01@example.co.jp』が設定した受取フォルダ『/example.co.jp/user01/受取用』(公開URL『https://kfs.kddi.ne.jp/public/ LKdwwAUdYkzAwmwBaoVRqjNCdLPpLhKgagrqcI0NhGoZ』)に、2015/11/26 17:30に、IPアドレスxx.xx.xx.xxの環境から、約280KBの『test.pdf』が、アップロードされた場合。

“2015/11/26 17:30:25”, “admin@example.co.jp”, “example.co.jp”, “287741”, “/example.co.jp/user01/受取用/test.pdf”, “LKdwwAUdYkzAwmwBaoVRqjNCdLPpLhKgagrqcI0NhGoZ”, “xx.xx.xx.xx”, “Server1”

6.5.10 アクティベーションログ

Windows・iOS・Androidアプリケーションで端末認証を利用しているユーザーのアクティベーション関連の情報が出力されます。

・出力フォーマット

“日時”, “操作内容”, “実行ユーザーID”, “所属ドメイン”, “接続元IPアドレス”, “端末種別”, “端末ID”, “端末IDのユーザーID”, “接続サーバID”

・出力項目詳細

項目	解説
日時	アクティベーション関連の操作が実施された日時が“YYYY/MM/DD HH:MM:SS”形式で出力されます。
操作内容	実施したアクティベーション関連の操作内容が出力されます。 ※出力する種類は別表の『操作内容一覧』に記載しています。
実行ユーザーID	操作を実行したユーザーIDが出力されます。
所属ドメイン	ユーザーIDの『@』以降が出力されます。
接続元IPアドレス	操作を実施したユーザーの接続元IPアドレスが出力されます。 ※プロキシサーバなどを経由し、かつX-Forwarded-Forヘッダに接続元IPアドレスが含まれている場合は、“接続元IPアドレス,プロキシサーバのIPアドレス”の形式で出力されます。
端末種別	クライアントの種類が以下のコードで出力されます。 20:Windowsアプリ 40:iOSアプリ 50:Androidアプリ ※管理者が『ユーザー管理』画面で、該当ユーザーの端末認証をオフにした場合やユーザー情報を削除した場合は、“”として出力されます。
端末ID	クライアントアプリの端末ID ※管理者が『ユーザー管理』画面で、該当ユーザーの端末認証をオフにしたり、ユーザー情報を削除した場合は、“”として出力されます。
端末IDのユーザーID	該当の端末IDを利用しているユーザーIDが出力されます。
接続サーバID	システム運用上、冗長化しているサーバの、どのサーバへのアクセスかを示していますが、ご利用者さまは意識する必要はありません。

・操作内容一覧

操作内容	説明
アクティベート開始	端末認証の設定がされたユーザーが利用する端末で初めてログインし、サーバ側に端末IDが登録された場合に出力されます。
アクティベート再開	管理者が『端末管理』画面で、アクティベートステータスが『停止中』の端末を『再開』させた時に出力されます。
アクティベート削除	管理者が『端末管理』画面で、アクティベート済の端末IDを削除した場合に出力されます。
アクティベート削除 (自動処理)	管理者が『ユーザー管理』画面で、アクティベート済のユーザー情報を削除した場合や、アクセス制限設定で、端末認証をオフにした場合に出力されます。

操作内容	説明
アクティベート停止	管理者が『端末管理』画面で、アクティベートステータスが『停止』した場合に出力されます。
リモート消去指示	管理者が『端末管理』画面で、リモート消去の指示を実施した場合に出力されます。
リモート消去取消	管理者が『端末管理』画面で、『リモート消去ステータス』が『指示中』の端末について、リモート消去の指示を『取消』処理した場合に出力されます。
リモート消去実行	管理者が『端末管理』画面で、リモート消去の指示をしたiOS/Android端末のアプリが起動し、リモート消去が実行された場合に出力されます。

※アクティベーションに失敗した場合は、本ログには出力されません。ログインログに出力されます。

例) ユーザーID『user01@example.co.jp』が、2015/11/25 12:35に、IPアドレスxx.xx.xx.xxの環境から、端末ID『KFS_40TJzWSq6DSeuZF4DMjpAt2g』のiOSアプリから初めてログインし、アクティベーションを行った場合。

```
"2015/11/25 12:35:25","アクティベート開始","user01@example.co.jp","example.co.jp","xx.xx.xx.xx","40","KFS_40TJzWSq6DSeuZF4DMjpAt2g","user01@example.co.jp","Server1"
```

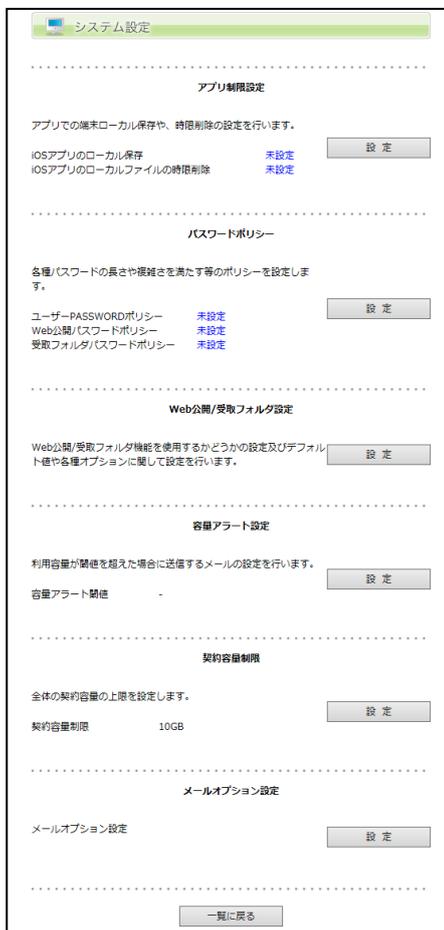
7 システム設定をする

「KDDI ファイルストレージ」のシステム設定をすることができます。

メニューの『システム設定』をクリックします。



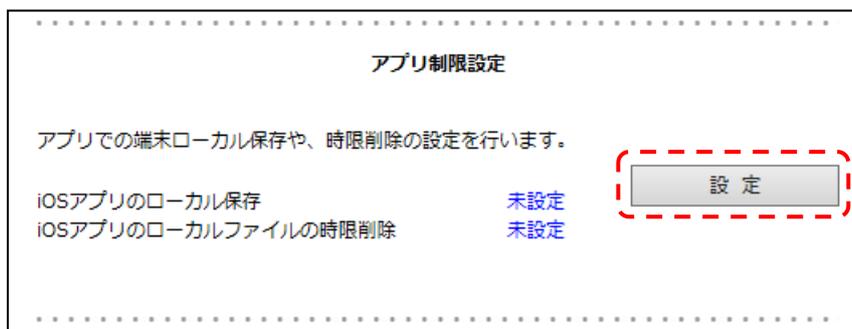
システム設定にて、設定できる項目は以下の通りです。



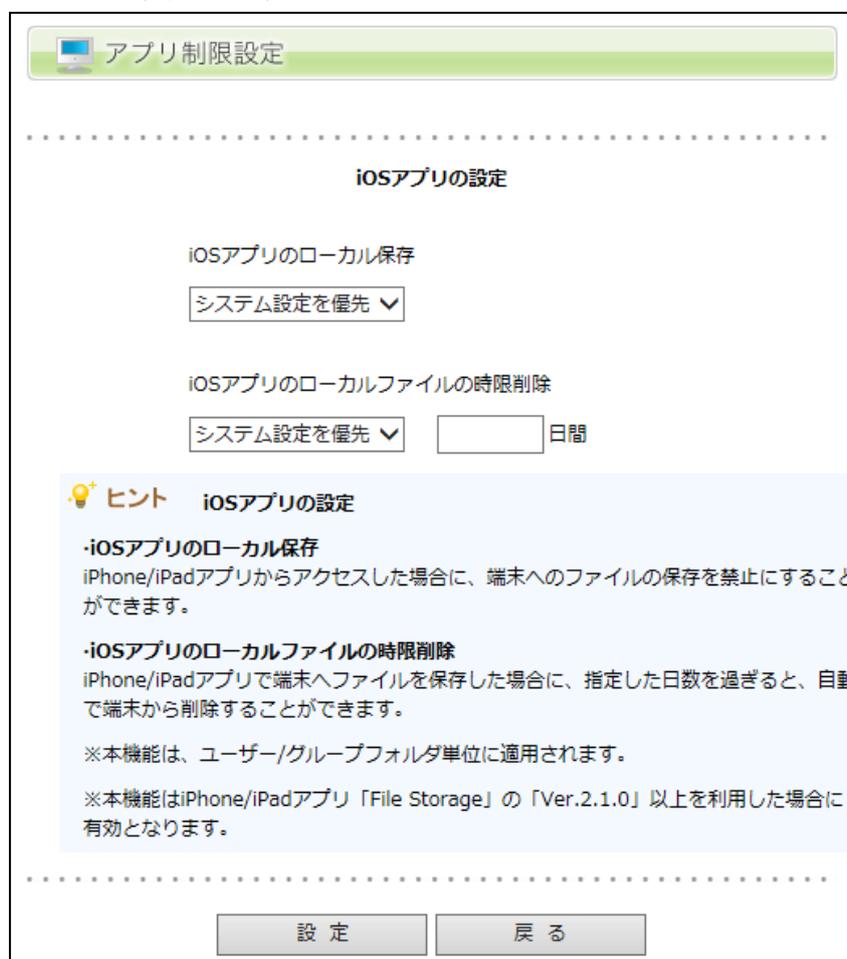
- ・アプリ制限設定
- ・パスワードポリシー
- ・Web公開/受取フォルダ設定
- ・容量アラート設定
- ・契約容量制限 または、契約プラン設定

7.1 アプリ制限設定を設定する

システム設定画面のアプリ制限設定の<設定>ボタンをクリックします。



下図のようにiOSアプリの設定画面が表示されます。



iOSアプリでアクセスした場合に、端末へのファイルの保存を禁止にする設定や、端末に保存したファイルを指定した日数を経過後に自動で削除する設定を行うことができます。

ここで行った設定は、『ユーザー管理』、『グループ管理』で設定するユーザー/グループの『フォルダオプション』>『アプリ制限設定』が『システム設定を優先』として設定されているユーザー/グループに適用されます。

※本機能はiPhone/iPadアプリ『File Storage』の『Ver.2.1.0』以上を利用した場合に有効となります。

<iOSアプリのローカル保存>

iPhone/iPadアプリからアクセスした場合に、端末へのファイルの保存を禁止にすることができます。

選択肢	解説
システム設定を優先	『許可』と同様の動作となります。
禁止	ユーザー/グループフォルダ配下のファイルについて、iOSアプリで、端末のローカルフォルダへの保存を禁止にします。また、ほかのアプリケーションへファイルを渡すこともできなくなります。
許可	ユーザー/グループフォルダ配下のファイルについて、iOSアプリで、端末のローカルフォルダへの保存を許可にします。

<iOSアプリのローカルファイルの時限削除>

iPhone/iPadアプリで端末へファイル/フォルダを保存した場合に、指定した日数を過ぎると、自動で端末から削除することができます。

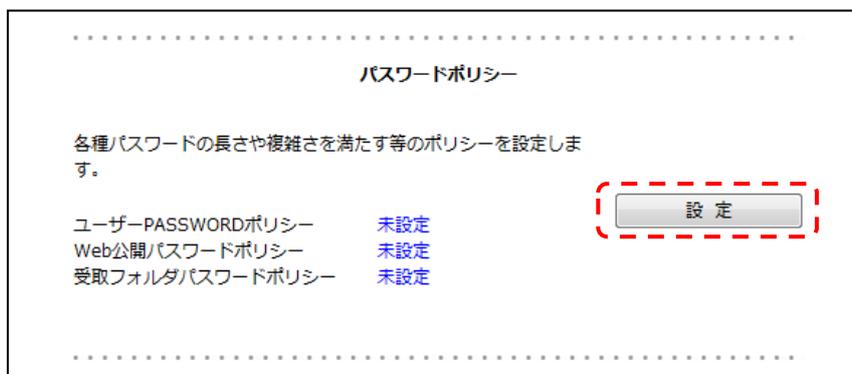
選択肢	解説
システム設定を優先	『無期限』と同様になります。
設定	<p>ユーザー/グループフォルダ配下のファイル/フォルダについて、iOSアプリのローカルフォルダへの保存した場合に、ここで指定した日数を経過後にアプリを起動すると、自動で該当のファイル/フォルダを削除することができます。</p> <p>※フォルダは、該当フォルダが空になった場合に、削除されます。</p> <p>※1日間＝24時間で計算されます。 例) 設定、3日間と設定した場合 2015/12/10 14:30にファイルをダウンロードすると、2015/12/13 14:30以降にアプリケーションを起動すると該当のファイル/フォルダが自動で削除されます。</p> <p>※アプリケーションのローカルフォルダにダウンロードした後に、本設定をしても、アプリケーション側には反映されません。本設定後に、ダウンロードしたファイル/フォルダが対象となります。</p> <p>※時限が設定されたローカルフォルダ内のファイル/フォルダにはアイコンに時計マークが付与されます。</p> 

選択肢	解説
	<p>また、該当ファイルの『詳細』画面から削除予定日を確認することもできます。(項目名: 時限ファイル)</p>  <p>The screenshot shows a mobile interface for file details. At the top, there is a back arrow and the title 'ファイル一覧'. Below this, there are sections for 'バス情報' (Bus info) and 'プロパティ' (Properties). The 'バス情報' section includes '名前' (Name) as 'IMG_1236.JPG' and 'パス' (Path) as '/IMG_1236.JPG'. The 'プロパティ' section includes 'ファイルサイズ' (File size) as '918.69KB (940,742/バイト)', '作成日時' (Created at) as '2015/10/16 19:56:12', and '更新日時' (Updated at) as '2015/10/16 19:56:12'. At the bottom, there is a '時限ファイル' (Time-limited file) section with a deletion date of '2015/11/28 09:59:41', which is enclosed in a red dashed box.</p>
無期限	iOSアプリのローカルフォルダに保存しても自動で削除しない場合はこちらを選択します。

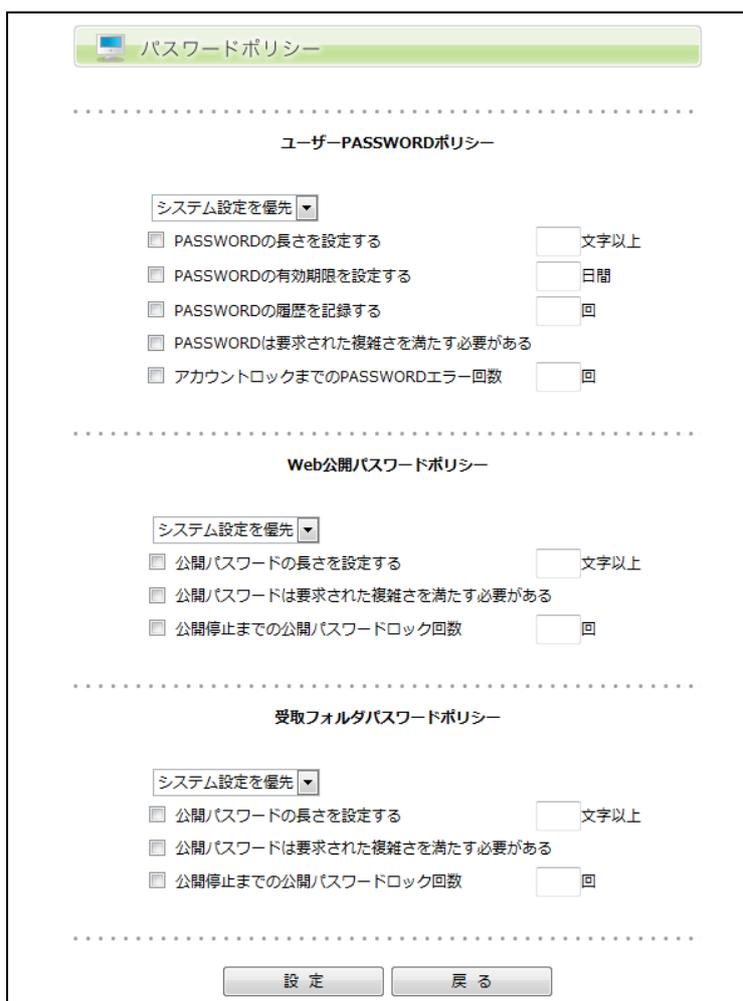
※『iOSアプリのローカル保存』を『禁止』に設定した場合は、『iOSアプリのローカルファイルの時限削除』を設定しても、有効に機能しません。

7.2 パスワードポリシーを設定する

システム設定画面のパスワードポリシーの<設定>ボタンをクリックします。



下図のようにパスワードポリシーの設定画面が表示されます。



『ユーザーパスワードポリシー』『Web公開パスワードポリシー』『受取フォルダパスワードポリシー』の3種類のパスワードの設定が可能です。

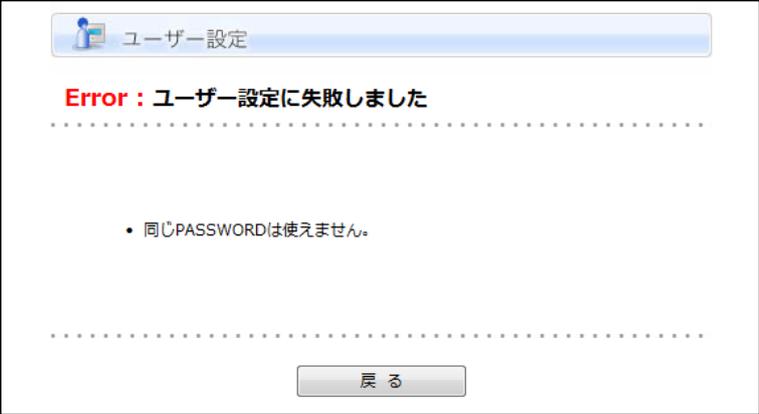
それぞれの入力項目について、解説をします。

<ユーザーパスワードポリシー>

ここではユーザーID、パスワードで「KDDI ファイルストレージ」にログインする際のパスワードのポリシーを設定します。

各項目の解説をします。

項目名	解説
システム設定を優先/設定	<p>『システム設定を優先』を選択した場合のパスワードポリシーは以下になります。(初期設定)</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・PASSWORDの長さを設定する : 8文字以上 ・PASSWORDの有効期限を設定する : 設定なし ・PASSWORDの履歴を記録する : 設定なし ・PASSWORDは要求された複雑さを満たす必要がある : 設定なし ・アカウントロックまでのPASSWORDエラー回数 : 100回 <hr/> <p>『設定』を選択すると、ここで設定した内容が反映されます。</p>
PASSWORDの長さを設定する	<p>設定された文字数以上の入力が必要となります。</p>
PASSWORDの有効期限を設定する	<p>パスワードに有効期限を設定することができます。</p> <p>※ 有効期限を過ぎた後に、Web画面にログインすると、以下のようなパスワードの変更を促す画面が表示されます。</p> <div data-bbox="555 1167 1323 1556" style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;">  </div> <p>※ユーザー登録後の初回ログイン時もパスワードの変更を求めます。</p> <p>※既に登録済のユーザーが存在する場合に、本設定を行うと、その直後のログイン時からパスワードの変更を求めます。</p> <p>※サービスの開始時にKDDIが発行した管理者IDはここで設定するパスワードの有効期限の影響は受けません。</p>

<p>PASSWORDの履歴を記録する</p>	<p>ユーザーによるパスワード変更の際に、指定した回数の間、同じパスワードの設定ができなくなります。</p> <p>※ ユーザーが同じパスワードを設定しようとすると、以下のようなエラー画面が表示されます。</p> <div data-bbox="560 365 1319 779" style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;">  </div>
<p>PASSWORDは要求された複雑さを満たす必要がある。</p>	<p>『英大文字』、『英小文字』、『数字』、『記号』の中から3つの文字を使うことが必須となります。</p> <p>※使用できない記号は以下の5つとなります。 < > ‘ “ &</p> <p>※使用できる文字はすべて半角です。</p>
<p>アカウントロックまでのPASSWORDエラー回数</p>	<p>ログインする際に、指定した回数を間違えた場合はアカウントがロックされ、ログインができなくなります。</p> <p>※ロックの解除は管理者のみ可能です。</p> <p>※管理者もパスワードを間違えた場合は同様にロックされます。 その場合は、ほかの管理者でロックの解除(再開処理)をする必要がありますが、管理者アカウントが1つしかない場合は、KDDIまで、ご連絡ください。</p>

<Web公開パスワードポリシー>

ここでは各ユーザーがファイル/フォルダをWeb公開する際のパスワードのポリシーを設定します。

設定項目の解説

項目名	解説
システム設定を優先/設定	<p>『システム設定を優先』を選択した場合のパスワードポリシーは以下になります。(初期設定)</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・公開パスワードの長さを設定する:8文字以上 ・公開パスワードは要求された複雑さを満たす必要がある:設定なし ・公開停止までの公開パスワードエラー回数 :100回 <hr/> <p>『設定』を選択すると、ここで設定した内容が反映されます。</p>
公開パスワードの長さを設定する	<p>設定された文字数以上の入力が必要となります。</p>
公開パスワードは要求された複雑さを満たす必要がある。	<p>『英大文字』『英小文字』『数字』『記号』の中から3つの文字を使うことが必須となります。</p> <p>※使用できない記号は以下の5つとなります。 < > ‘ “ &</p> <p>※使用できる文字はすべて半角です。</p>
公開停止までの公開パスワードロック回数	<p>Web公開URLにアクセスしてパスワードを入力する際に、24時間以内に同一IPアドレスの環境から、ここで指定した回数を連続で間違えると公開が自動で停止されます。</p> <p>また、これにより公開が停止されると、Web公開の設定をしたユーザーに下記のようなメールが送信されます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>送信者: KDDI ファイルストレージ<support@kfs.kddi.ne.jp> 件名: Web 公開が自動停止しました。 本文: Web 公開ファイル/フォルダに対して、誤ったパスワードでのアクセスが規定の回数以上連続で発生したため、Web 公開を自動的に停止しました。</p> <hr/> <p>公開停止日時 : 2012/04/26 11:01:17 ファイル/フォルダ : /example.co.jp/test1/テスト アクセス元 : xx.xx.xx.xx</p> <hr/> <p>※本メールには返信しないでください。</p> </div>

<受取フォルダパスワードポリシー>

ここでは受取フォルダに設定するパスワードのポリシーを設定します。

設定項目の解説

項目名	解説
システム設定を優先/設定	<p>『システム設定を優先』を選択した場合のパスワードポリシーは以下になります。(初期設定)</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・公開パスワードの長さを設定する : 8文字以上 ・公開パスワードは要求された複雑さを満たす必要がある: 設定なし ・公開停止までの公開パスワードエラー回数 : 設定なし <hr/> <p>『設定』を選択すると、ここで設定した内容が反映されます。</p>
公開パスワードの長さを設定する	<p>設定された文字数以上の入力が必要となります。</p>
公開パスワードは要求された複雑さを満たす必要がある。	<p>『英大文字』『英小文字』『数字』『記号』の中から3つの文字を使うことが必須となります。</p> <p>※使用できない記号は以下の5つとなります。 < > ‘ “ &</p> <p>※使用できる文字はすべて半角です。</p>
公開停止までの公開パスワードロック回数	<p>受取フォルダの公開URLにアクセスしてパスワードを入力する際に、24時間以内に同一IPアドレスの環境から、ここで指定した回数を連続で間違えると公開が自動で停止されます。</p> <p>また、これにより公開が停止されると、受取フォルダの設定をしたユーザーに下記のようなメールが送信されます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>送信者: KDDI ファイルストレージ<support@kfs.kddi.ne.jp> 件名: 受取フォルダの公開が自動停止しました。 本文: 受取フォルダに対して、誤ったパスワードでのアクセスが規定の回数以上連続で発生したため、Web 公開を自動的に停止しました。</p> <hr/> <p>公開停止日時: 2012/04/26 11:01:17 フォルダ : /example.co.jp/test1/テスト アクセス元 : xx.xx.xx.xx</p> <hr/> <p>※本メールには返信しないでください。</p> </div>

7.3 Web公開/受取フォルダ設定をする

システム設定画面の『Web公開/受取フォルダ設定』の<設定>ボタンを押下しますと、下記の画面が表示されます。ここでは、Web公開/受取フォルダに関する各種設定を行うことができます。

 Web公開/受取フォルダ設定

Web公開設定

Web公開を使用するかどうかの設定及び承認機能、メール認証に関して設定をおこないます。

Web公開	システム設定を優先	設定
Web公開承認	設定	
メール認証	設定	

Web公開のデフォルト設定

Web公開を行う際の初期設定及び設定値を強制するかどうかの設定を行います。

デフォルト設定	システム設定を優先	設定
---------	-----------	----

受取フォルダ設定

受取フォルダを使用するかどうかの設定及びメール認証に関して設定を行います。

受取フォルダ	システム設定を優先	設定
メール認証	システム設定を優先	

受取フォルダのデフォルト設定

受取フォルダを指定する際の初期設定及び設定値を強制するかどうかの設定を行います。

デフォルト設定	システム設定を優先	設定
---------	-----------	----

7.3.1 Web公開設定について

『Web公開/受取フォルダ設定』画面にて、『Web公開設定』の<設定>を押下しますと、下記の画面が表示されます。ここでは、Web公開に関する各種設定ができます。

Web公開設定

Web公開

システム設定を優先 ▼

Web公開を利用する

URLの長さ 文字 *必須入力

Web公開一覧にメールクライアントを開くアイコンを表示する

Web公開承認の設定

システム設定を優先 ▼

Web公開は承認を必要とする

利用者が承認を必要とするかを選択可能にする

自分自身の承認を禁止する

 **ヒント** Web公開の承認

Web公開の承認機能を使用すると承認者の承諾なしにWeb公開でファイルを受渡ことができなくなります。Web公開の承認機能を使用するには承認者が必要です。ユーザーにWeb公開の承認権限を付与して承認者を作成してください。Web公開の承認機能を使用する場合、フォルダをWeb公開することができなくなります。

Web公開メール認証の設定

システム設定を優先 ▼

メール認証を利用する

メール認証の利用を強制する

公開先メールアドレスを制限しないメール認証を利用可能にする

ワンタイムパスワードポリシー

パスワード桁数 桁 *必須入力

パスワードに使用する文字 小文字 大文字 数字

7.3.1.1 Web公開について

Web公開機能の利用やWeb公開用のURLの長さを設定することができます。

Web公開

システム設定を優先 ▼

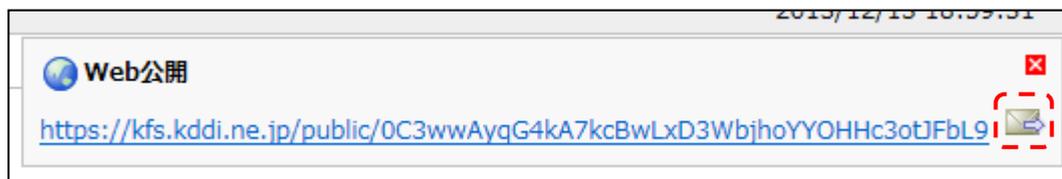
Web公開を利用する

URLの長さ 文字 *必須入力

Web公開一覧にメールクライアントを開くアイコンを表示する

以下に設定項目の解説をします。

項目名	解説
システム設定を優先/設定	<p>『システム設定を優先』を選択した場合の設定は以下になります。 (初期設定)</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・Web公開を利用する : 利用する ・URLの長さ : 44文字 ・Web公開一覧にメールクライアントを開くアイコンを表示する : 表示する <hr/> <p>『設定』を選択すると、ここで設定した内容が反映されます。</p>
Web公開を利用する	<p>チェックを外すと、Web公開機能の利用を停止することができます。 (新規のWeb公開が不可となります。)</p>
URLの長さ	<p>公開URLの長さ(『https://kfs.kddi.ne.jp/public/~』以下の文字数)を15～44文字までの長さで設定することができます。</p>
Web公開一覧にメールクライアントを開くアイコンを表示する	<p>『ファイル一覧』や『Web公開一覧』画面で、公開URLを表示した際に、クリックするとメールソフトが起動するアイコンを表示するかどうか設定が可能です。(以下の画像参照)</p>



7.3.1.2 Web公開承認の設定について

ファイルのWeb公開に、承認フローを追加することができます。

Web公開承認の設定

システム設定を優先 ▼

- Web公開は承認を必要とする
- 利用者が承認を必要とするかを選択可能にする
- 自分自身の承認を禁止する

ヒント Web公開の承認

Web公開の承認機能を使用すると承認者の承諾なしにWeb公開でファイルを受渡ことができなくなります。Web公開の承認機能を使用するには承認者が必要です。ユーザーにWeb公開の承認権限を付与して承認者を作成してください。Web公開の承認機能を使用する場合、フォルダをWeb公開することができなくなります。

以下に設定項目の解説をします。

項目名	解説
システム設定を優先/設定	[システム設定を優先] Web公開承認機能はOFFとなります。 [設定] これを選択し、次の『Web公開は承認を必要とする』にチェックを入れるとWeb公開承認機能がONになります。
Web公開は承認を必要とする	前項目で『設定』を選択し、本項目でチェックを入れると、Web公開承認機能がONになります。
利用者が承認を必要とするかを選択可能にする	Web公開者がWeb公開時に承認を必要とするかどうか選択できるようになります。
自分自身の承認を禁止する。	チェックを入れると、自分自身で設定したWeb公開URLは承認の権限があっても、自分で承認することはできなくなります。

※各ユーザーの承認者や承認グループ、ユーザーへの承認権限の付与は『ユーザー管理』画面で行います。

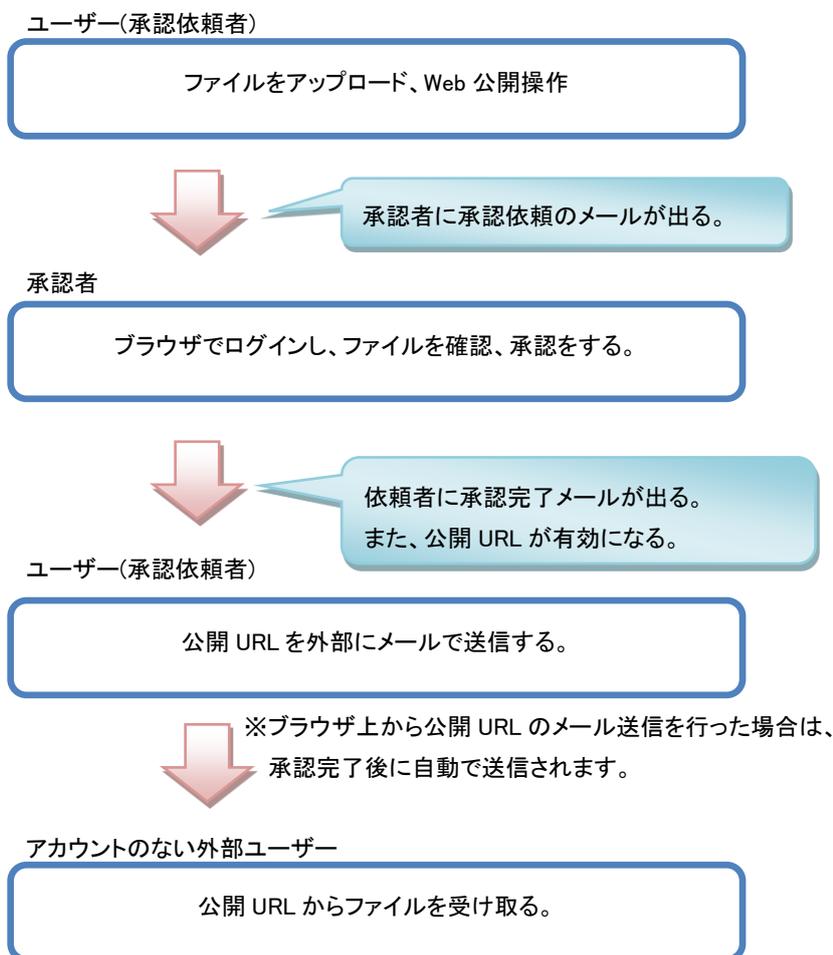
※受取フォルダに承認は必要ありません。

注意

本機能を利用しますと、フォルダのWeb公開ができなくなります。

<Web公開承認のフロー>

承認のフローは以下の通りです。



※承認が拒否された場合も通知メールは送信されます。

<注意事項>

- 承認者には、承認の権限を付与する必要があります。これはユーザー登録/更新画面の『許可』欄で、『Web公開承認』にチェックを入れます。画面イメージは本マニュアルの『2.1 ユーザーを登録する』をご確認ください。
- 承認依頼者の承認者/承認グループを登録するには、ユーザー登録/更新画面の『Web公開承認担当ユーザー/グループ』欄で設定をします。画面イメージは本マニュアルの『2.1 ユーザーを登録する』をご確認ください。
- 承認グループに所属していても、該当ユーザーに承認の権限がなければ、承認はできません。
- ユーザーにメールアドレスの設定がされていないと、承認依頼/承認完了の通知メールは送信されません。メールを利用しない運用を行う場合は、承認者は『Web公開一覧』画面で承認待ちの公開URLを探して承認/拒否の操作を行います。この場合、承認者は該当のファイルを開覧できる必要があります。
- 承認依頼、完了メールの内容や承認時の画面イメージは別紙『ユーザーズガイド』をご確認ください。

7.3.1.3 Web公開メール認証の設定について

Web公開のメール認証機能を利用する場合は、ここで設定をします。

Web公開メール認証の設定

システム設定を優先 ▼

メール認証を利用する

メール認証の利用を強制する

公開先メールアドレスを制限しないメール認証を利用可能にする

ワンタイムパスワードポリシー

パスワード桁数 桁 *必須入力

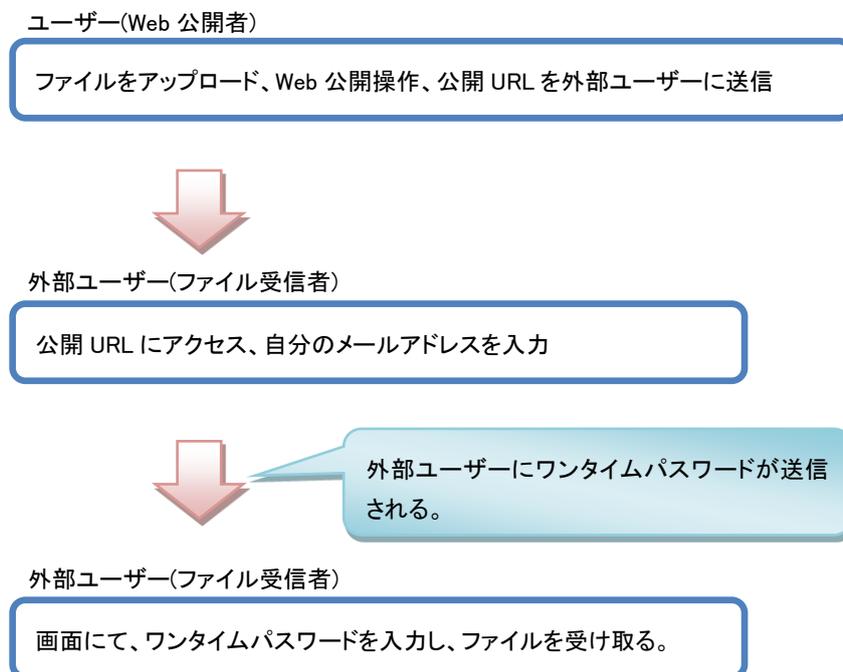
パスワードに使用する文字 小文字 大文字 数字

以下に設定項目の解説をします。

項目名	解説
システム設定を優先/設定	<p>[システム設定を優先] Web公開メール認証機能はOFFとなります。</p> <p>[設定] これを選択し、次の『Web公開はメール認証を必要とする』にチェックを入れるとWeb公開メール認証がONになります。</p>
メール認証を利用する	チェックを入れると、メール認証機能が利用可能になります。
メール認証の利用するを強制する	<p>本項目にチェックを入れることで、Web公開時のメール認証を必須にすることができます。</p> <p>また、ユーザーのWeb公開の設定画面にて、『公開パスワード』の欄が非表示となります。(『システム設定』>『Web公開/受取フォルダ設定』>『Web公開のデフォルト設定』にて、『公開パスワードを非表示にする』にチェックが入ります。)</p>
公開先メールアドレスを制限しないメール認証を利用可能にする	<p>チェックを入れると、誰でも(どのメールアドレスでも)ワンタイムパスワードが取得可能になります。</p> <p>ワンタイムパスワードの送信先をユーザーが設定したメールアドレスだけに限定したい場合は、チェックを外します。</p>
パスワード桁数	ユーザーに自動送付されるワンタイムパスワードの桁数を1~50桁まで設定することができます。
パスワードに使用する文字	『小文字』、『大文字』、『数字』から最低、1つ選択する必要があります。

<『Web公開メール認証』のフロー>

フローは以下の通りです。



<『Web公開メール認証』のメリット>

- ・外部ユーザー(ファイル受信者)がワンタイムパスワードを取得する際に自分のメールアドレスを入力するため、『誰が』ファイルをダウンロードしたのか、ログ(Web公開ダウンロードログ)や通知メールから確認することが可能となります。
- ・Web公開のパスワードを自分で設定する手間が省けます。

※『Web公開メール認証』の操作画面、その他詳細については『ユーザーズガイド』をご確認ください。

7.3.2 Web公開のデフォルト設定について

ユーザーのWeb公開設定画面の初期値を設定することができます。

Web公開のデフォルト設定

Web公開のデフォルト設定

システム設定を優先 ▼

メール認証を利用する

公開先メールアドレスを制限する

ダウンロード回数制限 回まで

ダウンロード回数制限を強制する

公開期限 日間

公開期限を強制する

公開パスワード

公開パスワードを強制する

公開パスワードを非表示にする

ダウンロードされたらメールで通知

ダウンロードされたらメールで通知を強制する

サブフォルダ非表示

非表示を強制する

公開後に公開用アドレスをメール送信する

メール送信を強制する

以下に設定項目の解説をします。

項目名	解説
システム設定を優先/設定	<p>『システム設定を優先』を選択した場合の設定は以下になります。 (初期設定)</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・メール認証を利用する :チェックなし ・公開先メールアドレスを制限する :チェックあり ・ダウンロード回数制限 :チェックなし、設定なし ・ダウンロード回数制限を強制する :チェックなし ・公開期限 :チェックなし、設定なし ・公開期限を強制する :チェックなし ・公開パスワード :チェックあり ・公開パスワードを強制する :チェックなし ・公開パスワードを非表示にする :チェックなし ・ダウンロードされたらメールで通知 :チェックなし ・ダウンロードされたらメールで通知を強制する :チェックなし ・サブフォルダ非表示 :チェックなし ・非表示を強制する :チェックなし ・公開後に公開用アドレスをメール送信する :チェックなし ・メール送信を強制する :チェックなし <hr/> <p>『設定』を選択すると、ここで設定した内容が反映されます。</p>
メール認証を利用する	<p>チェックをすると、『メール認証を利用する』にデフォルトでチェックが入ります。 ※『Web公開メール認証』機能を利用時に有効な設定です。</p>
公開先メールアドレスを制限する	<p>チェックをすると、『公開先メールアドレスを制限する』にデフォルトでチェックが入ります。 ※『Web公開メール認証』機能の利用時で、かつ、『公開先メールアドレスを制限しない』設定で利用している場合に有効な設定です。</p>
ダウンロード回数制限	<ul style="list-style-type: none"> ・チェックを入れると、『ダウンロード回数制限』にデフォルトでチェックが入ります。 ・任意の数字を入力することで、デフォルトのダウンロード回数を指定することができます。(ここで設定した回数はWeb公開時に変更することが可能です。)
ダウンロード回数制限を強制する	<p>チェックを入れるとダウンロード回数制限の設定を必須にすることができます。</p> <p>※管理者は、この設定がされていても、ダウンロード回数を設定しないでWeb公開をすることができます。ただし、管理者でもダウンロード回数を指定してWeb公開をする場合は、『ダウンロード回数制限』以上の回数を設定することはできません。</p>

公開期限	<ul style="list-style-type: none"> ・チェックを入れると、デフォルトで『公開期限』にチェックが入ります。 ・任意の数字を入力することで、デフォルトのWeb公開期限の日数を設定することができます。(ここで設定した期限はWeb公開時にユーザーで変更することが可能です。)
公開期限を強制する	<p>チェックを入れると、公開期限の設定を必須にすることができます。</p> <p>※サービスの開始時にKDDIが発行した管理者IDは、この設定がされていても、公開期限を設定しないで、公開をすることができます。</p>
公開パスワード	<p>チェックを入れると、デフォルトで『公開パスワード』にチェックが入った状態になります。(チェックはユーザーで外すことができます。)</p>
公開パスワードを強制する	<p>チェックを入れると、公開パスワードの設定を必須にすることができます。</p> <p>※管理者は、この設定がされていても、パスワードを設定しないでWeb公開をすることができます。</p>
公開パスワードを非表示にする	<p>チェックを入れると、公開パスワードの入力欄を非表示にすることができます。</p>
ダウンロードされたらメールで通知	<p>チェックを入れると、デフォルトで『ダウンロードされたらメールで通知』にチェックが入った状態になります。</p>
ダウンロードされたらメールで通知を強制する	<p>チェックを入れると、『ダウンロードされたらメールで通知』のチェックを必須にすることができます。</p> <p>※管理者は、この設定がされていても、該当のチェックを外してWeb公開をすることができます。</p>
サブフォルダ非表示	<p>チェックを入れると、フォルダでのWeb公開時に『サブフォルダを表示しない』にデフォルトでチェックが入った状態になります。</p>
非表示を強制する	<p>チェックを入れると、フォルダでのWeb公開時の『サブフォルダを表示しない』のチェックを必須にすることができます。</p>
公開後に公開用アドレスをメール送信する	<p>チェックを入れると、デフォルトで『公開後に公開用アドレスをメール送信する』にチェックが入った状態となります。</p>
メール送信を強制する	<p>チェックを入れると、『公開後に公開用アドレスをメール送信する』のチェックを必須にすることができます。</p>

7.3.3 受取フォルダ設定について

『Web公開/受取フォルダ設定』画面にて、『受取フォルダ設定』の<設定>を押下しますと、下記の画面が表示されます。ここでは、受取フォルダに関する各種設定ができます。

 受取フォルダ設定

受取フォルダ

システム設定を優先 ▼

受取フォルダを利用する
 URLの長さ 文字 *必須入力

Web公開一覧にメールクライアントを開くアイコンを表示する

受取フォルダメール認証の設定

システム設定を優先 ▼

メール認証を利用する
 メール認証の利用を強制する
 公開先メールアドレスを制限しないメール認証を利用可能にする

ワンタイムパスワードポリシー

パスワード桁数 桁 *必須入力

パスワードに使用する文字 小文字 大文字 数字

設定

戻る

7.3.3.1 受取フォルダについて

受取フォルダ機能の利用や受取フォルダ用のURLの長さなどを設定することができます。

受取フォルダ

システム設定を優先 ▼

受取フォルダを利用する

URLの長さ 文字 *必須入力

Web公開一覧にメールクライアントを開くアイコンを表示する

以下に設定項目の解説をします。

項目名	解説
システム設定を優先/設定	<p>『システム設定を優先』を選択した場合の設定は以下になります。 (初期設定)</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・受取フォルダを利用する : 利用する ・URLの長さ : 44文字 ・Web公開一覧にメールクライアントを開くアイコンを表示する: 表示する <hr/> <p>『設定』を選択すると、ここで設定した内容が反映されます。</p>
受取フォルダを利用する	<p>チェックを外すと、受取フォルダ機能の利用を停止することができます。 (新規の受取フォルダの作成が不可となります。)</p>
URLの長さ	<p>Web公開用のURLに長さを15～44文字までの長さで設定することができます。</p>
Web公開一覧にメールクライアントを開くアイコンを表示する	<p>『ファイル一覧』や『Web公開一覧』画面で、公開URLを表示した際に、クリックするとメールソフトが起動するアイコンを表示するかどうか設定が可能です。 (以下の画像参照)</p>



7.3.3.2 受取フォルダメール認証の設定について

受取フォルダにて、メール認証機能を利用する場合は、ここで設定をします。

受取フォルダメール認証の設定

システム設定を優先 ▼

メール認証を利用する

メール認証の利用を強制する

公開先メールアドレスを制限しないメール認証を利用可能にする

ワンタイムパスワードポリシー

パスワード桁数 桁 *必須入力

パスワードに使用する文字 小文字 大文字 数字

以下に設定項目の解説をします。

項目名	解説
システム設定を優先/設定	[システム設定を優先] 受取フォルダのメール認証機能はOFFとなります。 [設定] これを選択し、次の『Web公開はメール認証を必要とする』にチェックを入れると受取フォルダでのメール認証がONになります。
メール認証を利用する	チェックを入れると、受取フォルダでのメール認証機能が利用可能になります。
メール認証の利用するを強制する	本項目にチェックを入れることで、受取フォルダ利用時のメール認証を必須にすることができます。 また、ユーザーの受取フォルダの設定画面にて、『公開パスワード』の欄が非表示となります。(『システム設定』>『Web公開/受取フォルダ設定』>『受取フォルダのデフォルト設定』にて、『公開パスワードを非表示にする』にチェックが入ります。)
公開先メールアドレスを制限しないメール認証を利用可能にする	チェックを入れると、誰でも(どのメールアドレスでも)ワンタイムパスワードが取得可能になります。 ワンタイムパスワードの送信先をユーザーが設定したメールアドレスだけに限定したい場合は、チェックを外します。
パスワード桁数	ユーザーに自動送付されるワンタイムパスワードの桁数を1~50桁まで設定することができます。
パスワードに使用する文字	『小文字』『大文字』『数字』から最低、1つ選択する必要があります。

<メール認証のフロー>

※フローは、Web公開時と同じです。

7.3.4 受取フォルダのデフォルト設定について

ユーザーの受取フォルダ設定画面の初期値を設定することができます。

 受取フォルダのデフォルト設定

受取フォルダのデフォルト設定

メール認証を利用する

公開先メールアドレスを制限する

アップロード回数制限 回まで

アップロード回数制限を強制する

公開期限 日間

公開期限を強制する

公開パスワード

公開パスワードを強制する

公開パスワードを非表示にする

アップロードされたらメールで通知

アップロードされたらメールで通知を強制する

アップロードファイル非表示

非表示を強制する

公開後に公開用アドレスをメール送信する

メール送信を強制する

以下に設定項目の解説をします。

項目名	解説
システム設定を優先/設定	<p>『システム設定を優先』を選択した場合の設定は以下になります。 (初期設定)</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・メール認証を利用する :チェックなし ・公開先メールアドレスを制限する :チェックあり ・アップロード回数制限 :チェックなし、設定なし ・アップロード回数制限を強制する :チェックなし ・公開期限 :チェックなし、設定なし ・公開期限を強制する :チェックなし ・公開パスワード :チェックあり ・公開パスワードを強制する :チェックなし ・公開パスワードを非表示にする :チェックなし ・アップロードされたらメールで通知 :チェックなし ・アップロードされたらメールで通知を強制する:チェックなし ・アップロードファイル非表示 :チェックなし ・非表示を強制する :チェックなし ・公開後に公開用アドレスをメール送信する:チェックなし ・メール送信を強制する :チェックなし <hr/> <p>『設定』を選択すると、ここで設定した内容が反映されます。</p>
メール認証を利用する	<p>チェックをすると、『メール認証を利用する』にデフォルトでチェックが入ります。 ※受取フォルダにて、『メール認証』機能を利用している時に有効な設定です。</p>
公開先メールアドレスを制限する	<p>チェックをすると、『公開先メールアドレスを制限する』にデフォルトでチェックが入ります。 ※受取フォルダで『メール認証』機能を利用しており、かつ、『公開先メールアドレスを制限しない』設定で利用している場合に有効な設定です。</p>
アップロード回数制限	<ul style="list-style-type: none"> ・チェックを入れると、『アップロード回数制限』にデフォルトでチェックが入ります。 ・任意の数字を入力することで、デフォルトのダウンロード回数を指定することができます。(ここで設定した回数は受取フォルダ設定時に変更することが可能です。)
アップロード回数制限を強制する	<p>チェックを入れるとアップロード回数制限の設定を必須にすることができます。</p> <p>※管理者は、この設定がされていても、アップロード回数を設定しないで受取フォルダを作成することができます。ただし、管理者でもアップロード回数を指定して受取フォルダを作成する場合は、『アップロード回数制限』以上の回数を設定することはできません。</p>

公開期限	<ul style="list-style-type: none"> ・チェックを入れると、デフォルトで『公開期限』にチェックが入ります。 ・任意の数字を入力することで、デフォルトの公開期限の日数を設定することができます。(ここで設定した期限はユーザーでWeb公開時に変更することが可能です。)
公開期限を強制する	<p>チェックを入れると、公開期限の設定を必須にすることができます。</p> <p>※サービスの開始時にKDDIが発行した管理者IDは、この設定がされていても、公開期限を設定しないで、公開をすることができます。</p>
公開パスワード	<p>チェックを入れると、デフォルトで『公開パスワード』にチェックが入った状態になります。(チェックはユーザーで外すことができます。)</p>
公開パスワードを強制する	<p>チェックを入れると、公開パスワードの設定を必須にすることができます。</p> <p>※管理者は、この設定がされていても、パスワードを設定しないで受取フォルダを作成することができます。</p>
公開パスワードを非表示にする	<p>チェックを入れると、公開パスワードの入力欄を非表示にすることができます。</p>
アップロードされたらメールで通知	<p>チェックを入れると、デフォルトで『アップロードされたらメールで通知』にチェックが入った状態になります。</p>
アップロードされたらメールで通知を強制する	<p>チェックを入れると、『アップロードされたらメールで通知』のチェックを必須にすることができます。</p> <p>※管理者は、この設定がされていても、該当のチェックを外して受取フォルダを作成することができます。</p>
アップロードファイル非表示	<p>チェックを入れると、『アップロードファイル非表示』にデフォルトでチェックが入った状態になります。</p>
非表示を強制する	<p>チェックを入れると、『アップロードファイル非表示』のチェックを必須にすることができます。</p>
公開後に公開用アドレスをメール送信する	<p>チェックを入れると、デフォルトで『受取フォルダ指定後に公開用アドレスをメール送信する』にチェックが入った状態となります。</p>
メール送信を強制する	<p>チェックを入れると、『受取フォルダ指定後に公開用アドレスをメール送信する』のチェックを必須にすることができます。</p>

7.4 容量アラートを設定する

システム設定画面の容量アラート設定の『設定』ボタンをクリックします。

容量アラート設定

利用容量が閾値を超えた場合に送信するメールの設定を行います。

容量アラート閾値 -

設定

下図のように容量アラート設定の画面が表示されます。

容量アラート設定

容量アラート機能を使用する

容量アラート設定

容量制限	10GB
現在の利用容量	0.0GB (0%)
容量アラート閾値	<input type="text" value=""/> %

※1から99の値を入力してください

容量アラートメール送信先

全ての管理者にメールを送信する

メールアドレス(任意)

追加

💡 ヒント

利用容量がここで設定した閾値を超えた場合に、1日1回アラートのメールを送信します。

※「全ての管理者にメールを送信する」を選択した場合は、管理者ユーザーに登録されているメールアドレスに送信します。

設定 **戻る**

ご契約全体の利用容量が設定した閾値(%)を超えた場合に、アラートのメールを送信することができます。

以下に項目の解説をします。

選択肢	解説
容量アラート機能を使用する	チェックを入れると、本機能(アラートメールの送信)が動作します。
容量制限	現在ご契約の上限容量が表示されます。
現在の利用容量	現在の利用容量が表示されます。
容量アラート閾値	アラートメールを送信する閾値を%で設定します。 ※1~99の数字で入力してください。
全ての管理者にメール送信する	チェックを入れると全ての『管理者』ユーザーに登録されているメールアドレス(サブメールアドレスを含む)に本アラートメールを送信します。 ※『グループ作成者』、『一般ユーザー』、『読取専用ユーザー』には送信されません。 ※『管理者』であっても、メールアドレスの登録されていないユーザーには送信されません。
メールアドレス(任意)	本アラートメールの宛先について、任意のメールアドレスを設定することができます。 <追加>ボタンをクリックすると、メールアドレスの入力欄が表示されます。 ※最大10件まで登録できます。

利用容量が設定した閾値(%)を超えると、下記のようなメールが送信されます。

<p>送信者: KDDI ファイルストレージ<support@kfs.kddi.ne.jp> 件名: 【KDDI ファイルストレージ】 ご利用容量のご連絡 本文: KDDI ファイルストレージのご利用容量が、設定された閾値(80%)を超えましたので、お知らせします。</p> <p>-----</p> <p>チェック日時: 2016/04/04 05:16:47 ドメイン名 : example.co.jp 容量制限 : 10GB 利用容量 : 8.1GB 利用率 : 81%</p> <p>-----</p> <p>※本メールの送信条件は、管理画面>システム設定>『容量アラート設定』で変更できます。</p> <p>※利用容量が容量制限を超えすと、ファイルのアップロードができなくなります。</p> <p>※容量制限を変更するには、管理画面>システム設定>『契約容量制限』もしくは、『契約プラン設定』で変更してください。</p> <p>※本メールには返信しないでください。</p>
--

※利用容量のチェックは、毎日、深夜から早朝の時間帯にかけて行われ、メールが送信されます。送信時刻は日によって異なり、また、日中帯になることもありますので、ご了承ください。

7.5 契約容量制限を設定する

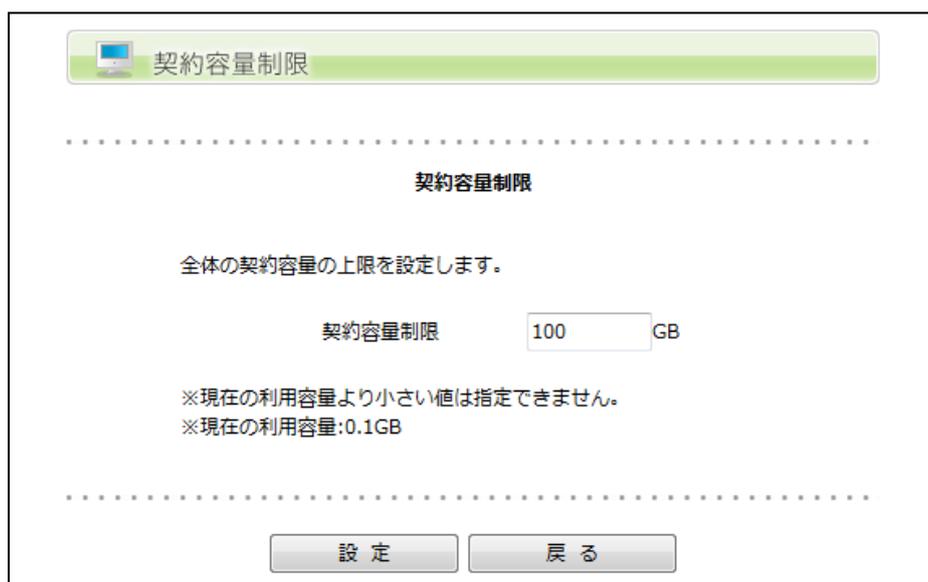
システム設定画面の契約容量制限の『設定』ボタンをクリックします。



※本項目は、ご契約のプランが『ID単位コース』の場合に表示されます。『容量単位コース』の場合は、次項の『契約プラン設定』が表示されます。

契約利用制限の値を変更できます。ただし、現在の利用容量より小さい値は指定できません。

ユーザーの追加または削除についても、必要に応じお客さま管理者で容量の設定変更をお願いします。



7.6 契約プランを確認、変更する

システム設定画面の契約プラン設定の『設定』ボタンをクリックします。

契約プラン設定

契約プランの変更設定をします。

契約プラン	容量単位コース：10GBプラン	設定
契約プランオプション	-	

※本項目は、ご契約のプランが『容量単位コース』の場合に表示されます。『ID単位コース』の場合は、前項の『契約容量制限』が表示されます。

下図のように契約プラン設定の画面が表示されます。

🖥️ 契約プラン設定

現在の利用容量	0.0GB (0%)	
現在の利用ユーザー数	1人	
契約プラン	容量単位コース：10GBプラン	▼
契約プランオプション	なし	▼

契約プラン変更アラートメール送信先

メールアドレス(任意)

💡 ヒント

契約プランと契約プランオプションを変更することができます。

契約プランごとに以下のユーザー数のご利用ができます。

- 容量単位コース：10GBプラン 300ユーザー
- 容量単位コース：100GBプラン 1,000ユーザー
- 容量単位コース：1TBプラン 5,000ユーザー

※現在ご利用中のユーザー数、容量を下回るプランへの変更はできません。

契約プランか契約プランオプションの変更が行われると、ドメイン管理者のメールアドレスと、本画面で契約プラン変更アラートメール送信先に指定したメールアドレスへ通知が行われます。

ここでは、現在の契約プランとオプション(ご契約容量の追加)の確認と変更を行うことができます。

以下に項目の解説をします。

選択肢	解説
現在の利用容量	現在の利用容量が表示されます。
現在の利用ユーザー数	現在、登録されているユーザー数が表示されます。 契約プランごとに以下のユーザー数の登録ができます。 容量単位コース:10GBプラン 300ユーザー 容量単位コース:100GBプラン 1,000ユーザー 容量単位コース:1TBプラン 5,000ユーザー
契約プラン	現在の契約プランが表示されます。プルダウンからご希望のプランを選択し、変更できます。
契約プランオプション	現在のご契約中のオプション(ご契約容量の追加)が表示されます。プルダウンからご希望のオプションを選択し、変更できます。 ※選択できるオプションは、契約プランより異なります。
契約プラン変更アラートメール送信先メールアドレス(任意)	本画面で、『契約プラン』および『契約プランオプション』を変更すると、すべての『管理者』ユーザーに登録されているメールアドレス(サブメールアドレスを含む)にお知らせのメールが送信されますが、送信先に任意のメールアドレスを追加したい場合は、ここで設定することができます。 <追加>ボタンをクリックすると、メールアドレスの入力欄が表示されます。 ※最大10件まで登録できます。

契約プランを変更後、『設定』をクリックすると、下記のようなメールが全ての『管理者』ユーザーとここで設定した任意のメールアドレスへ送信されます。

送信者: KDDI ファイルストレージ<support@kfs.kddi.ne.jp>
 件名:【KDDI ファイルストレージ】契約プランが変更されました
 本文:
 KDDI ファイルストレージサービスの契約プランが変更されましたので、お知らせします。

変更内容は下記の通りです。

変更日時 : 2016/03/25 11:20:22
 変更ユーザーID: user01@example.co.jp

<変更前>
 契約プラン名 : 容量単位コース:10GB プラン
 オプション : なし

<変更後>
 契約プラン名 : 容量単位コース:10GB プラン
 オプション : 10GB 追加

※本メールには返信しないでください。

※『グループ作成者』、『一般ユーザー』、『読取専用ユーザー』には送信されません。

※『管理者』であっても、メールアドレスの登録されていないユーザーには送信されません。

8 デザイン設定をする

ブラウザでアクセスする画面のロゴ画像や背景色などを変更をすることができます。

8.1 画像を変更する

ロゴなどの画像の変更手順は以下の通りです。

- 1) 専用のグループフォルダを作成する。
- 2) 既存の画像を作成したグループフォルダにコピーする。
- 3) 変更したい画像を差し替える。

8.1.1 グループフォルダを作成する

画像ファイルをを格納するためのグループフォルダを作成します。

※グループフォルダの作成方法については、本ガイドの『3.1 グループを作成する』を参考にしてください。

例)『LOGO』というグループ/グループフォルダを作成する。

TOP>LOGO

※グループ名は任意です。



8.1.2 既存画像をグループフォルダにコピーする

1. 管理画面の左メニューの『デザイン設定』をクリックします。



2. 『デザイン設定』画面で、以下の通りに設定し、画面最下部の<適用>ボタンをクリックします。

1. 画面上部のプルダウンメニューから『設定』を選択します。
2. 『画面の画像の選択』>『画面の画像』を『変更する』を選択します。
3. 『変更した画像を配置するグループフォルダ』に先程、作成したグループフォルダ名を入力します。

デザイン設定

① 設定

画面の画像の選択

画面の画像 デフォルト 変更する ②

変更した画像を配置するグループフォルダ /example.co.jp/LOGO ③

ヒント 画像の変更方法

KDDI ファイルストレージで使用されているロゴ等の画像を変更するには、まず画像を配置するためのグループフォルダを作成してください。作成したグループフォルダ内にロゴ等の画像を配置することで画面に表示されるようになります。

グループフォルダを作成したら「画面の画像」を「変更する」に選択し、「変更した画像を配置するグループフォルダ」に作成したグループフォルダを指定してください。

「適用」を押すと指定したグループフォルダにデフォルトの画像がコピーされるので、変更したい画像を上書きしてください。

ログイン画面の背景色

全体 デフォルト 変更する 色 #F8F8F8

ユーザー画面の背景色

全体 デフォルト 変更する 色 #F8F8F8

メニュー デフォルト 変更する 色 #F8F8F8

アドレスバー デフォルト 変更する 色 #F8F8F8

チェックボックス左 デフォルト 変更する 色 #F8F8F8

チェックボックス右 デフォルト 変更する 色 #F8F8F8

管理画面の背景色

全体 デフォルト 変更する 色 #F8F8F8

メニュー デフォルト 変更する 色 #F8F8F8

検索バー デフォルト 変更する 色 #F8F8F8

チェックボックス左 デフォルト 変更する 色 #F8F8F8

チェックボックス右 デフォルト 変更する 色 #FFFFFF

ヒント 色を変更した場合の指定方法

色の指定は#で始まるカラーコードまたはredなどのカラーネームで指定してください。

例 白「#FFFFFF」または「white」 青「#0000FF」または「blue」

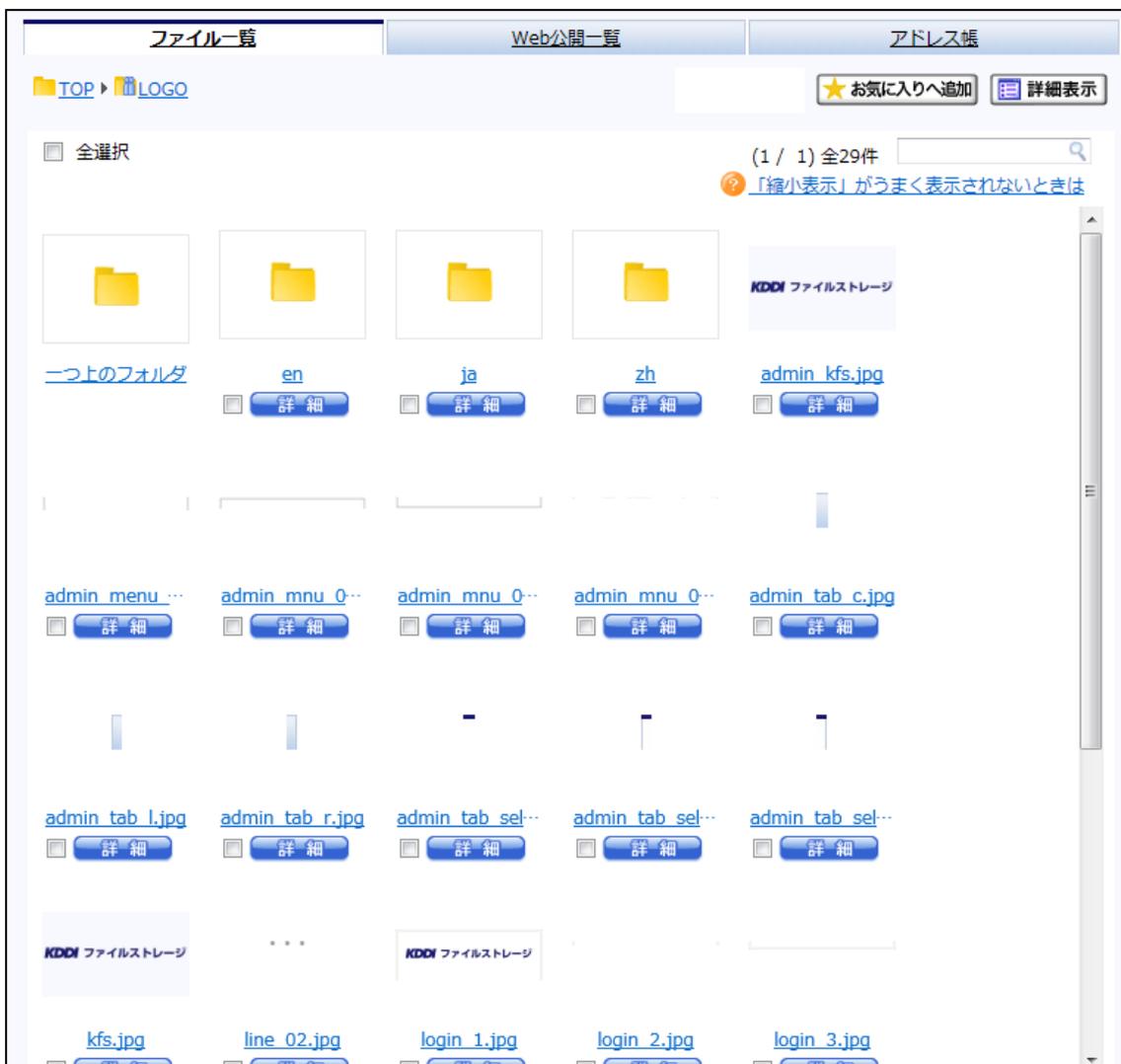
④ 適用 一覧に戻る

この作業を行うと、作成したグループフォルダに既存の画像がコピーされます。

8.1.3 画像を差し替える

該当のグループフォルダを開くと既存の画像が格納されています。

これらの画像を同じファイル名、解像度、形式で差し替えることにより、画像の変更を実現します。



注意

差し替えた画像が反映されない場合は、ブラウザのキャッシュを表示している可能性があります。その場合はブラウザで『更新』の操作をお試しください。Internet Explorerの場合は[Ctrl] + [F5]キーです。

また、差し替える画像はピクセルサイズを既存の画像と同じにする必要があります。ピクセルサイズの異なる画像をアップロードしますと、画像が崩れて表示されることがあります。

以下、各画面の画像について、解説します。

1. ログイン画面

以下の3つの画像を差し替えます。

ファイル名	解説	ピクセルサイズ
login_1.jpg	ログイン画面の上段	359 × 128
login_2.jpg	ログイン画面の中段	359 × 13
login_3.jpg	ログイン画面の下段	359 × 23

※ログイン画面へアクセスする際のURLの末尾に『ドメイン名』を追加することにより、専用のログイン画面を表示させることができます。

例) <https://kfs.kddi.ne.jp/example.co.jp>

KDDI ファイルストレージ

ログイン

■ユーザーID : @example.co.jp

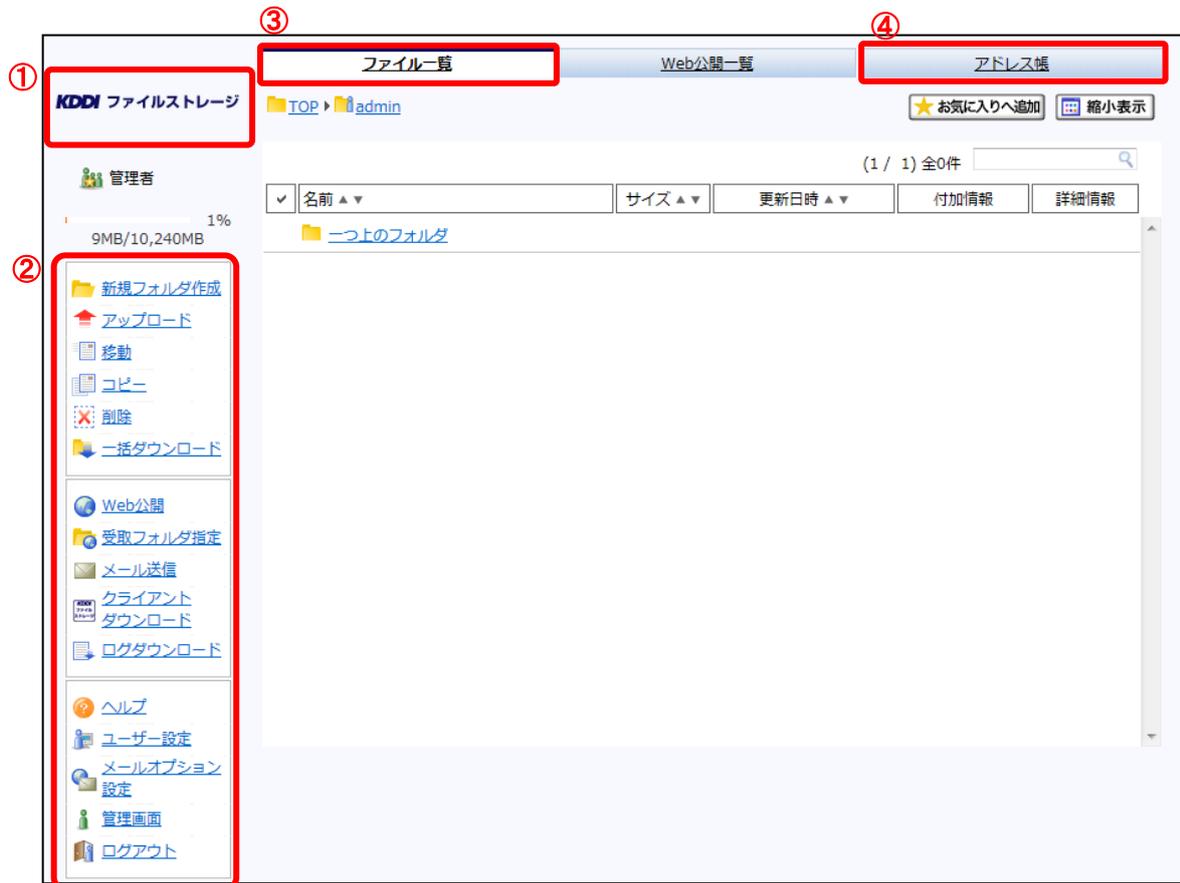
■PASSWORD :

[PASSWORDを忘れた場合はこちら](#)

2. ユーザー画面

画像のファイル名と画面上の反映箇所は下記の通りです。

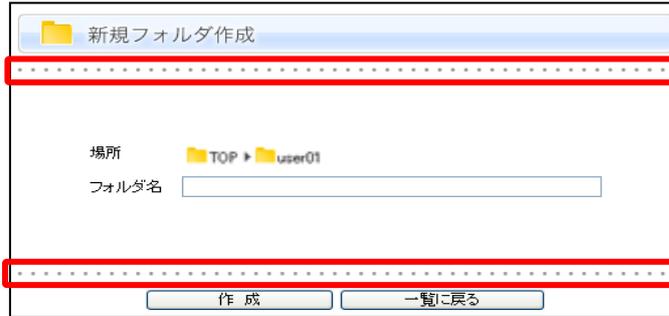
項番	ファイル名	解説	ピクセルサイズ
1	kfs.jpg	ロゴ	153 × 90
2	menu_b2.jpg	メニューの背景	135 × 13
	mnu_01.jpg	メニューの上段	135 × 11
	mnu_02.jpg	メニューの中段	135 × 10
	mnu_03.gif	メニューの下段	135 × 1
3	tab_selected_c.jpg	選択中のタブの中央	8 × 24
	tab_selected_l.jpg	選択中のタブの左	8 × 24
	tab_selected_r.jpg	選択中のタブの右	8 × 24
4	tab_c.jpg	未選択のタブの中央	8 × 24
	tab_l.jpg	未選択のタブの左	8 × 24
	tab_r.jpg	未選択のタブの右	8 × 24



3. 区切り線

新規フォルダ作成時の画面などに表示される点線です。

ファイル名	解説
line_02.jpg	区切り線



4. Web公開画面

言語により表示画像を分けることができます。

※日本語画面は『ja』、英語は『en』、中国語は『zh』フォルダ内の画像を差し替えます。

ファイル名	解説	ピクセルサイズ
ja/webpub_header.jpg	Web公開画面 ロゴ 日本語	153 × 90
en/webpub_header.jpg	Web公開画面 ロゴ 英語	153 × 90
zh/webpub_header.jpg	Web公開画面 ロゴ 中国語	153 × 90



5. 受取フォルダ 公開画面

言語により表示画像を分けることができます。

※日本語画面は『ja』、英語は『en』、中国語は『zh』フォルダ内の画像を差し替えます。

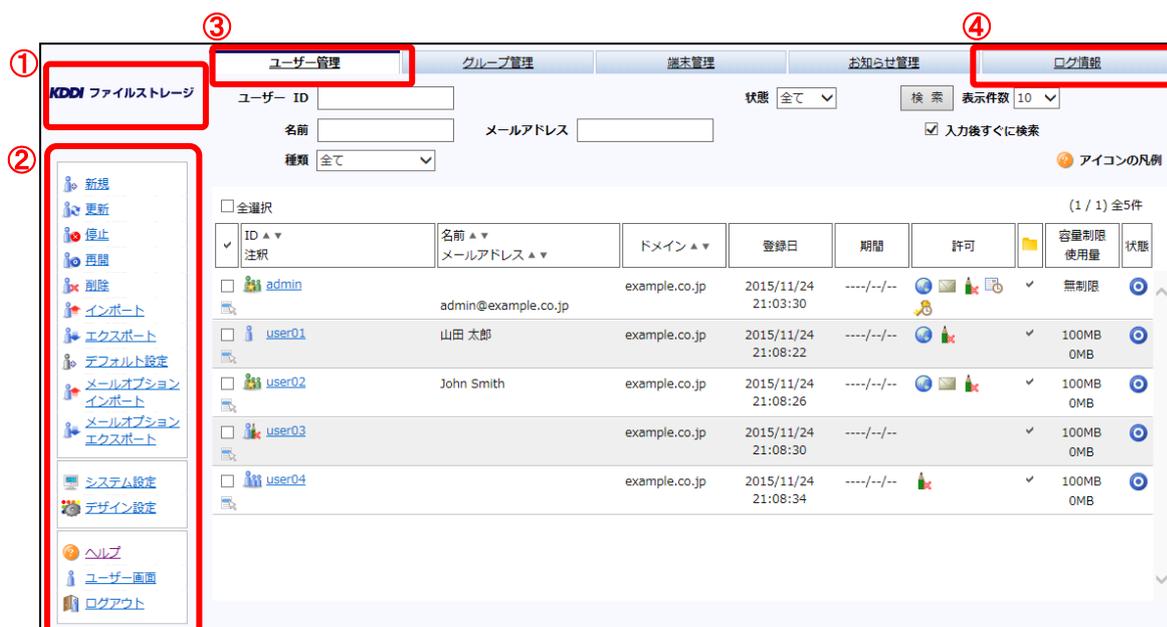
ファイル名	解説	ピクセルサイズ
ja/webpub_upload_header.jpg	受取フォルダ ロゴ 日本語	153 × 90
en/webpub_upload_header.jpg	受取フォルダ ロゴ 英語	153 × 90
zh/webpub_upload_header.jpg	受取フォルダ ロゴ 中国語	153 × 90

6. 管理画面

管理画面も画像を変更することができます。

ファイル名と画面上の反映箇所は下記の通りです。

項番	ファイル名	解説	ピクセルサイズ
1	admin_kfs.jpg	管理画面のロゴ	153 × 90
2	admin_menu_b2.jpg	管理画面のメニューの背景	135 × 13
	admin_mnu_01.jpg	管理画面のメニューの上段	135 × 11
	admin_mnu_02.jpg	管理画面のメニューの中段	135 × 10
	admin_mnu_03.gif	管理画面のメニューの下段	135 × 1
3	admin_tab_selected_c.jpg	管理画面の選択中のタブの中央	8 × 24
	admin_tab_selected_l.jpg	管理画面の選択中のタブの左	8 × 24
	admin_tab_selected_r.jpg	管理画面の選択中のタブの右	8 × 24
4	admin_tab_c.jpg	管理画面の未選択のタブの中央	8 × 24
	admin_tab_l.jpg	管理画面の未選択のタブの左	8 × 24
	admin_tab_r.jpg	管理画面の未選択のタブの右	8 × 24



7. スマートフォン用Web公開のログイン画面

スマートフォン用のWeb公開のログイン画面のロゴ画像を変更することができます。

ファイル名	解説	ピクセルサイズ
login_sp.jpg	スマートフォン用Web公開のログイン画面のロゴ	480 × 176



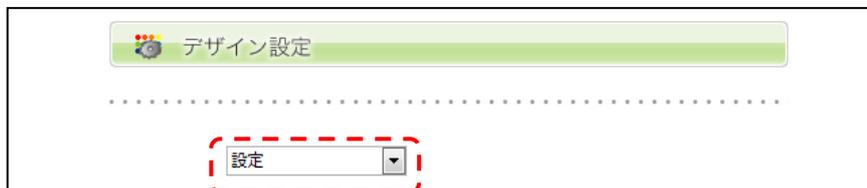
※スマートフォン用の通常のログイン画面のロゴ画像の変更はできません。

※ブラウザの言語により画像を変更することはできません。

8.2 画面の背景色を変更する

画面の背景色などをカスタマイズすることができます。

管理メニューから『デザイン設定』画面を開き、画面上部のプルダウンメニューで『設定』を選択します。



色を変更したい箇所について、『変更する』選択し、『色』にはカラーコード、または、カラーネームを入力し、最下部の<適用>ボタンをクリックします。

ログイン画面の背景色		
全体	<input checked="" type="radio"/> デフォルト	<input type="radio"/> 変更する 色 #F8F8F
ユーザー画面の背景色		
全体	<input checked="" type="radio"/> デフォルト	<input type="radio"/> 変更する 色 #F8F8F
メニュー	<input checked="" type="radio"/> デフォルト	<input type="radio"/> 変更する 色 #F8F8F
アドレスバー	<input checked="" type="radio"/> デフォルト	<input type="radio"/> 変更する 色 #F8F8F
チェックボックス左	<input checked="" type="radio"/> デフォルト	<input type="radio"/> 変更する 色 #F8F8F
チェックボックス右	<input checked="" type="radio"/> デフォルト	<input type="radio"/> 変更する 色 #F8F8F
管理画面の背景色		
全体	<input checked="" type="radio"/> デフォルト	<input type="radio"/> 変更する 色 #F8F8F
メニュー	<input checked="" type="radio"/> デフォルト	<input type="radio"/> 変更する 色 #F8F8F
検索バー	<input checked="" type="radio"/> デフォルト	<input type="radio"/> 変更する 色 #F8F8F
チェックボックス左	<input checked="" type="radio"/> デフォルト	<input type="radio"/> 変更する 色 #F8F8F
チェックボックス右	<input checked="" type="radio"/> デフォルト	<input type="radio"/> 変更する 色 #FFFFFF

背景色を指定する各項目について、解説をします。

ここでは対象の箇所を分かりやすくするために各箇所を『blue』で指定した例を掲載します。

8.2.1 ログイン画面の背景色

指定すると以下ようになります。



8.2.2 ユーザー画面の背景色

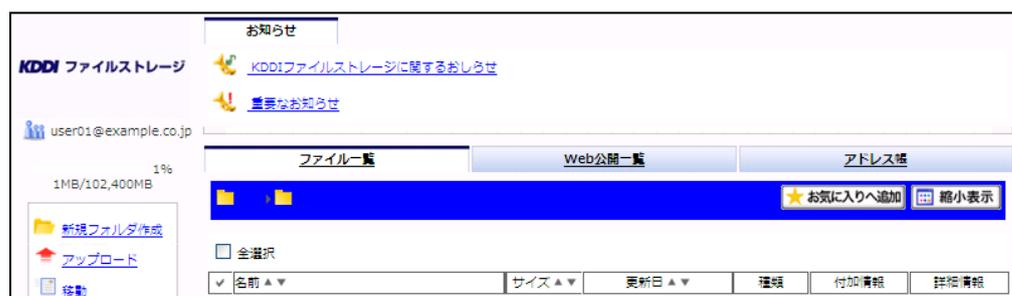
『全体』



『メニュー』



『アドレスバー』



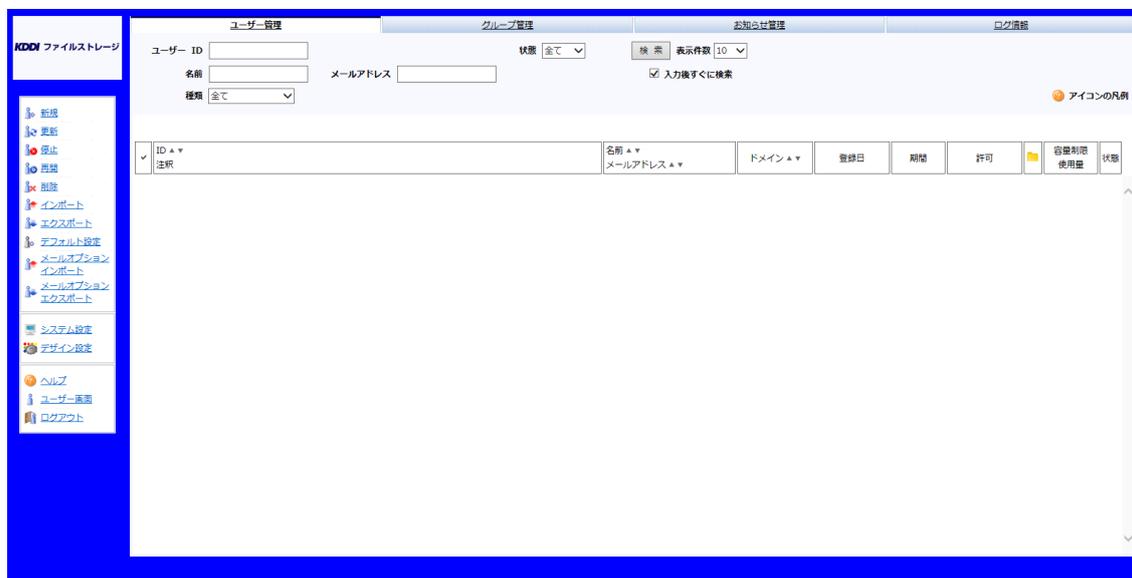
『チェックボックス左』

※Web公開などの設定画面などのチェックボックスの色です。

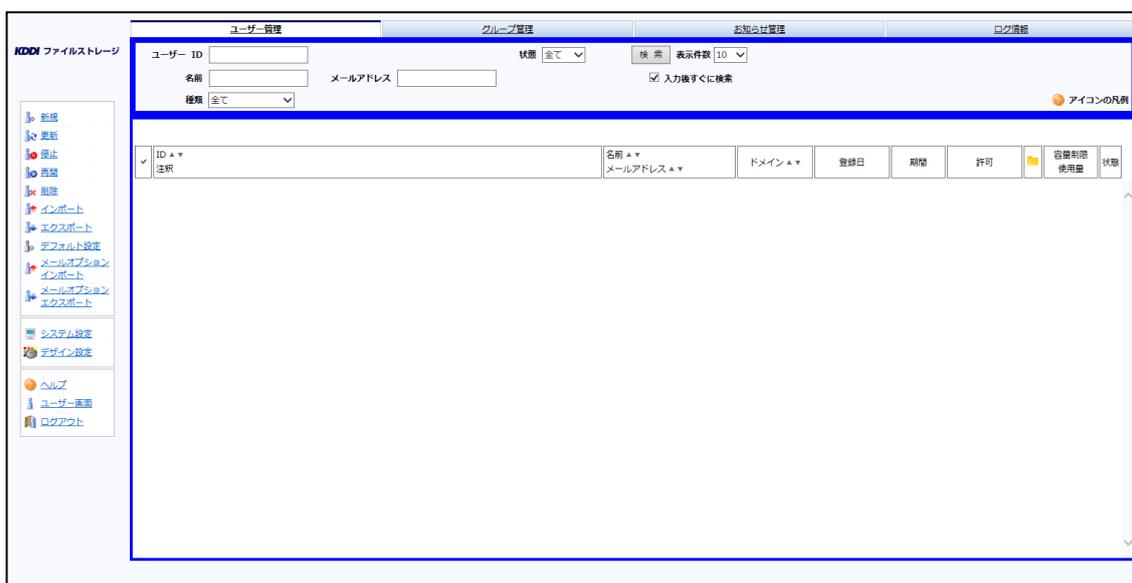
『チェックボックス右』

8.2.3 管理画面の背景色

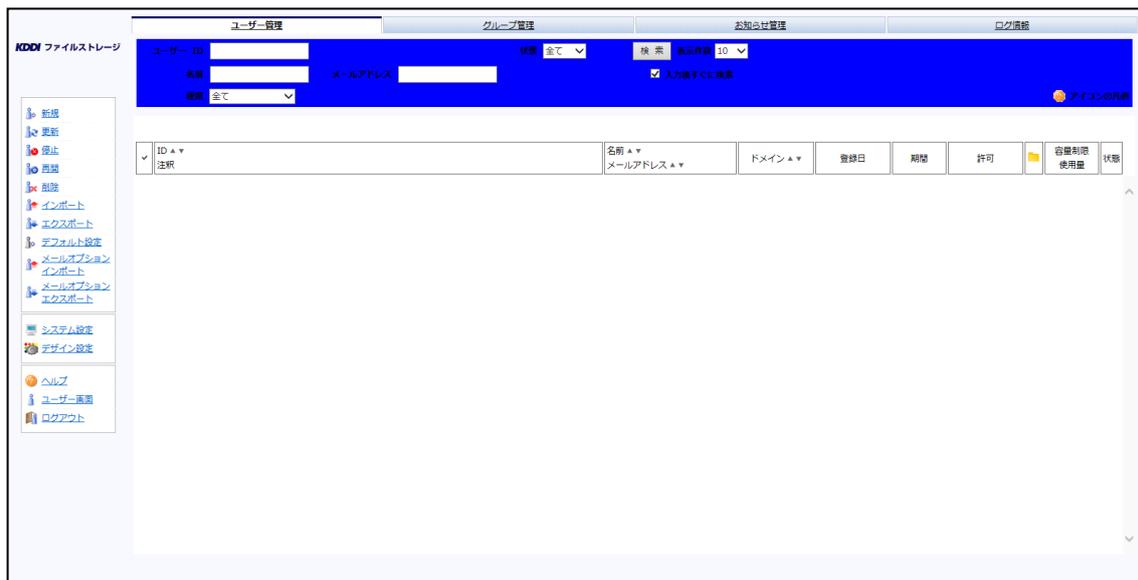
『全体』



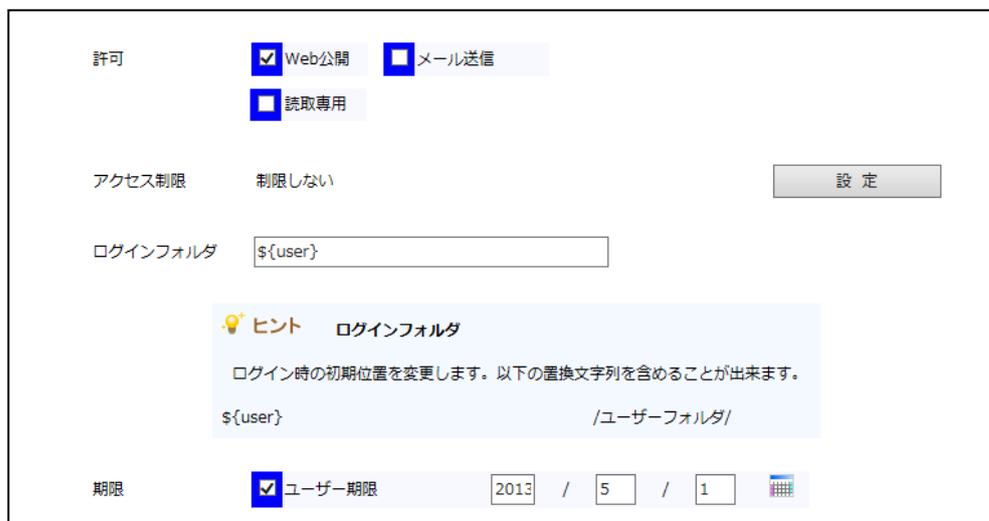
『メニュー』



『検索バー』



『チェックボックス左』



※ユーザー作成、更新画面の『許可』や『ユーザー期間』などのチェックボックスの色の指定です。

KDDI ファイルストレージ

KDDIファイルストレージ

管理者ガイド

2016年12月

第2.8版

KDDI株式会社

Copyright © 2012-2016 KDDI CORPORATION All Rights Reserved.

本書に記載されている情報、事項、データは、予告なく変更されることがあります。

本書に記載されている情報、事項、データは、誤りや落丁がないように最善の注意を払っていますが、本書に記載されている情報、事項、データによって引き起こされた遺失行為、傷害、損害などについて、弊社は一切、その責任を負いません。

本書を弊社に無断でその一部、あるいはその全部を複写、複製(コピー)、追加、削除、加工および転載することを禁じます。